

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A- 01	建築工事特記仕様書－ 1	A- 26	(改修) 建具表
A- 02	建築工事特記仕様書－ 2	A- 27	(現況) 展開図－ 1 (1 階児童便所)
A- 03	建築工事特記仕様書－ 3	A- 28	(現況) 展開図－ 2 (職員便所)
A- 04	建築工事特記仕様書－ 4	A- 29	(現況) 展開図－ 3 (2 階児童便所)
A- 05	建築工事特記仕様書－ 5	A- 30	(改修) 展開図－ 1 (1 階児童便所)
A- 06	建築工事特記仕様書－ 6	A- 31	(改修) 展開図－ 2 (職員便所)
A- 07	建築工事特記仕様書－ 7	A- 32	(改修) 展開図－ 3 (2 階児童便所)
A- 08	建築工事特記仕様書－ 8	A- 33	(改修) 部分詳細図
A- 09	建築工事特記仕様書－ 9	E- 01	電気設備工事仕様書
A- 10	配置図・付近見取図	E- 02	盤類結線図・照明器具一覧表
A- 11	仮設計画配置図	E- 03	(現況・改修) 1 階便所 電気設備図
A- 12	仮設計画 1 階平面図	E- 04	(現況・改修) 1 階職員便所 電気設備図
A- 13	仮設計画 2 階平面図	E- 05	(現況・改修) 2 階便所 電気設備図
A- 14	仕上表	M- 01	機械設備工事特記仕様書－ 1
A- 15	(現況) 1 階平面図	M- 02	機械設備工事特記仕様書－ 2
A- 16	(現況) 2 階平面図	M- 03	機械設備工事特記仕様書－ 3
A- 17	(現況) 3 階平面図	M- 04	機械設備工事特記仕様書－ 4
A- 18	(現況・改修) 1 階平面詳細図－ 1 (児童便所)	M- 05	衛生設備機器一覧表
A- 19	(現況・改修) 1 階平面詳細図－ 2 (職員便所)	M- 06	(現況・改修) 1 階平面詳細図－ 1 (衛生設備)
A- 20	(現況・改修) 2 階平面詳細図 (児童便所・手洗い)	M- 07	(現況・改修) 1 階平面詳細図－ 2 (衛生設備)
A- 21	(現況・改修) 1 階天井伏図－ 1 (児童便所)	M- 08	(現況・改修) 2 階平面詳細図 (衛生設備)
A- 22	(現況・改修) 1 階天井伏図－ 2 (男性職員便所)	M- 09	換気設備機器一覧表
A- 23	(現況・改修) 1 階天井伏図－ 3 (女性職員便所)	M- 10	(現況・改修) 1 階平面詳細図－ 1 (換気設備)
A- 24	(現況・改修) 2 階天井伏図 (児童便所・手洗い)	M- 11	(現況・改修) 1 階平面詳細図－ 2 (換気設備)
A- 25	(現況) 建具表	M- 12	(現況・改修) 2 階平面詳細図 (換気設備)

[illegible]

建築工事特記仕様書

No. 2/8

章

項

特記事項

19

化学物質の濃度測定

下記化学物質について厚生労働省の指針値以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に報告すること。

又、濃度が基準値以上だった場合は、請負業者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用は全て請負者の負担とする。

測定対象化学物質	厚生省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	100 μg/m3 (0.08ppm) 以下
トルエン	260 μg/m3 (0.07ppm) 以下
キシレン	870 μg/m3 (0.20ppm) 以下
パラジクロロベンゼン	210 μg/m3 (0.04ppm) 以下
スチレン	220 μg/m3 (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800 μg/m3 (0.88ppm) 以下

検査確認場所

測定箇所数 ・ 図示 ○ 地階部屋1ヶ所、1階アリーナ5ヶ所、2階控室 (1)(2)2ヶ所 合計8ヶ所

測定回数 ・ 着工前 ※着工後 1回以上

測定方法 ※バッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・ 厚生労働省の標準法

換気 測定対象室を30分間換気した後、すべて窓及び扉を5時間開鎖する。

ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は開放したまとする。

測定 測定は、次のイからロによる。

イ) 測定は、「閉鎖」の状態のままで行う。

ロ) 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分～18時30分)とする。

測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。

・高山市ホームページに指定する。

○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・ 既存完成図を修正

記載内容について、監督員と協議する。

完成図CADデータ(CD-R)

・保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・ 各 部)

○施工図

本工事に係る施工図の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。

提出部数は、施工図の原因及びその陽面複写図(1部)とする。ただし、製作図で原因として提出ができないものは、原因にかわるものとしてよい。

下記のことを監督員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
○カラー ※キャビネ版 ※べた焼 (他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)	各室 外部() 内部(4)	※2 ・ 6	※100×125以上 ・
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部() 内部(各室2) その他監督職員の指示による	※2	
○電子データ	外部() 内部(各室4)	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB(フルカラー) ・ JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

設備工事との取合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。

※図示 ・ 設計GL=現状GL

・「営繕工事電子納品要領(案)(平成14年11月改訂版)」による。

20

完成時の提出書類

21

完成写真

22

設備工事との取合い

23

設計GL

24

工事写真

②

①

工事現場仮囲い

②

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

11

確認済みの表示

章

項

特記事項

③

①

土工事

②

建設発生土の処理(3.2.5)

③

建設発生土処分先(3.2.5)

4

地業工事

1

基礎

基礎の種類 ・ ベタ基礎 ・ 布基礎 ・ 独立基礎 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (1)直接基礎による

※直接基礎(・ 地盤改良(・ 表層改良 ・ 鋼管改良 ・ 柱状改良())

支持地盤の位置及び種類(ラッフルコンクリートの底面位置含む)

※構造図による

支持地盤の設計地耐力 30 KN/㎡

・杭基礎 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (2)杭基礎による

支持地盤の位置及び種類(基礎ぐい先端位置含む)

※構造図による(試験杭位置含む)

2

試験及び報告書(4.2.2～4.2.4)

試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 最初の1本 ・ 図示による

杭の載荷試験 ※行わない ・ 図示による

地盤の載荷試験 ※行わない ・ 図示による

3

既製コンクリート(4.3.2)(4.3.6)

設計支持力 KN/本(φ)

杭地業

支持力の算定方法 ※平成13年国土交通省告示第1113号による。

支持地盤の位置及び種類 ※図示による ・

杭の水平方向への位置ずれの精度 ※図示による

杭の種類	記号	・ PHC杭		
杭の種類	遠心力高強度プレストレストコンクリート杭			
規格・材質など	・ JIS規格品 ・ 評価品			
	・ A種 ・ B種 ・ C種			
長さ(m)				
断面寸法(mm)				
長期設計支持力(KN/本)				
継手	・ なし ・ あり(箇所)			
工法	・ アーク溶接 ・ 無溶接継手()			
先端部形式及び形状	・ 開放形 ・ 閉そく平たん形			

杭頭の処理 ※行わない ・ 行う

工法

・ セメントミルク工法

支持地盤への掘削深さ m 根入れ深さ m

・ 特定埋込杭工法 定められた条件に基づく責任施工とする。

・ プレボーリング拡大根固め工法

・ 中堀り拡大根固め工法

・ 回転根固め工法

4

場所打ちコンクリート杭地業(4.5.1)(4.5.2)(4.5.4)鉄筋(4.5.3)

施工管理技術者 ※適用する ・

工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法

・ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・ 拡底杭工法 ・

鉄筋の種類 ※5章「鉄筋工事」による。

帯筋 ※図示による ・

最小かぶり厚さ ・ 100 mm ・ 125 mm ・ mm

設計基準強度 N/㎡

コンクリートの種類 ・ A 種 ・ B 種

構造体強度補正值(S) ※図示による ・ 3 N/㎡

孔壁の超音波測定 ・ 適用しない

5

砂利及び砂地業(4.6.3)(4.6.2)

厚さ(mm) ※60 ・ 100 ・ 50 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

材料 ・ 直接基礎 ・ 切込砂利又は切込碎石

・ その他 ※再生クラッシュラン

・ 構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

6

捨コンクリート地業(4.6.4)

厚さ(mm) ※50 ・ 30 ・ ・ 構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

7

床不防湿層(4.6.5)

材料 ・ ポリエチレンフィルム 厚さ(mm) ※0.15 mm ・

8

断熱材

断熱材 押出法ポリスチレンフォーム3種b t50

※ 19章「内装工事」9項「断熱材」による。

5

鉄筋工事

1

鉄筋の種類(表5.2.1)

※JIS G 3112 のJIS表示認証製品

鉄筋の種類 ・ 下記表による ・ 構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

類別	種別	径(mm)
異形鉄筋	・ SD295	D16以下
	・	
	・ SD345	
丸鋼	・ SR235	

2

溶接金網(5.2.2)

※JIS-G 3551 のJIS表示認証製品

溶接金網 ・ 下記による ・ 構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

網目の形状、寸法及び径(mm) ・ φ6x100x100

施工場所(図示)

章

項

特記事項

5

3

柱・梁の鉄筋の継手(5.3.4)

4

梁貫通孔補強

貫通孔補強 ※鉄筋工事仕様書による。 ・ 各部配筋参考図 ・

5

圧接完了後の検査(5.4.9)

検査方法 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験

6

柱の帯筋

柱の帯筋 ・ 構造設計標準仕様書 5章 (2)柱の帯筋(HOOP)の加工方法による

・ 組み立ての形はS P形とする。(鉄筋工事仕様書による)

・ H型(タガ型) ・ W型(溶接型) ・ I形 ・ II形 ・ III形 ・ 丸形 ・

⑥

①

コンクリートの強度(6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

②

②

コンクリートの種類(6.2.1)(表6.2.1)

③

③

水セメント比(6.3.2)

④

④

コンクリート中の塩化物量(6.3.2)

⑤

⑤

コンクリートのアルカリ総量(6.5.4)

⑥

⑥

コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.3)(6.9.6)

⑦

⑦

コンクリートの材料(6.3.1)

⑧

⑧

コンクリート製造工場の選定(6.4.1)

⑨

⑨

強度(6.3.2)(表6.3.2)

10

⑩

暑中コンクリート(6.12.1～6.12.4)

11

⑪

寒中コンクリート(6.11.1～6.11.6)

鉄筋の継手 ・ 構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

継手位置 ※鉄筋工事仕様書による。 ・ 各部配筋参考図 ・

貫通孔補強 ※鉄筋工事仕様書による。 ・ 各部配筋参考図 ・

検査方法 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験

柱の帯筋 ・ 構造設計標準仕様書 5章 (2)柱の帯筋(HOOP)の加工方法による

・ 組み立ての形はS P形とする。(鉄筋工事仕様書による)

・ H型(タガ型) ・ W型(溶接型) ・ I形 ・ II形 ・ III形 ・ 丸形 ・

コンクリート ○下記による ・ 構造設計標準仕様書 2章 (1)コンクリートの表による

※普通コンクリート

設計基準強度 Fc (N/㎡)	スラブ(cm)	適用箇所
※ 21	18	基礎・躯体
○ 21	15	土間、嵩上げ
・ 18	18	
・		

※軽量コンクリート

設計基準強度 Fc (N/㎡)	種類	スラブ(cm)	適用箇所
	・ 1種 ・ 2種		

※構造体コンクリートの強度は、材令91日において設計基準強度以上とする。

※屋根床版のスラブは 15 cmとする。

※ I 類 ・ II 類

※最大値は65%とする(低熱ボルトランドセメント及び混合セメントB種の場合は60%)

※0.30kg/㎡以下

・アルカリ量が表示されたボルトランドセメント等を使用し、コンクリート中の総アルカリ量を 3.0 kg/㎡ 以下とする。

打放し仕上りの種別

※合板せき板を使用する場合

種別	せき板の種類	表面・せき板の程度	適用箇所
・ A種	JAS (表面加工品)	表6.2.4	※ 図示 ・
※ B種	JAS B-C	表6.2.4	・
・ C種	JAS B-C	表6.2.4	・

セメント ※普通ボルトランドセメント ・ 混合セメントA種

混和材料 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A6204)

※フライアッシュ(JIS A6201)1種、II種若しくはIV種

※高炉スラグ微粉末(JIS A6206)

※シリカフェウム(JIS A6207)又は膨脹材(JIS A6202)

※コンクリート製造工場の選定は、監督員の承諾を受ける。

構造体強度補正值 S (N/㎠)

		4～10月	11月	12月	1月	2月	3月
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
セメント	地域	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
普通ボルトランドセメント	一般地域	3.0			6.0		3.0
早強ボルトランドセメント	北部地域	3.0			6.0		3.0
	その他	3.0			6.0		3.0

・一般地域：

・北部地域：

・その他：

○飛騨地域基準による

※日平均気温の平年値が25℃を超える期間にコンクリートを打ち込む場合

構造体強度補正值 S (N/㎡) 6.0 N/㎡

適用期間(飛騨地域基準による)

工事名

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図名

特記仕様書-2

縮尺

—

番号

50 枚の内 A-02 号

設年月日

令和 8年 3月

設計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高山市

建築工事特記仕様書

No. 3/8

章

項

特記事項

⑥⑫

コンクリートの強度試験
(6.9.1～6.9.5)

※「建築標準仕様書」表 6.9.2 による。

13

外部に面する
コンクリート
打放し仕上

※打増厚さ (mm) ※20

14

型枠のせき板
(6.8.3)

せき板の材料 ※合板 (12mm) 合板 (15mm)
・床型枠用鋼製デッキプレート (実績等の資料を提出)
・メッシュ型枠 (25mm)以下かつ熱抵抗値 1m²h℃/Kcal 以上
・断熱材兼用型枠
・MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート)

15

マスコンクリート
(6.13.2)

セメントの種類 ()
適用箇所 ()

16

水密コンクリート

水セメント比 (/wt)	スランプ (cm)	適用箇所
※ 50	※ 15	

17

打継部

止水板 止水ゴムの製造所 ()
適用箇所 ()
打継ぎ目地 ※図示 幅 2 0mm以上 深さ 1 0mm以上

18

無筋コンクリート
(6.14.1～6.14.3)

適用箇所 図示 ※「建築標準仕様書」 6.14.1 による
粗骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合) ※25mm
コンクリートの品質

種類	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所
普通コンクリート	18	15 18	捨コン 配管埋設用コンクリート

19

流動化コンクリート
(6.15.1～6.15.3)

適用 ()

7

鉄骨工事
(構造特記優先)

鉄骨製作工場及び
施工管理技術者
(7.1.3～7.1.4)

鉄骨製作工場
・構造設計標準仕様書 6章 (2) 製作工場による
・次表による加工能力のある工場 監督員の承諾する工場

製作工場の 加工能力	建築基準法第 7 7 条の 4 5 第 1 項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター 又は (社) 全国鉄鋼工業協会の鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「R グレード」以上として国土交通大臣から認定を受けた工場又工事現場対象地域の都道府県の鉄構工業会会員企業の工場
---------------	--

施工管理技術者 ※適用する 適用しない

2

鋼材
(7.2.1) (表7.2.1)

鋼材の種類
・次表による鋼材 構造設計標準仕様書 2章 (4) 鉄骨鋼材表による 構造図による

材質	規格	使用箇所
・SS 400 ・SM 400	※ J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示
・SSC 400	※ J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示
・STK 400 ・STKR 400	※ J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示
・BCR 295 ・BCP 325	J I S 規格品 ※ J I S 規格品以外	図示
・SN490C	J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示
・SN490B	J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示
	J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示
	J I S 規格品 J I S 規格品以外	図示

J I S 規格品以外の場合 ※試験を行う 試験を行わない
※BCR 295 及び BCP 325 は 一般社団法人日本鉄鋼連盟の製品規定で大臣認定品とする
BCR295：「建築構造用冷間圧延成形角形鋼管」BCRは、200mm×6mm～550mm×25mm
BCP235、325：「建築構造用冷間プレス成形角形鋼管」BCPは、350mm×12mm～1000mm×40mm
※BCR 295 及び BCP 325 は 監督員の承諾のもと大臣認定品の証明書類一式とメーカーのミルシートにより上記の試験を省略することができる。

3

高力ボルト
(7.2.2)

高力ボルトの種類
・下記による高力ボルト 構造設計標準仕様書 2章 (5) ボルトによる
・トルシヤ形高力ボルト (セットの種類 ※ 2 種 (S 10T))
・J I S の高力ボルト (セットの種類 ※ 2 種 (F 10T))
・溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 ※ 1 種 (P 8 T 相当))
ボルト径 ※図示による。

4

普通ボルト
(7.2.3)

普通ボルトの種類
・下記による普通ボルト 構造設計標準仕様書 2章 (5) ボルトによる
ボルト及びナットの材料等 ※「建築標準仕様書」表7.2.3 による
ボルト径 ※図示による。

章

項

特記事項

7

鉄骨工事

5 アンカーボルトの
材質及び設置
(7.2.4) (7.10.3)

(表7.10.1)

6 ターンバックル
(7.2.6)

7 デッキプレート
(7.2.7)

8 柱底均しモルタル
(表7.2.6) (7.2.9)
(表7.10.2)

9 溶接部の試験
(7.6.11)
(表7.6.2～7.6.4)

10 錆止め塗装
(7.8.1～7.8.4)

11 耐火被覆
(7.9.1～7.9.9)

12 亜鉛めっき
(7.12.3)

13 溶融亜鉛めっき
高力ボルト接合
(7.12.4)

アンカーボルトの種類
・下記によるアンカーボルト 構造設計標準仕様書 2章 (5) ボルトによる
アンカーボルトの材質
構造用アンカーボルト ・S N R 400
建方用アンカーボルト ・S S 400
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法 ※図示による。
建方用保持及び埋込み方法
A 種 B 種 C 種 その他
胴の種類 ※割枠式
ボルトの種類 ※羽子板ボルト
デッキプレートの種類
・次表による鋼材 構造設計標準仕様書 2章 (6) デッキプレートによる 構造図による

形式	材質・形状・寸法	備考
・構造床		
・合成スラブ		
・		
・		

柱底均しモルタル
材 料 ・モルタル 無収縮モルタル
工 法 ※A 種 B 種
溶接部の試験及び検査概要
・次表による試験 構造設計標準仕様書 6章 (5) 接合部の検査による

試験の種類	適用	備考
※ 超音波深傷試験	・	
・ 浸透探傷試験	・	
・	・	

鉄面 ※ J I S K 5674 工場 回塗り 現場 回塗り
・構造設計標準仕様書 6章 (6) 防錆塗装による
・その他 「建築標準仕様書」表18.7.1鉄鋼面耐候性塗料塗りによる
亜鉛めっき面 ※「建築標準仕様書」18.3.2表による。
耐火被覆材の接着面 ・行う ・行わない
耐火被覆の種類
・構造設計標準仕様書 6章 (7) 耐火被覆の材料による
・耐火材吹付け 耐火板張り 耐火材巻付け ラス張りモルタル塗り
種類
※「建築標準仕様書」表14.2.2のA種 (軽量形鋼は板厚によりB種・C種とする。)
摩擦面の処理 ・リン酸塩処理 ・プラスト処理

9

防水工事

1 アスファルト防水
(9.2.2)
(表9.2.1～表9.2.10)

2 改質アスファルト
シート防水
(9.3.2～3)
(表9.3.1～3)

3 合成高分子系
ルーフィング
シート防水
(9.4.2～4)
(表9.4.1)
(9.4.2～4)
(表9.4.2)

4 塗膜防水
(9.5.2～4)
(表9.5.1)

5 ケイ酸質系塗膜防水
(9.6.2～4)
(表9.6.2)

6 漏水試験

7 シーリング用材料
(表9.7.1)

防水層の種類及び工程

種 別	施 工 場 所	備 考

・屋根保護防水層 (断熱工法) の断熱材 (オゾン層を破壊する物質を使用しないもの)
・材質 ※ A 種硬質ポリウレタン保温材保温板2種1号 (JIS A9511)
・ A 種硬質ポリウレタン保温材保温板2種2号 (JIS A9511)
・厚さ mm
防水立上り部の保護
・ ※乾式保護材 製造所
屋根露出防水絶縁工法の脱気装置
・設けない ※設ける 種類 平場部脱気型 立上り部脱気型
・設置数 箇所
防水層の種類及び工程

種 別	施 工 場 所
AS-2	図示

合成高分子系ルーフィングシート防水の工法、種別及び工程

種 別	厚さ	仕上塗料	施 工 場 所

S-F1・S-M の仕上塗料 ・カラー ・シルバー
合成高分子系ルーフィングシート防水 (断熱工法) の工法、種別及び工程

種 別	厚さ	仕上塗料	施 工 場 所

SI-F1・SI-M の仕上塗料 ・カラー ・シルバー
ウレタンゴム系塗膜防水の種類及び工程

種 別	仕上塗料	施 工 場 所

脱気装置 (種別 X-1) ・設ける ・設けない
種類 主要材料 製造所の仕様による。
・設置数量 箇所
ケイ酸質系塗布防水層の種類及び工程

種 別	仕上塗料	施 工 場 所

工法 ※C-UI ・C-UP
※屋内については水張り試験を行う。
被着体の組合せとシーリング材の種類

被 着 体 の 組 合 せ		シーリング材の種類 (注) 1	
		記 号	主成分による区分
・金 属	・金 属	方立目地	S R-2 シ リ コ ー ン 系
	上記以外の目地		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・コンクリート		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・ガラス		S R-1 シ リ コ ー ン 系
	・石、タイル		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・A L C	・仕上げなし	MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
・ポリ塩化ビニル樹脂形材 (樹脂製建具) (注) 6	(注) 2		P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系
	・押出し成形セメント板		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・ポリ塩化ビニル樹脂形材 (樹脂製建具) (注) 6		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・コンクリート		S R-1 シ リ コ ー ン 系
	・ガラス		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・石、タイル		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
・コンクリート	・A L C	・仕上げなし	MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	(注) 2		P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系
	・押出成形セメント板		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・ガラス		S R-1 シ リ コ ー ン 系
	・石		P S-2 ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系
	・プレキャストコンクリート		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
・A L C	・打継目地	・仕上げなし	P S-2 ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系
	ひび割れ	・仕上げあり (注) 2	P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系
	誘発目地		P S-2 ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系
	・石、タイル		P S-2 ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系
	・A L C	・仕上げなし	MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	(注) 2		P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系
・A L C	・押出し成形セメント板	・仕上げなし	MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	(注) 2		P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系
	・仕上げなし		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・仕上げあり (注) 2		P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系
	・仕上げなし		MS-2 変 成 シ リ コ ー ン 系
	・仕上げあり (注) 2		P U-2 ポ リ ウ レ タ ン 系

工事名

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図 名

特記仕様書-3

縮 尺

—

番 号

50 枚の内 A-03 号

設 計
年 月 日

令和 8年 3月

設 計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市

建築工事特記仕様書

No. 4/8

章

項

特記事項

9

防水工事

・押出し成形
セメント板

・押出し成形
セメント板

・仕上げなし
・仕上げあり (注) 2

MS-2
PU-2

変成シリコン系
ポリウレタン系

・水回り

・浴室、浴槽

・キッチン、キャビネット回り

・洗面、化粧台回り

SR-1

シリコン系
(注) 3

・タイル

・タイル (注) 3

・アルミニウム製建具等の工場シール (注) 4

PS-2

ポリサルファイド系

(注) 1. シーリング材の種類は、JIS A5758 (建築用シーリング材) による。
2. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。
3. 防かびタイプの1成分形シリコン系とする。
4. 現場施工のシーリング材と打継が発生する場合の工場シーリング材を示す。
5. 材料引張強度の低いものは、50 %モジュラスが材料引張強度の 1/2以下のものを使用する。
なお、被着体がALCパネルの場合は、50 %モジュラスが0.2N/mmf以下とする。
6. ポリ塩化ビニル樹脂形材は、JIS A5558 (無可塑ポリ塩化ビニル製建具用形材) による。
7. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。

8

シーリング材の試験
(9. 7. 5)

接着性試験

※簡易接着性試験

・引張接着性試験

9

保証年限

・アスファルト防水
・合成高分子系ルーフィングシート防水
・塗膜防水
・
・

10年
10年
10年
年
年

10

石工事

1

天然石 (10. 2. 1)

(10. 2. 1) (10. 2. 2)

・石材の品質
床
※ 2 等品
・
その他
※ 1 等品
・

・石材の種類及び表面仕上げ

施工箇所	種類・産地・名称	厚さ	仕上げの種類	工 法
・				
・				
・				
・				

建築基準法に基づき定められた風速 (V0) 及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分
※図示による
・適用しない

2

取付け金物
(10. 2. 2) (表10. 2. 4)

乾式工法用金物式
・スライド方式
・ロッキング方式

3

その他の材料
(10. 2. 3)

・石裏面処理材 ()
・裏材処理材 ()
・ドレンパイプの材質 ()
・金物固定充填材料 ()
・ ()
・ ()

11

タイル工事

1

伸縮調整目地及び
ひび割れ誘発目地
(11. 1. 3)

・外壁の伸縮目地
・図示による
※「建築標準仕様書」表11. 1. 1 による。
※下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、誘発目地を設ける。

2

施工後の確認
及び試験
(11. 1. 5)

※打診による確認
※屋外のタイル張り及び吹抜け部分
・
・接着力試験
試験体の位置 ()

3

陶磁器質タイル張り
(11. 2. 2～11. 4. 2)

タイルの種類
※標準色
・特注色

役物使用箇所
※各部の形状は図示による

内 装	出隅	天端	(標準一体成型品以外は接着成型品とする)
外 装	出隅、窓台、マグサ		

タイルの試験張り
※行わない
・行う ()
タイルの見本焼き
※行わない
・行う ()
・下地コンクリート素地面

(11. 2. 2～11. 3. 7)

適用タイル	躯体表面	下地モルタル塗り	工 法
・小口タイル ・二丁掛タイル	・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧水洗)	※ポリマーセメント ・モルタル下塗り ・行わない	※密着工法 ・改良圧着張り ・接着剤張り

MCR工法
MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。
施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。
目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、5 0 N/mm²の水圧で2. 5 分/m²とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。
施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。
ポリマーセメントモルタルの調査は、「建築標準仕様書」15. 2. 3(b)による。

11

4

セメントモルタル
による陶磁器質
タイル張り
(表11. 2. 2)

・タイル張りの種類及び工法

施工箇所	形状 (mm)	きじ	うわぐすり	工法
壁				※密着張り ・改良圧上げ張り ・改良圧着張り
				・ユニットタイル
				・ユニットタイル ・その他のタイル
床				

5

接着材による
陶磁器質タイル張り
(11. 3. 1) (11. 3. 2)

・タイル張りの種類及び工法

施工箇所	形状 (mm)	きじ	うわぐすり	その他

(11. 3. 3)

・有機質接着剤の種類
・タイプ I
・タイプ II
・その他 ()

12

木工事

①

適用基準等

・公共建築木造工事標準仕様書 (国土交通省大臣官房官庁営繕部)
・
・
・

②

寸法

図面上の寸法は構造材はひき立て寸法、造作材は仕上り寸法とする。

③

表面仕上げ
(12. 1. 4) (表12. 1. 1)

見え掛り面の表面仕上げ
・ A 種
※ B 種
・ C 種
・ D 種

④

木材の含水率
(12. 2. 1. i)
(表12. 2. 1)

木材の含水率の概要
下地材
※ A 種
・ B 種
造作材
※ A 種
・ B 種

⑤

製材

「製材の日本農林規格」による製材
○下地用針葉樹製材 樹種, 寸法, 等級, 形状(板類耳付・押角)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(板類耳付・押角等)
胴縁	杉		・ 1 級 ※ 2 級	
			・ 1 級 ・ 2 級	
			・ 1 級 ・ 2 級	

○造作用針葉樹製材 樹種, 寸法, 等級, 形状(板類・角類)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(板類・押角等)
壁見切	杉		・ 無節 ※ 上小節 ○小節	
			・ 無節 ・ 上小節 ・ 小節	
			・ 無節 ・ 上小節 ・ 小節	
			・ 無節 ・ 上小節 ・ 小節	

・広葉樹製材 樹種, 寸法, 等級, 形状(耳付材の有無)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(耳付材の有無)
			・ 特等 ※ 1 等 ・ 2 等	
			・ 特等 ・ 1 等 ・ 2 等	
			・ 特等 ・ 1 等 ・ 2 等	
			・ 特等 ・ 1 等 ・ 2 等	

「製材の日本農林規格」以外による製材
・下地, 造作及び仕上りに用いる製材 樹種, 寸法, 材面の品質, 防虫処理, 難燃処理

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理

(表12. 2. 2)

・造作材の材面の品質
※ A 種
・ B 種

6

造作用集成材
(12. 2. 1. C)

ホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ (※ 1)
・ F☆☆☆
※ 1 : F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材 単材の樹種及び厚さ

施工箇所	樹種	単材の厚さ (mm)	施工箇所	樹種	単材の厚さ (mm)
階段 踏板	栗	30	ステージ枠	タモ	
ササラ	栗	30	ステージ三方枠	タモ	
蹴込板	栗	15			

12

木工事

7

造作用単板積層材
(12. 2. 1. d)

ホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ (※ 1)
・ F☆☆☆
※ 1 : F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理

「単板積層材の日本農林規格」以外による造作用単板積層材
・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理

8

床張り用合板等

ホルムアルデヒドの放散量
※ F☆☆☆☆ (※ 1)
・ F☆☆☆
※ 1 : F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

・普通合板

厚さ (mm)	接着の程度	表面の品質
※ 5. 5	※ 1 類 ・ 2 類	・ 1 等 ※ 2 等

工事名

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図 名

特記仕様書 - 4

縮 尺

—

番 号

50 枚の内 A-04 号

設 計 年 月 日

令和 8 年 3 月

設 計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市

建築工事特記仕様書

No. 5/8

章

項

特記事項

⑫木工事

9接合具等
(12.2.2.a)

(12.2.2.b)

(12.2.2.C)

10防腐処理

11防蟻処理 (12.3.1)

12防虫処理 (12.3.2)

13鉄筋コンクリート造等の
内部間仕切軸組
及び床組
(12.4.1)

⑭窓, 出入口その他
(12.5.1)

15床板張り
(12.6.1)

16壁及び天井地下
(12.7.1)

17県産材

18市産材

13屋根及び
とい工事

1折板葺
(表13.2.1)

(13.3.2)

(13.3.3)

特記事項

・構造用合板

厚さ (mm)	接着の程度	表面の品質又は等級
※12	・特類 ※1類	・1等 ※2等 ・1級 ※2級
・9 ・15		

・パーティクルボード

厚さ (mm)	接着の程度	曲げ強さ
※12	・Mタイプ ・Pタイプ	・18タイプ ※13タイプ ・8タイプ
・		

・構造用パネル

厚さ (mm)	等級	備考
・	・	・
・		

接合具等

釘

・表面処理された鉄

・ステンレス鋼

・

木ねじ

※ステンレス

・

諸金物

※亜鉛めっき品

・

接着剤

ユリア樹脂, メラミン樹脂, フェノール樹脂, レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆

・F☆☆☆

・行う ()

・行わない

・行う ()

・行わない

・行う ()

・行わない

内部間仕切軸組及び床組に用いる木材

・特記がなければ, 杉又は松とする。ただし, 土間スラブの類の場合の土台, 転ばし大引及び転ばし根太は, ひのき又は保存処理木材とする。

・間仕切軸組に用いる木材 ()

・床組に用いる木材 ()

窓, 出入口その他に用いる木材

・特記がなければ, 吊元枠, 水掛りの下枠及び敷居はひのき, その他は松又は杉とする。

○窓, 出入口その他に用いる木材 (杉 ())

床板張りに用いる木材

・特記がなければ, ひのきとする。なお, フローリングは, 19章5節 [フローリング張り] による。

・緑甲板及び上がりがまちに用いる木材 ()

壁及び天井地下に用いる木材

・特記がなければ, 杉又は松とする。

・壁下地に用いる木材 ()

・天井地下に用いる木材 ()

(1) 構造材 (製材, 構造用集成材) ・下地材・造作材に使用する木材材料は, 特記なき材以外全て市産材, 岐阜県産材を使用する。

(2) JAS規格を証明する書類 (主要構造部100%)

(3) 部材ごとに, 岐阜県証明材推進制度実施要領に基づく「ぎふ証明材」であることを認証できる書類。

(4) 平成19年3月31日以前に事業所等に納品された資材について
県産材認証制度 (旧制度) による販売管理表又は伐採届けの写し, 市場, 製材工場等の納品伝票の写しなど, 県産材であることを確認できる書類

・使用木材はすべて, 原則市産材とし, 監督員と協議の上決定すること。

長尺金属板葺
(13.2.2~3)
(表13.2.1)

長尺金属板の種類
形式

・横葺

・瓦棒葺

・平葺

・

種類

・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGCCR-20-Z25)

・ポリ塩化ビニル被覆金属板 (A種, SG)

・塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CZACCR-20)

※溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGLCCR-20-AZ) JIS G 3322

・

鋼板の厚さ (mm)

一般部

※0.4

・

・

谷部

※0.4

・

・

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※図示による

下葺材料

・アスファルトルーフィング940

・改質アスファルトルーフィング下葺材

折板葺
(表13.2.1)

長尺金属板の種類
材種

※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CGCCR-20-Z25)

・ポリ塩化ビニル被覆金属板 (A種, SG)

・塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) (CZACCR-20)

・

種類

山高

171 mm

山のピッチ

333 mm

厚さ

0.8 mm

形による区分

※重ね形

・はぜ締め形

・かん合形

タイトフレーム, けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※図示による

・

⑬屋根及び
とい工事

3とい
(13.5.2)

4ルーフドレン
(13.5.3)

5鋼管製といの防露
巻工法等の処理
(13.5.2.C)
(表13.5.4)

(13.5.3)

⑭金属工事

1あと施工アンカー
(14.1.3)

2ステンレス
(14.2.1)

3アルミニウム及び
アルミニウム合金
(14.2.2)
(表14.2.1)

4鉄鋼の亜鉛めっき
(14.2.3)
(表14.2.2)

⑮軽量鉄骨天井地下
(14.4.2)
(表14.4.1)
(14.4.4.h)

野縁などの種類 (JIS A 6517) 建築用鋼製下地材 (天井)

屋外

・19形

※25形

屋内

※19形

・25形

・天井のふところが1.5m以上の補強

適用箇所

仕様

適用箇所

仕様

・

・

・

○耐震性を考慮した補強 (屋外・屋内)

[14.4.1~4]に加えて, 天井下地材における耐震性を考慮した補強は, 以下の1) ~4) のとおりとする。

1) 野縁受けは, 相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。

2) 野縁や野縁受けの隣り合うジョイントの位置は, 互いに1m以上離し, 千鳥状に配置。

3) 野縁受けと吊りボルトの接合に用いるハンガーは, ねじ留め等の措置 (開き止め) を講じる。

4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは, 特定天井告示 (平成25年国土交通省告示第771号) 第3第3項に適合する天井に用いられるもの又は耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準 (天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様の追加) の解説 (平成28年7月版)」 (国土交通省国土技術政策総合研究所他) の「付録1クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお, 当該クリップは, JIS A 6517によらなくてもよいものとする。

・屋外における耐風圧を考慮した補強

適用箇所

仕様

適用箇所

仕様

・

・

・

⑯軽量鉄骨壁地下
(14.5.3)
(表14.5.1)

スタッド, ランナーの種類 (JIS A 6517) 建築用鋼製下地材 (壁)

・50形 (H=2.7m以下) ○65形 (H=4.0m以下) ・90形 (H=4.5m以下) ○100形 (H=5.0m以下)

※スタッド 50 形は, ボード片面張りの場合に適用する。

※ランナー, 振れ止め等の種類は, 「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。

※出入口及びこれに準ずる開口部の補強材の種類は, 「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。

※補強材取付け用金物の種類は, 「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。

金属成形板張りの種別

種別

アルミスパンドレル (既製品)

施工箇所

製法

・押出し形材

・板曲げ

寸法 (mm)

板幅

板厚

形状

表面処理

伸縮継手

※設けない

・設ける (場所は図示)

7金属成形板張り
(14.6.2~3)

⑬金属工事

8アルミニウム製笠木
(14.7.2~3)
(表14.7.1)

⑮左官工事

①モルタル塗り
(15.2.2)

2防水モルタル塗り

③セルフレベリング
材塗り
(15.4.2)(表15.4.1)

4仕上塗材仕上げ
(15.5.2.a)

(15.5.2)(表15.5.1)

(15.5.2)(表15.5.1)

(15.5.2)(表15.5.1)

(15.5.2)(表15.5.1)

(15.5.4)
(15.5.7)(表15.5.4)

⑯建具工事

1防火戸の指定
(16.1.3)

2見本の製作等
(16.1.4)

3アルミニウム製建具
(16.2.2~16.2.4)
(表16.2.1)

アルミニウム製笠木の種類

※押出形材

・曲げ材

部材の種類

・250 形 (呼称肉厚は 1.6以上)

・300 形 (呼称肉厚は 1.8以上)

・350 形 (呼称肉厚は 2.0以上)

・ (呼称肉厚は 以上) 「建築標準仕様書」表 14.7.1以外の既製品

・ (呼称肉厚は 以上) 「建築標準仕様書」表 14.7.1以外の既製品

表面処理

※Aー1種又はBー1種

・

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔, 固定方法等

※図示による

・

材料

吸水調整材の品質

※「建築標準仕様書」表15.2.2による

既製目地材

・使用しない

・使用する

形状, 寸法

()

防水剤

※実績等の資料を監督員に提出する

セルフレベリング材の種類

種類	厚さ (mm)	施工箇所
○セメント系	※ 10	・
・石こう系	※ 10	・

仕上塗材材料

内装仕上に用いる塗材のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・

防火材料: 屋内の壁及び天井の仕上材は, 防火材料又は建築基準法に基づく, 基材同等の認定表示のあるものとする。

・薄付け仕上塗材

種類	仕上の形状	工法
・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け
・	・	・
・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく	・吹付け
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け
・	・	・

・厚付け仕上塗材

種類	仕上の形状	工法	上塗材
・外装薄塗材E	・吹放し	・吹付け	・行う
	・凸部処理		・行わない

・複層仕上塗材

種類	仕上の形状	工法	上塗材		
※複層塗材E	※凹凸模様	※吹付け	※水系	※アクリル系	※つやあり
・複層塗材CE	・凸部処理	・吹付け	・水系	・アクリル系	・つやあり
・可とう形複層塗材CE	・凹凸模様	・ローラー	・溶剤系	・ポリウレタン系	・つやなし
・複層塗材Si	・ゆず肌状		・弱溶剤系	・アクリルシリコン系	・メタリック
・複層塗材RE	・			・ふっ素系	・
・	・			・シリカ系	・

・軽量骨材仕上塗材

種類	仕上の形状	工法
・吹付け軽量塗材	・砂壁状	・吹付け
・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り

下地処理

ALCパネル内壁目 地部の形状

※V型目地付き

・

所要量等の確認

※「建築標準仕様書」表15.5.4による

・

※図示による

※防火戸は, 建築基準法第2条第九号の二ロの規定に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。

建具見本の製作

・製作する (図示)

※製作しない

特殊な建具の仮組

・行う (図示)

※行わない

建具の製作所

※監督員の承諾する製作所

性能及び構造

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

種別	性能項目			
	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
・A種	※Sー4	※Aー3	※Wー4	70mm (注)
・B種	※Sー5			
・C種	※Sー6	※Aー4	※Wー5	100mm

(注) 引違い・片引き・上げ下げ窓で, 複層ガラスを使用する場合は, 100mmとする

耐風圧性は取付高さに適応したものとする。

表面処理	・外部	・Bー1種	※Bー2種
	・内部	※Cー1種	・Cー2種

工事名

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図名

特記仕様書-5

縮尺

—

番号

50枚の内

A-05号

設年月日

令和 8年 3月

設計

株式会社 斐太プランニング

一級建築士 第266975号 門 秀樹

高山市

建築工事特記仕様書

No. 6/8

章

項

特記事項

⑬

建築工事

4 網戸 (16. 2. 3)

5 樹脂製建具 (16. 2. 2～16. 2. 4) (表16. 2. 1)

6 鋼製建具 (16. 4. 2)

7 鋼製軽量建具 (16. 5. 2)

8 ステンレス製建具 (16. 6. 2)

⑨ 木製建具 (16. 7. 2) (表16. 7. 2) (表16. 7. 3)

⑩ 建具金物 (16. 8. 1～4) (表16. 8. 1～4)

11 自動ドア開閉装置 (表16. 9. 1)

12 自閉式上吊り引戸装置 (表16. 9. 2) (表16. 9. 3)

13 重量シャッター (16. 11. 2)

(表16. 11. 1)

着色の色合

・アンバー

・ブロンズ

・ブラック系

・ステンカラー

・防音ドアセット, 防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・断熱ドアセット, 断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・耐震ドアセット, 面内変形追従性の等級

※図示による

防虫網及び防鳥網

・ガラス繊維入り合成樹脂

・合成樹脂

・ステンレス製

防鳥網

・ステンレス製

径1. 5mm

ピッチ15mm

性能及び構造

外部に面する樹脂製建具の性能等級

性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
・ A種	S－4	A－4	W－4	
・ B種	S－5			
・ C種	S－6			

着色の色合

・アンバー系

・ブロンズ系

・ブラック系

・シルバー系

・防音ドアセット, 防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・断熱ドアセット, 断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

鋼製建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性, 水密性の等級

・適用する (「建築標準仕様書」表16. 4. 1)

・適用しない (「建築標準仕様書」表16. 2. 1)

・ S－5

・ S－6

外部に面する建具の耐風圧性

※ S－4

・防音ドアセット, 防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・断熱ドアセット, 断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・耐震ドアセット, 面内変形追従性の等級

※図示による

鋼板類の厚さ (W) 以下の場合

※「建築標準仕様書」表16. 4. 2による

(W) を超える場合

※図示による

(W) は, 片開き, 親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が 950 mm 又は有効高さが 2, 400mm

鋼製軽量建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性の等級

・適用する (気密性 A－3)

・適用しない

・防音ドアセット, 防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・断熱ドアセット, 断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

戸の鋼板

・鋼板 (「建築標準仕様書」16. 5. 3(a) (1))

・ビニル皮膜鋼板

・カラー鋼板

召合せ, 縦小口包み板, 押縁

・鋼板 (「建築標準仕様書」16. 5. 3(a) (1))

・ステンレス鋼板

・アルミニウム押出材

鋼板類の厚さ (W) 以下の場合

※「建築標準仕様書」表16. 5. 1による

(W) を超える場合

※図示による

(W) は, 片開き, 親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が 950 mm 又は有効高さが 2, 400mm

ステンレス製建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性, 水密性の等級

・適用する (「建築標準仕様書」表16. 4. 1)

・適用しない

・ S－5

・ S－6

外部に面する建具の耐風圧性

※ S－4

・防音ドアセット, 防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・断熱ドアセット, 断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・耐震ドアセット, 面内変形追従性の等級

※図示による

ステンレス鋼板

・ S U S 3 0 4

・

表面の仕上げ

※ H L 仕上げ

・

木製建具材の加工材料及び組立時の含水率

・ A種

・ C種

建具材の含水率

○中骨式

・ペーパーコア式

・

ふすまの材料種別

※Ⅰ型

・Ⅱ型

・ビニル紙

※新鳥の子

※雲花紙

・

上張り紙

・

縁

押入れ等の裏紙

※図示による

建具金物の材質, 形状及び寸法

建具表による

見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。

鍵箱

・設ける (個用)

・設けない

・鍵札

マスターキー

・製作する (組)

・製作しない

・既存マスター合わせ

煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。

※扉にラッチ受座用切込開口補強

・枠に解錠機構用切込開口補強

製作所

※監督員の承諾する製作所

スライディングドア用の性能値

片引き

・ S S L D－1

・ S S L D－2

引分け

・ D S L D－1

・ D S L D－2

スイングドア用の性能値

片引き

・ S W D－1

・ S W D－2

センサーの種類

・マツトスイッチ

・光線スイッチ

・熱線スイッチ

・音波スイッチ

・光電スイッチ

・電波スイッチ

・タッチスイッチ

・押しボタンスイッチ

・ペダルスイッチ

・多機能便所スイッチ

・非接触センサースイッチ

※多機能便所スイッチには大型 (開・閉) 押しボタンスイッチ又は非接触スイッチ, 使用中表示灯, 外部側キースイッチ (緊急時対応) を含む。

開閉方式

※手動開き式

シャッターの種類

・一般重量シャッター

・外壁用防火シャッター

・屋内用防火シャッター

防煙シャッターは, 自動閉鎖機構及び随時閉鎖機構付とし, 連動制御盤及び煙感知器は別途とする。

耐風圧強度

・ 500Pa

・ 750Pa

・ 1000Pa

・ 1250Pa 以上

開閉機能による種別

※上部電動式 (手動併用)

・上部手動式

シャッターケース (防火, 防煙以外の場合)

・設ける

・設けない

14 軽量シャッター (16. 12. 1) (表16. 12. 1) (16. 12. 4)

15 施工区分

⑬ ガラス (16. 14. 2) (表16. 14. 1) (表9. 7. 1)

開閉装置による種別

・上部電動式 (手動併用)

※上部手動式

耐風圧強度

・ 500Pa

・

シャッターケース

※設ける

・設けない

スラットの形状

・インターロッキング形

・オーバーラッピング形

※電動シャッター

自動扉の施工範囲は, 電源端子台一次側配線までを電気設備工事とし, 以降を本工事とする。

板ガラスの品質及び厚さ等

※図示による

・

ガラス留め材

建具の種類	材 種
鋼製	※シーリング材

 ・ || アルミニウム製 | ・ガスケット (注) | ○シーリング材 |
 ・ || ステンレス製 | ※シーリング材 |
 ・ || 木製 | ※シーリング材 |
 ・ |

防火戸のガラス留め材は認定を受けた条件による。

(注) 外部に面する複層ガラス, 合わせガラス, 網入り板ガラス, 線入り板ガラスを除く

ガラス溝の大きさ

※強化ガラス, 倍強度ガラス, 熱線反射ガラス (映像調整を行う場合) は(a)に2mmを加算する。

17 カーテンウォール (17. 1. 3) (17. 2. 2～6) (17. 3. 2～6)

⑬ カーテンウォール工事

カーテンウォールの性能

耐風圧性	※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの				
・正圧	N/㎡以上, 負圧	N/㎡以上に対して安全なもの			
耐震性	水平方向に対する地震力係数	※1. 0			
鉛直方向に対する地震力係数	※0. 5				
層間変位追従性	S造	※1/200 以上			
R C, S R C造	※1/300 以上				
・水密性	・ W－4	・ W－5	・		
・気密性	・ A－3	・ A－4	・		
・耐火性					
・耐温度差性	・ T－1	・ T－2	・ T－3	・ T－4	・
・遮音性					
・断熱性					

その他の性能

・図示による

種類

・メタルカーテンウォール

金属材料その他の材料

※図示による

・ P Cカーテンウォール

製作所

⑬ 塗装工事

① 材料 (18. 1. 3)

② 塗装面の確認等

3 素地ごしらえ (18. 2. 2) (18. 2. 3) (18. 2. 4)

4 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)

⑮ 塗料の種類 (18. 4. 2)

防火材料

屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき, 指定又は認定を受けたものとする

材料

塗料のホルムアルデヒド放散量

※ F ☆☆☆☆

・

工事現場塗装

※使用量から単位面積当たり塗付量を推定

工場塗装

※適切な測定器具により膜厚を確認

素地ごしらえ

木部	不透明塗料塗り	※ A種	・ B種	
	透明塗料塗り	・ A種	※ B種	
鉄鋼面		・ A種 (注)	・ B種 (注)	※ C種
亜鉛めっき面	鋼製建具	※ A種 (注)	・ B種	・ C種
	鋼製建具以外	・ A種 (注)	※ B種	・ C種

(注) : 製作工場で行う。

鉄鋼面

	塗料の種別	適 用	塗料塗りの種別
(注1) 以外	※ A種 JIS K5674 1 種 ・表18. 7. 1鉄鋼面耐候性塗料塗りによる	屋内, 屋外	見え掛り ※ A種 ・ B種
(注1)	※ B種 JASS 18 M 111 JIS K5674 2 種	屋内	見え掛り ・ A種 ※ B種

(注) : つや有合成樹エマルジョンペイント塗り (E P－G)

亜鉛めっき鋼面

	塗料の種別	適 用	塗料塗りの種別
(注1) 以外	※ A種 JIS K5629 ・ B種 JASS 18 M 109	屋内, 屋外	鋼製建具 ※ A種 その他 ※ C種
(注1)	※ C種 JASS 18 M 111	屋内	

(注) : つや有合成樹エマルジョンペイント塗り (E P－G)

合樹樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類

※ 1 種

・ 2 種

(「建築標準仕様書」18章 4 節～13節)

	S O P	E P－G	・ E P－T	E P	W P	D P
木部	※ B種 (注1)	「建築標準仕様書」 (表18. 8. 2)		－	※ B種	(1 級)
鉄鋼面	※ B種	※ B種		－	－	・ B種
亜鉛めっき面	「建築標準仕様書」 (表18. 4. 3)	「建築標準仕様書」 (表18. 8. 4)		－	－	－
ボード等 (注2)		※ B種		※ B種	－	－

(注1) : 屋外はA種とする (多孔質広葉樹を除く)

(注2) : コンクリート, モルタル, プラスター, セっこうボード, その他ボード面等 (「建築標準仕様書」18章 8 節)

⑬ 内装工事

① 接着剤 (19. 2. 2)

② ビニル床シート
ビニル床タイル

3 カーベット敷き (19. 3. 2～4) (表19. 3. 2)

4 合成樹脂塗床 (19. 4. 2～3)

5 フローリング張り (19. 5. 2～5) (表19. 5. 1～6)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ F ☆☆☆☆

・

○ビニル床シート

○仕上げ表による

種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法
※発泡層のないもの	※ F S	※ブレーン ・マーブル ・特殊柄	※2. 0 ・2. 5	・帯電防止 ・耐動荷重 ・防滑性	・突付け ・熱溶接

・ビニル床シート参考メーカー (同等品扱いとし指定するものではない)

・ビニル床タイル

記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	備 考	
・ H T	※標準柄	※2. 0	・3. 0	・帯電防止 ・耐動荷重	
・ C T	※標準柄	※2. 0		・帯電防止 ・耐動荷重	
・ C T S	・特殊柄	・			

・特殊機能床材

種 類	厚さ (mm)	形状, 寸法, 性能等
・視覚障害者用床タイル		

・ビニル幅木

厚さ (mm)	高 さ (mm)	色 柄			
※1. 5 以上	・ 60	・ 75	・ 100	・	※標準柄

・タイルカーベット

・仕上げ表による

種 別	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	色 柄	敷き込み
※一種	※ループバイル ・カットバイル	※500×500	※ 6. 5	・無地 ・柄物	※全面接着工法

製造所及び製品名

・厚膜型塗床材

塗床の種類	仕上りの種類	
・弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・薄膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ	・防滑仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・防滑仕上げ

・薄膜型塗床材

塗床の種類	仕上りの種類
※エポキシ樹脂系塗床	※平滑仕上げ

※塗床に使用する塗料のホルムアルデヒド発散量

※ F ☆☆☆☆

・

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等

※[19. 5. 2] (2) による

・

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ F ☆☆☆☆

・単層フローリング (フローリングボード1等)

工法

・釘留め工法 (・根太張り

・直張り)

・接着工法

樹種

※なら

間伐材等の適用

・適用する

・適用しない

・単層フローリング (フローリングブロック1等)

樹種

・

厚さ (mm)

・

大きさ

・

間伐材等の適用

・適用する

・適用しない

・複合フローリング

工法

・釘留め工法 (・根太張り

・直張り)

・接着工法

樹種

※なら

・かば

種別

・ A種

・ B種

・ C種

間伐材等の適用

・適用する

・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和剤

※合成樹脂発泡シート

・

工事名

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図 名

特記仕様書 -6

縮 尺

－

番 号

50 枚の内 A-06 号

設 計 年 月 日

令和 8年 3月

設 計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市

建築工事特記仕様書

No. 7/8

章

項

⑬内装工事

6畳敷き(19.6.2)

⑦せっこうボード
その他ボード
及び合板張り
(19.7.2)
(表19.7.1～表19.7.5)

畳の種類
種別
防虫処理

・A種
・B種
※C種
・D種

※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
○せっこうボード製品

材種・規格	施工箇所	張 り 方	厚さ (mm) 等
○せっこうボード (JIS A6901)	○壁	・下張り ・上張り ○直張り	・ 9.5 (準不燃) ○12.5 (不燃) ・
	○天井	○下張り ・上張り ○直張り	○ 9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・
・化粧せっこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901)	・天井	・直張り	・突付け ※ 9.5 (準不燃)
・化粧せっこうボード (プリント) (JIS A6901)	・天井	・直張り	・突付け ・ 9.5 (準不燃) ・12.0 (不燃) ・不燃性原紙裏張り
・吸音用穴あきせっこう ボード (JIS A6301)	・天井	・直張り	・突付け ・ 9.0 (不燃) ・12.0 (不燃) ・15.0 (不燃)
・ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301)	・天井	・上張り ・直張り	・突付け ・ 9.0 (不燃) ・12.0 (不燃) ・15.0 (不燃)
○シージングせっこうボード	・壁	・下張り	・突付け ・12.5 (不燃)

・繊維強化セメント板

種 類	施工箇所	張 り 方	規格・厚さ (mm)
・けい酸カルシウム板		・目透し ・突付け	・ 6.0 (不燃) ・ 8.0 (不燃) ・ 10.0 (不燃) ・ 12.0 (不燃)
タイプ2 ・普通板 (JIS A5430)	・壁 ・天井	・突付け ・突付けV目地	・ 6.0 (不燃) ・ 8.0 (不燃) ・ 10.0 (不燃) ・ 12.0 (不燃)
・化粧ボード (JIS A5430)	・壁 ・天井	・目透し (シーリング) ・突付け ・ジョイナ	

○その他ボード

種 類	規 格 等
・木毛セメント板 (JIS A5404)	
・不燃化粧メラミン板	・厚3.0
○アクリル樹脂系塗装ケイ酸板	○厚6.0

(19.7.2～3)

・合板

材 料	樹種名	処理	耐水性、厚さ (mm) 等
・普通合板	・ラワン ・シナ(有孔)	・防虫 ・防虫 ・難燃 ・難燃	2 類 ・ 5.5 ・ 12.0 ・ 15.0 ・ 4.0 ・
・天然木化粧合板			
・			

合板のホルムアルデヒド放散量等
※F☆☆☆☆、非ホルムアルデヒド系接着剤使用（普通合板及び天然木化粧合板に限る）、非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用（天然木化粧合板に限る）並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用（特殊加工化粧合板に限る）とする。
・

(19.7.3)

下地の工法 ※図示による ・

8壁紙張り(19.8.2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の種別
仕上り表による		・
		・
		・
		・
		・

壁紙のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・

9断熱材(19.9.2)

断熱材打込み工法

材 種	種 別	厚 (mm)	施工箇所
・ビーズ法 ポリスチレンフォーム保温材			
※押出法 ポリスチレンフォーム保温材	・ 2 種 b ・ 3 種 b	※25 ・ 50 ・ 20 ・ 60	
・A種硬質ウレタンフォーム 保温材			
・フェノールフォーム保温材			

章

項

⑭内装工事

(19.9.3)

※保温材は全てA種（ノンフロン類）とする
※フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
断熱材補修材 ・断熱材と同材 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材
断熱材現場発泡工法

材 種	種 別	厚 (mm)	施工箇所
○吹付け硬質ウレタンフォーム 断熱材	※A種1 難燃性	・ 75 ・ 45 ・ 50 ・ 30	図示

※難燃性 ・ 2 級 ※ 3 級

・断熱材敷込み工法

材 種	種 別	厚 (mm)	施工箇所
○グラスウール断熱材	・ 16kg品 ○24K	○50 ・ 100 ・ 155	図示

⑮ユニット及びその他工事

1フリーアクセス
フロア(20.2.2)

フリーアクセスフロアユニット製品類

施工箇所	材 質	寸法・高さ	耐荷重性能	耐震性能

※表面仕上材 ※図示による ・
・帯電防止性能 ・漏えい抵抗

・パーティション

構造形式種別	構成基材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能
・スタッド式	※アルミ			・ 不燃
	・スチール			・

・スライディングドア

操作方法種別	パネル表面材・仕上	圧接装置操作方法	遮音性能	防火性能
・手動式 ・		・ハンドル回転式 ・プッシュ式		・ 不燃 ・

・アコーディオンドア
製造所

○トイレブースの仕様（建具表による）

表面材の材質（下小口共）	脚 部	ドアエッジ
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木 ・支柱	※SUS ・ ・標準 ※R付 ○アルミ ・SUS

金物 ※図示による（見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。）

・階段滑り止めの仕様

材 種	形状・寸法	工 法	フラットエンド
・ステンレス製 ・アルミ製	※タイヤ入 ・タイヤなし	※35mm ・	※接着工法 ・埋込工法 ・有（ ・なし

・黒板及びホワイトボードの仕様

種 類	色	暗線	施工箇所
・黒板	※焼付	※緑 ・黒 ・有 ・なし	
・ホワイトボード	※ほうろう	・白 ・有 ・なし	

枠
形状

・木製（図示による）
・平面
・平面（行事）
・
・アルミ製
・有（図示による）
・

・アルミ製
箇所
箇所
箇所

チョークボックス
ピクチャーレール

・

7表示(20.2.10)

※法令に基づく表示（非常用進入口等の表示は、消防法に適合する市販品を使用）
・衝突防止表示（
・室名札（
・ピクトグラフ（
・案内板（
・視覚障害者案内板（
・シンボルマーク（
・車イスマーク（
・施設名文字
・切抜文字
・ステンレス
文字数（
・箱文字
・ステンレス
文字の大きさ（ × ）

8ブラインド及び
ロールスクリーン
(20.2.12)(20.2.13)

・ブラインドの仕様
スラットは消防法で定める防炎性能の表示があるものとする

形 式	※横形(JIS A4801)	・縦形
種 類	※ギア式 ・コード式	※コード方式
スラットの幅	※25mm ・ 35mm ・ mm	・ 100 ・ 75
スラットの材質	※アルミニウム合金 ・	※アルミニウム合金 ・クロス
ボックス等の材質	※鋼製 ・	※アルミ（ヘッドレール）

・ロールスクリーンの仕様 スクリーンは消防法で定める防炎性能の表示があるものとする
※ロールスクリーンの操作方式、幅及び高さは、図示による

※ロールスクリーンの材質、品質等は、図示による
※ロールスクリーンの色見本を監督職員に提出する
※ロールスクリーンの巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は
※ロールスクリーンの巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は
、製造所の仕様による
製造所

章

項

⑯ユニット及びその他工事

9カーテン及び
カーテンレール
(20.2.14)

施工箇所 ・図示
仕様 ・図示

カーテン及びカーテンレールの仕様 きれ地は消防法で定める防炎性能の表示があるものとする

きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	防炎性能の表示
・遮光1級（完全遮光）	2 倍ひだ	○

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300 以上
カーテンレール 材 種 ・ステンレス製 ※アルミニウム製

10スクリーン

種 別 ※ホワイトスクリーン
形 式 ※スプリング巻上（ノーショック）式
寸法 (mm) ※幅（ ） ・高さ（ ）

11くつふきマット

枠 ※ステンレス製 ・黄銅製
マット ※塩化ビニル製 ・ゴム製 ・アルミ合金製 ・鉄製 ・ステンレス製
排水 ※設ける（排水目皿V P 50φ） ・設けない

12厨房器具

・厨房器具 ・下記表による ・図示による

器 具 名	規格・施工箇所等
・流し台	市販品
・調理台	〃
・コンロ台	〃
・ガステーブル	〃
・つり戸だな	〃
・水切だな	〃
・	〃

13ピクチャーレール

タイプ ・天井面付け ・壁面付け フック ケ／m
安全荷重 ※15kg以上

14ブラインドボックス
カーテンボックス

材質 ※アルミニウム製 ・木製
表面処理 ※C－1 ・C－2（色調：
溝幅×深さ (mm) ※図示による ・ 1 2 0 × 8 0 ・ 2-UC

15消火器ボックス

既製品 ・図示による

16視覚障害者用
誘導ブロック

材質 ・塩化ビニル製 厚さ ※7mm（ 2 + 5 ） サイズ ※3 0 0 × 3 0 0
・コンクリート製（厚さ30mm）
・磁器質タイル製

17家具類

合板類、MD F及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
・図示による

18EXP. Jカバー

・アルミ製（図示による） ・ステンレス製（図示による）

工事名

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

図 名

特記仕様書-7

縮 尺

—

番 号

50 枚の内 A-07 号

設 計
年 月 日

令和 8年 3月

設 計

株式会社 斐太プランニング
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市

解体工事特記仕様書		
A 共通事項		
01適用基準	この特記事項以外は下記に準拠する。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 同解説 最新版（以下「解体共通仕様書」という。）	
B 留意事項		
01発生材処理	PCBの混入が疑われる機器・材料については監督員と協議の上、適正に処理する。 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。	
02建設廃棄物	労働安全衛生法 大気汚染防止法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ダイオキシン類対策特別処置法 建築リサイクル法 「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適切に処理する。 解体及び廃棄物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。 混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 コンクリート塊 アスファルトコンクリート塊 木屑 石膏ボード屑 鉄・アルミ・ステンレス屑 ガラス・陶磁器屑 繊維屑 プラスチック類	
03再資源化施設への搬出		
C 一般事項		
01立合検査	下記の項目については、監督員の立合検査を受け、検査立合記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。 各種製品検査 各種仕上検査 工事中間検査及び竣工検査 アスベスト撤去前	
02下請業者の承認	請負者は工事に先立ち、各下請業者、各職種別下請人名簿、使用材料の一覧表を監督員に提出し承認を得てから施工及び製作に着手すること。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む）を有する者の中から選定するよう努めること。 下請け業者の選定に当っては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。	
03設計図書との差異	本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り、取合いによる変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議の上その指示に従う。	
D 仮設工事		
01仮設計画	設計図書中の配置図を元に施工し、事故防止・安全管理に努めること。 建物位置と敷地との相対関係、資材搬出入方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を作成し、監督員の承認を受けること。 工事車両の現場進入経路は、近隣の状況を把握し、迷惑を掛けないよう配慮すること。 進入経路に安全係員（1週間/1人程度）を配備すること。 仮囲いは第三者の侵入がないように、足元の隙間なきように設置する。 手すり先行足場工法による足場を採用すること 隣接建物の利用に配慮し、防塵・防音に最大限の努力をすること。	
02解体・撤去・移設	解体作業時には散水養生を充分に行い、粉塵の飛散を極力少なくする対策をとること。解体作業において飛散防止に解体養生が必要な箇所ができたときは、請負者の責任において速やかに対処すること。 工事の着工に先立ち、一時撤去品・移設品の有無について他の関連工事を充分に確認し監督員の指示に従い移設時期を協議調整の上、工事に取り掛かること。 アスベスト含有建材の使用部分を事前に調査確認しその撤去処分について施工計画書に明記する。 有資格者による調査及び報告、事前調査結果報告システムへの登録を行うこと。 施工中にアスベスト含有が確認された場合は監督員と協議の上適正に処理する。 鋼製焼却炉については 事前にダイオキシン類に関する空気中濃度測定及び汚染物のサンプリング調査を実施し ダイオキシン類のばく露防止処置を適正に行って解体処分する。	
03保護設備	本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。	
04保護設備	本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。	
05現地調査	既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図に施工上の留意点を明確にすること。	
06掃除復旧	工事完了後に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。 本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧し、維持管理等の費用は請負者の負担とする。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧を行う。 作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。	
07安全点検		
08その他	本工事は 施設 を使用しながらの工事であるため、運営に支障をきたさぬように万全をきずこと。 又、工事日時、停電、断水等は事前に監督員・関係者と協議し、業務に支障のないようにすること。 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用し、騒音・埃・運搬等により付近の住民に迷惑を及ぼさないよう対策を充分に講ずること。 関係法 PCB廃棄物特別処理法 フロン回収破壊法 家電リサイクル法 石綿障害予防規則 廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要領 蛍光灯ランプについては、産業廃棄物として適切に処分する。 設計図書に記載がなくても工事上の措置の必要性が発生した場合は監督員と協議し速やかに対処すること。その費用については請負者の負担とする。 構造物撤去後は整地する	
E 撤去工事		
01一般事項	本工事は、既設建物の改修について記するものであり、本章に記載なき事項は設計図書により全章各工事に準拠し念に施工する。	
02施工範囲	特記、設計図書及び指示する範囲とする。改修しない部分との取合い部分、その他ではつり及び工事の都合により破損させた箇所は、請負者の負担で完全に修繕する。	
03既設外壁撤去等	騒音及びほこりの発生に十分配慮し養生を行うと共に、監督職員の承認を受けて作業を進める。既存モルタル等のはつり工事に使用する機種は、ビッグブレーカー手はつりを原則とし、その他の機種の使用は監督職員との協議の上、決定する。 はつり工事において躯体に損傷を与えぬよう養生し、十分注意する。高所におけるはつり工事は、養生シート等により発生材の飛散を防止する。	
04防音・防塵対策	既設 床・壁・天井等のはつり、撤去及び搬出による騒音・ほこり等については周辺の状況等を調査、打合せの上、防音・防塵対策に努めること。	
05その他		

05	その他	解体に際し必要に応じて調査報告書、解体施工計画書を作成し監督職員の承諾を受ける。 当該撤去建物の廃棄物の内、石膏ボード、ケイカル板等の建材、外壁塗膜について、アスベスト含有の成形板の可能性がある材料を撤去する際は、工事前に対象物毎に含有測定を行い確認をし監督員に報告を行うこと。 アスベスト含有物については、解体共通仕様書に基づき適切に撤去・処分を行うこと。 事前調査結果については、大気汚染法及び労働安全衛生法に基づき所管機関に適切に報告を行うこと。 本工事で調査するアスベスト建材 <table><tr><th>位置</th><th>品目</th><th>使用室</th></tr><tr><td>各所トイ</td><td>石膏ボード</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ケイカル板</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ケイカル地</td><td></td></tr><tr><td></td><td>長尺シート</td><td></td></tr></table> 本工事で該当するアスベスト建材（調査済） <table><tr><th>位置</th><th>品目</th><th>使用室</th></tr><tr><td>各所トイ</td><td>未調査</td><td></td></tr></table> 上記品目の他、調査が必要な場合は監督員に事前に報告すること アスベスト成形板の定義 アスベスト成形板 セメント、けい酸カルシウム等の原料に、アスベストを補強繊維として混合し、成形されたもののうち、アスベスト含有率が0.1重量%を超えるものをいう。 非飛散性アスベスト廃棄物 アスベスト成形板が解体工事等により撤去され廃棄物となったものをいう。 非飛散性アスベスト廃棄物の区分 アスベスト成形板は、廃棄物になった際には、容易に大気中に飛散しない非飛散性アスベスト廃棄物となり、主に産業廃棄物の「工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物」（がれき類）（令第2条9号）又は「ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず」（令第2条7号）に該当する。 解体作業レベル1～3の区分 レベル3 廃棄物としての飛散性・非飛散性の区分 解体状況により飛散性に準じた取り扱いとする。 ※改修範囲外に使用されているアスベスト含有建材については、飛散しないと思なす。ただし、施工上撤去等発生する場合には、監督員と協議の上必要な措置を講ずる事。 排出事業者は、非飛散性アスベスト廃棄物を適正に処理するため、施工計画書に処理方法について具体的な処理計画を立てる。 処理計画書の作成に当たっては、次の点に留意する。 ① 非飛散性アスベスト廃棄物の発生量 ② 非飛散性アスベスト廃棄物からアスベストの飛散を防止する撤去方法 ③ 現場内における分別方法 ④ 収集運搬及び処分方法 施工中に処理計画書に基づいた処理が実施されるように、管理体制を整えて現場の運営に当たるとともに、関係者に周知を行う。 処理計画書の記載内容 処理計画は文書化し、関係者に周知徹底すること。処理計画書には、次のような項目を記載する。 1) 工事概要 ① 工事名称、工事場所、工期 ② 発注者名、設計者名、作業所長名、廃棄物管理責任者名 ③ 工事数量 ④ 解体工事の請負業者名 2) 非飛散性アスベスト廃棄物 ① 発生量 ② 撤去、分別、保管、収集運搬、中間処理、最終処分方法 ③ 委託処理 ④ 産業廃棄物処理業者（収集運搬業者、中間処理業者及び最終処分業者）の許可番号、事業の範囲、許可期限等 ⑤ 処理施設の確認方法 ⑥ 添付書類として、産業廃棄物処理委託契約書及び産業廃棄物処理業の許可証の写し なお、飛散性アスベストがあった場合は、非飛散性アスベストとは区分して、特別管理産業廃棄物として取り扱うこと。 現場の養生 撤去作業に先立って解体等現場の周辺には粉じん等の飛散防止幕を設置し、散水装置等を設置する。 アスベスト成形板等の撤去 撤去時は湿潤する等の飛散防止措置を講じ、除去物を強度のある袋に袋詰め等する。 アスベスト成形板の撤去後の措置 現場において、撤去後のアスベスト成形板の切断等は最小限とし、解体物の破砕に当たらない作業を実施しない。 保管 排出事業者は、非飛散性アスベスト廃棄物が運搬されるまでの間、当該廃棄物からアスベストが飛散しないように保管する。 収集運搬、中間処理の留意事項 (1) 収集運搬に当たっては、非飛散性アスベスト廃棄物からアスベストの飛散するおそれのないように行う。 (2) 他の廃棄物と混合することのないよう区分して収集運搬する。 (3) 運搬車両は、アスベストの飛散及び非飛散性アスベスト廃棄物の落下を防止する構造を有するものとする。 (4) 中間処理業者は、受入れの際に検査を実施し、非飛散性アスベスト廃棄物が分別されていることを確認する。 (5) 中間処理の作業の前後で保管する場合は、他の廃棄物と分けて保管し、飛散するおそれのないようにする。 (6) 他の廃棄物と分別して、非飛散性アスベスト廃棄物のみを破砕等を実施する。 (7) 破砕の際は、破断面からアスベストが飛散しないよう適切な方法で実施し、併せて、飛散防止措置を講じる。 最終処分場の管理 非飛散性アスベスト廃棄物を受け入れる最終処分場においては、廃棄物の種類に応じて処分場の適正な管理を行うための次のような措置を講じる。 (1) 受入要領をあらかじめ定め、非飛散性アスベスト廃棄物の処理委託契約に際し排出事業者に提示する。 (2) 受入れに際し非飛散性アスベスト廃棄物の量、積載状況等を確認する。 (3) 非飛散性アスベスト廃棄物は、最終処分場内に場所を定めて埋め立てる。 (4) 最終処分場管理者は、非飛散性アスベスト廃棄物の埋立場所、埋立量を記録し、保存する。	位置	品目	使用室	各所トイ	石膏ボード			ケイカル板			ケイカル地			長尺シート		位置	品目	使用室	各所トイ	未調査	
位置	品目	使用室																					
各所トイ	石膏ボード																						
	ケイカル板																						
	ケイカル地																						
	長尺シート																						
位置	品目	使用室																					
各所トイ	未調査																						
06	アスベスト成形板の定義																						
07	処理計画																						
08	アスベスト成形板の解体																						

09	アスベスト成形板の撤去	
----	-------------	--

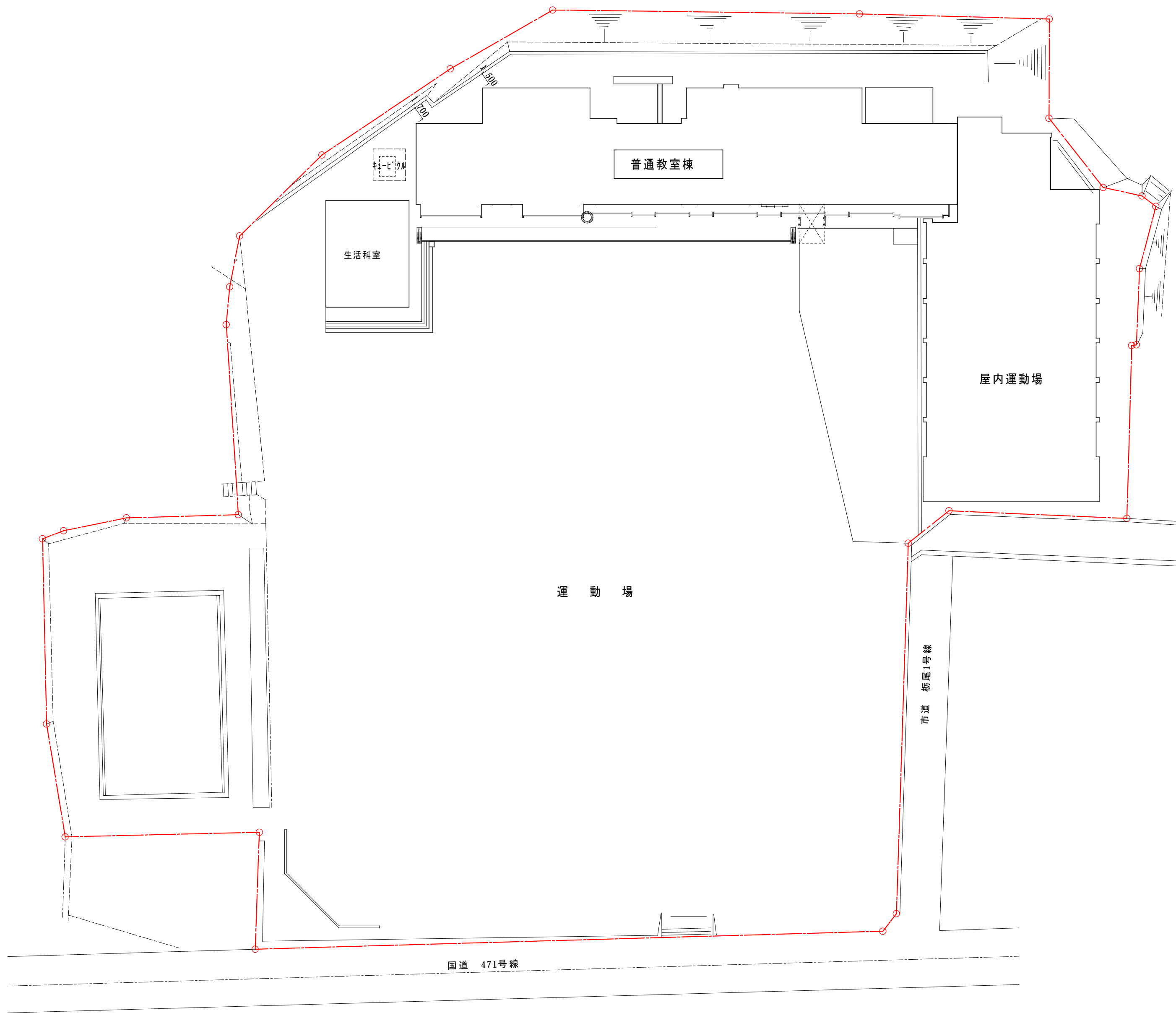
工事計画工程表

工事名称： 栃尾小学校校舎トイレ改修工事										※7月1日着工とした場合										
項 目	2026年（令和8年）																			
	7月					8月					9月					10月				
	1	15	31	1	15	30	1	15	31	1	15	31	1	15	31					
	【第1工区】					【第2工区】														
仮設工事	準備工・仮設 施工計画書等					仮設取外し仮設 清掃					仮設取外し 清掃									
解体工事	解体										解体									
建築工事						内装・仕上げ工事										内装・仕上げ工事				
電気設備工事						器具撤去・配線・器具付										器具撤去・配線 ・器具付				
機械設備工事	承認 器具撤去 機器発注					配管・器具付 ・調整										器具撤去 配管・器具付・調整				
検査等	随時					部分検査					随時					完成時				

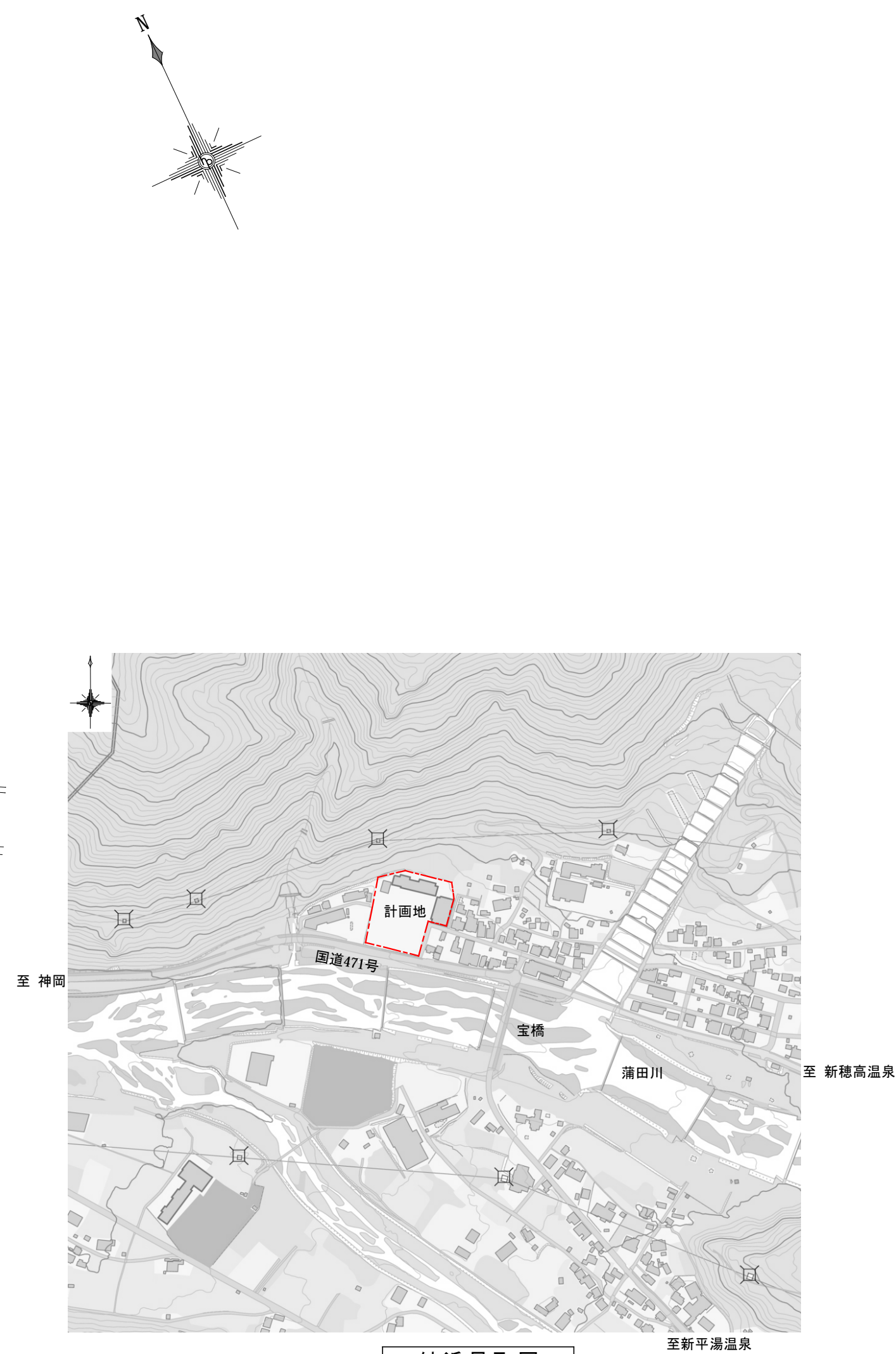
- 上記工程により、1階児童トイレ又は2階児童トイレのどちらかは、夏休み明けに開放すること。
なお、部分使用については発注者と受注者との協議による。
- 学校敷地内 別途施工工事：屋内運動場電灯LED化改修工事（アリーナ部分）
- 夏休み期間（予定）：令和8年7月18日から8月24日
- 学校閉庁期間（予定）：令和8年8月7日から8月17日
開校時間外・休祭日・学校閉庁期間中の作業について、校舎内ではセキュリティ施設中のため、開錠について学校と事前に協議のうえ、対応すること。

- フレックス工期について
- 本工事はフレックス工期による契約方式の試行工事であり、受注者は契約日から工事開始期限日までの期間で、任意の日を工事開始日とすることができる。
この場合、契約日から工事開始日の前日までの期間は、主任技術者又は監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐及び現場代理人を配置することを要しないものとする。
 - 受注者は、フレックス工期を活用する場合は次のとおり実施するものとする。
 - ① 落札決定の通知後、契約締結日までの間で速やかに工事開始日を通知するものとする。
 - ② 積算にあたっては、契約日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、受注者が施工時期を選択することにより生じる経費については、受注者の負担とする。
 - ③ 契約日から工事開始日までの前日までの現場管理は、発注者の責任において行うこととし、受注者は資材の搬入や仮設物の設置等の行為をしてはならない。
 - ④ 受注時の「工事実績コリンズ登録」は、工事開始後に監督員の承認を受け、工事開始日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録機関に登録申請しなければならない。
 - ⑤ 「現場代理人・技術者雇」は経歴書を添付して工事開始後、速やかに提出しなければならない。
 - ⑥ 契約締結後に工事開始日を変更する必要が生じた場合には、速やかに発注者及び受注者で協議のうえ、工事開始日通知書の変更を提出し、変更契約を締結すること。
 - ⑦ 低入札価格調査等により、入札執行通知又は入札公告に記載の工事開始期限後以降に契約締結となった場合には、契約締結日を工事の始期とし、工事の終期は工事開始期限日から工期日数を確保した日とする。

工 事 名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	特記仕様書-9		
縮 尺	一	番 号	50 枚の内 A-09 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

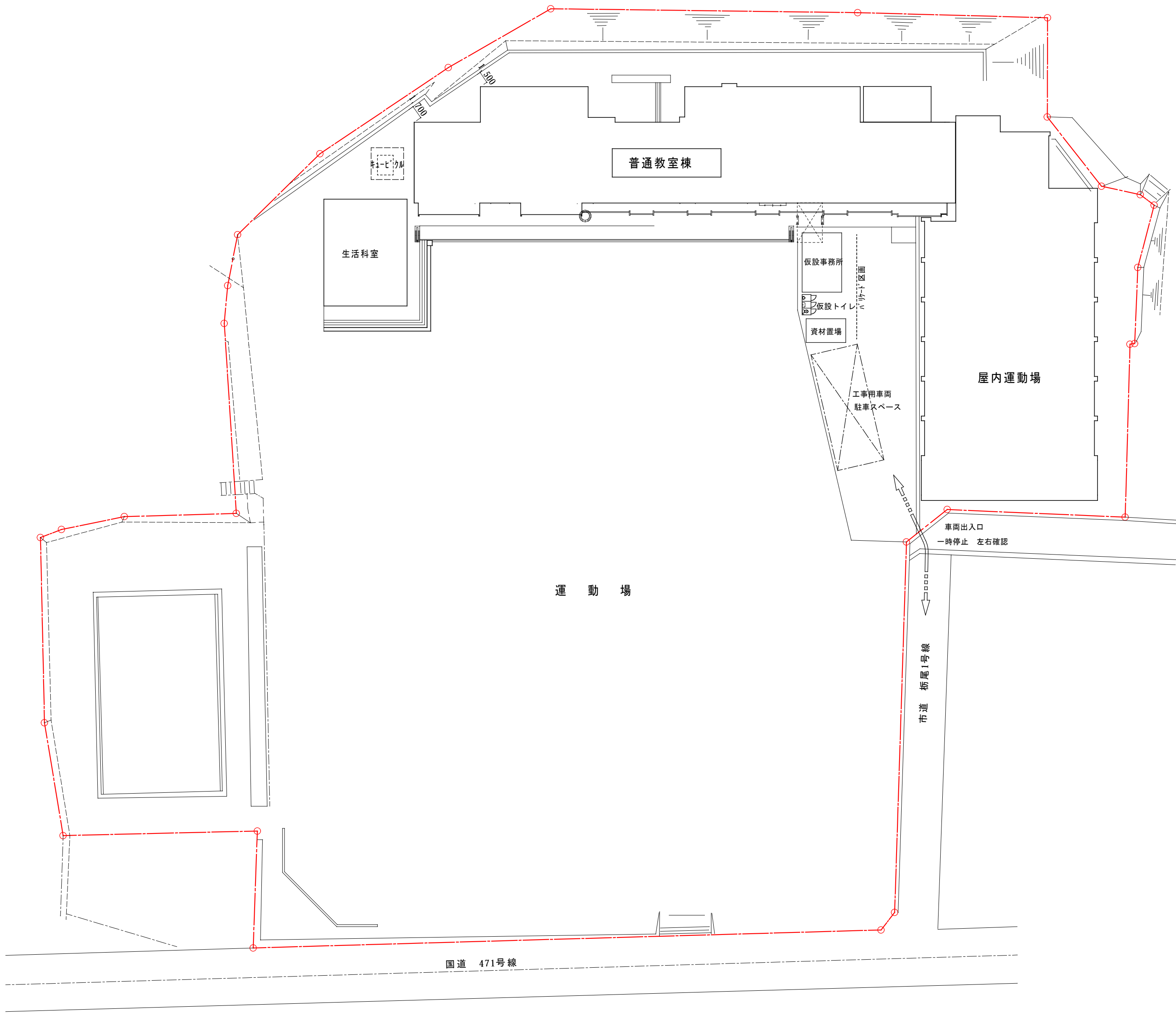


配置図 S=1/400



付近見取図

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	配置図・付近見取図		
縮 尺	1/400	番 号	50 枚の内 A-10 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

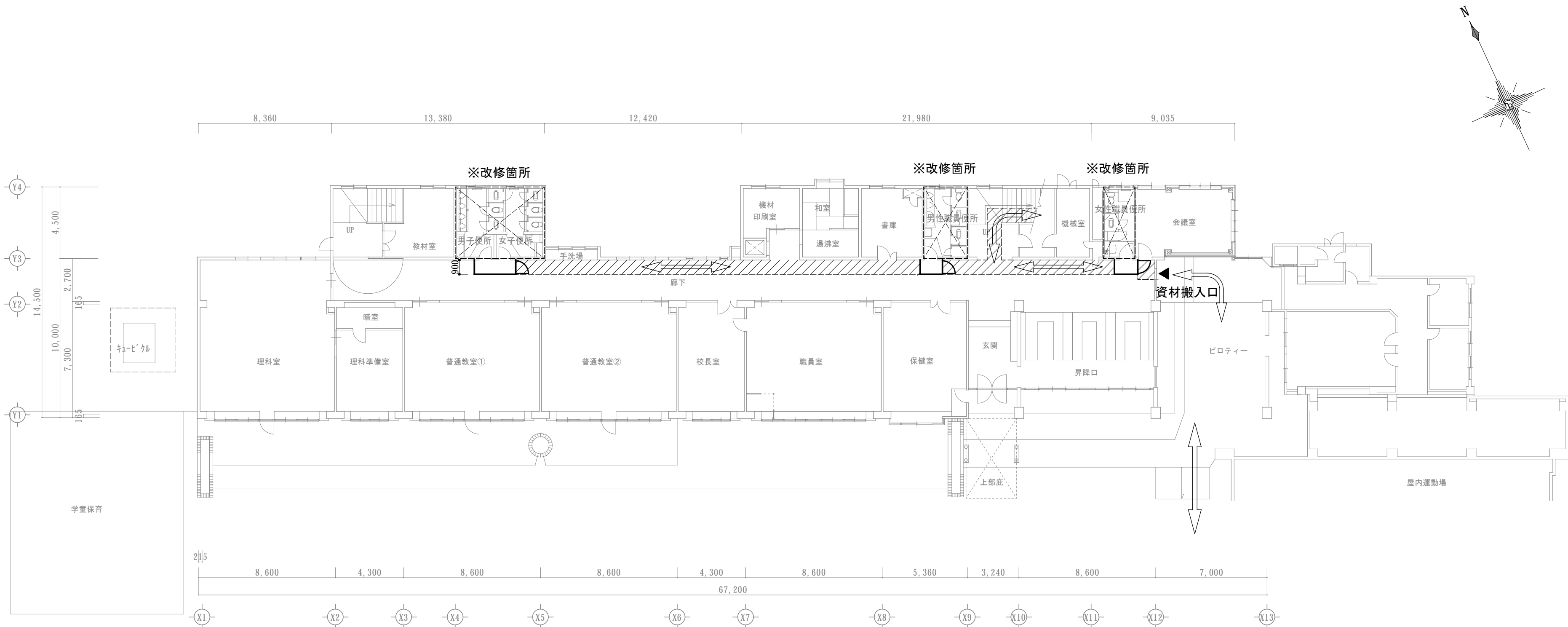


配置図 S=1/400

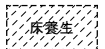



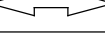
仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
	脚立足場	並列設置
	枠組足場	W900（手摺先行工法）、階段足場 養生シート張り
	朝 顔	土部落下物防止：踏板・合板
	ブラケット足場	W400～600程度 足場板共
	作業区画	A型バリケード・カラーコーン区画
	仮囲い	成形鋼板：スチール製H2000
	搬入ゲート	キャスターゲート：W6000xH1800
	現場事務所	組立式仮設ハウス
	仮設便所	トイレ（既設下水樹へ接続）
	搬出入経路	

- 仮設計画について
- 仮囲いは作業用地の周囲を隙間のないように設置すること。強風等による転倒を防止する対策を十分に講ずること。
 - 仮設現場事務所・仮設トイレ等の設置は、事前に監督職員の承認を受けること。
 - 資材搬出入のため工事車両が出入りする時は必要に応じて搬出入経路に交通誘導警備員を配備すること。
 - 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・ホコリ・運搬等により施設及び近隣に迷惑を掛けないように対策を十分に講ずること。
 - 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。
 - 機器搬入等の揚重機配置は参考とし、各工事作業毎に計画し監督員の承諾を受ける。

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	仮設計画配置図		
縮 尺	1/400	番 号	50 枚の内 A-11 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

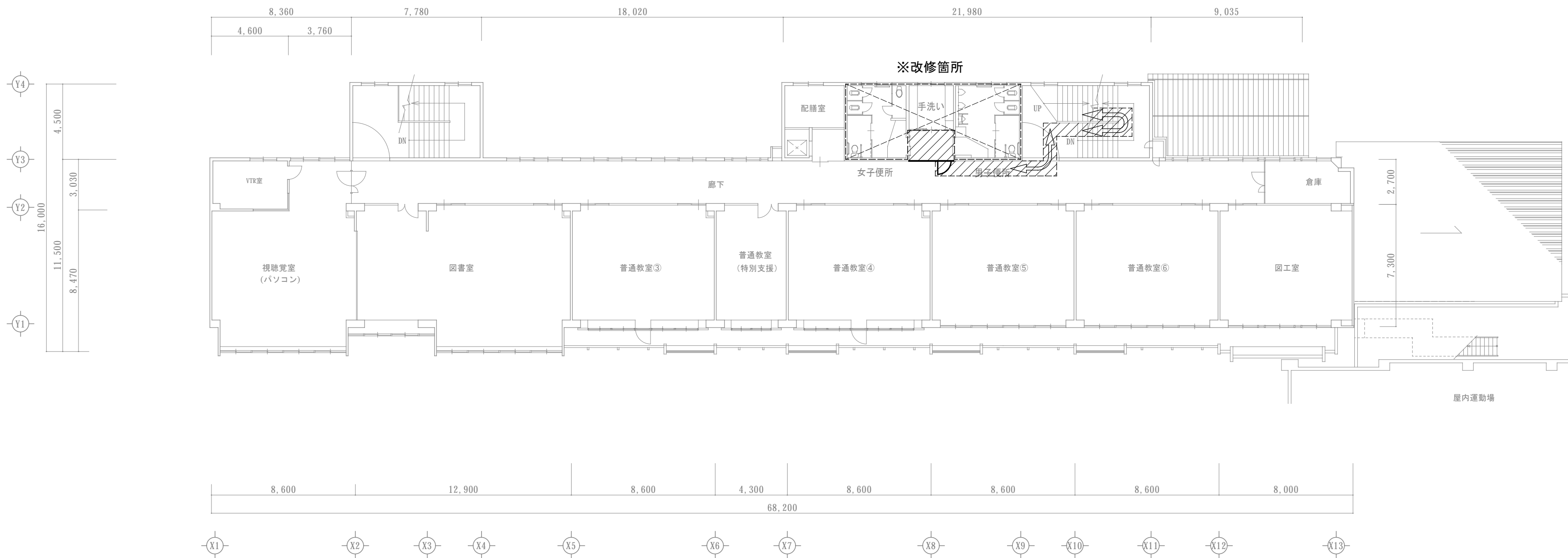
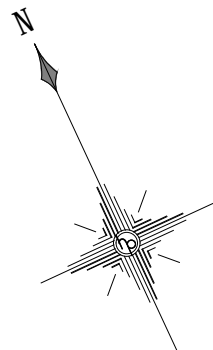


1 階平面図 1/200

仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
	床養生	養生シート敷、ベニヤ下地
	仮設間仕切壁	石膏ボード + 軽量鋼製壁下地 ※防塵養生
	出入口	片開き戸 または 引違い戸
	搬出入口	資材の搬出入及び作業員の出入口を示す。
	工事作業員動線	

- 仮設について
- 仮設間仕切壁は床面や天井面へ留付けてもよいが、既設仕上部分に損傷を与えた場合は原形復旧すること。
 - 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	仮設計画 1 階平面図		
縮 尺	1/200	番 号	50 枚の内 A-12 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

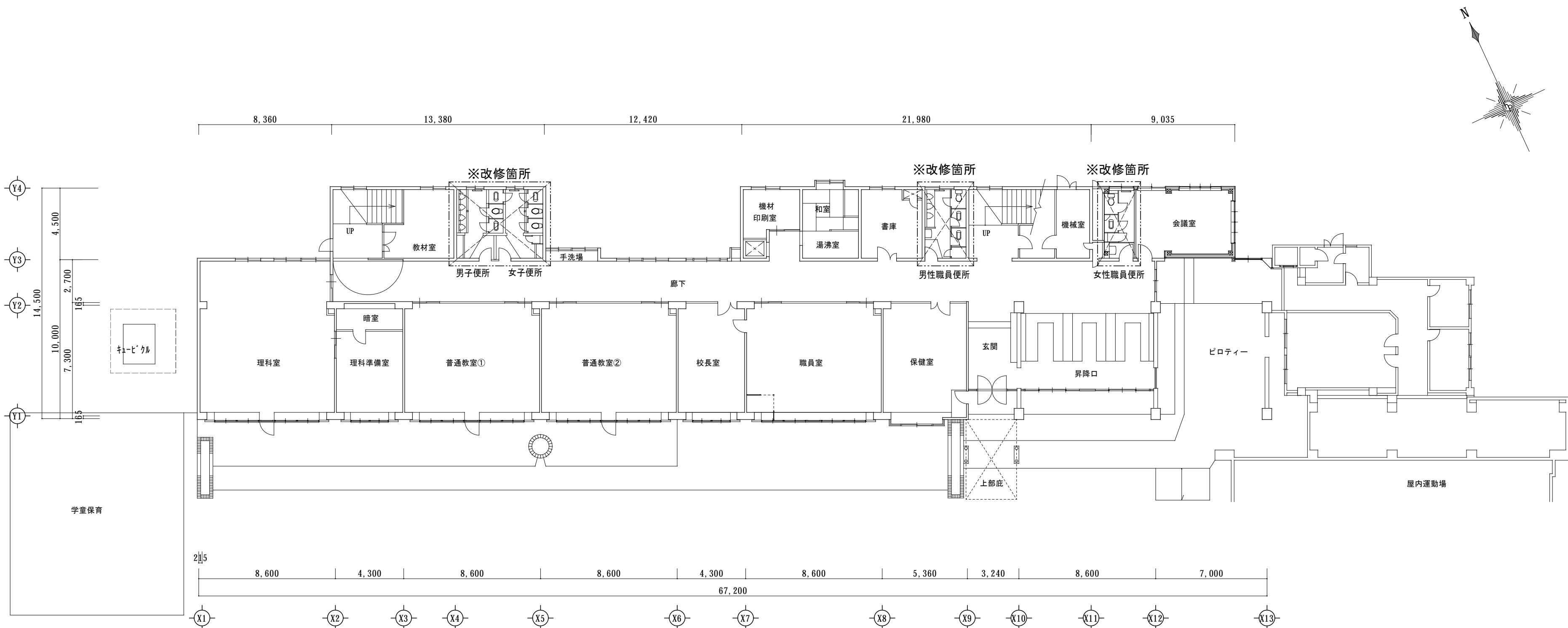


2 階 平 面 図 1/200

仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
	床養生	養生シート敷、ベニヤ下地
	仮設間仕切壁	石膏ボード + 軽量鋼製壁下地 ※防塵養生
	出入口	片開き戸 または 引違い戸
	搬出入口	資材の搬出入及び作業員の出入口を示す。
	工事作業員動線	

- 仮設について
- 仮設間仕切壁は床面や天井面へ留付けてもよいが、既設仕上部分に損傷を与えた場合は原形復旧すること。
 - 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

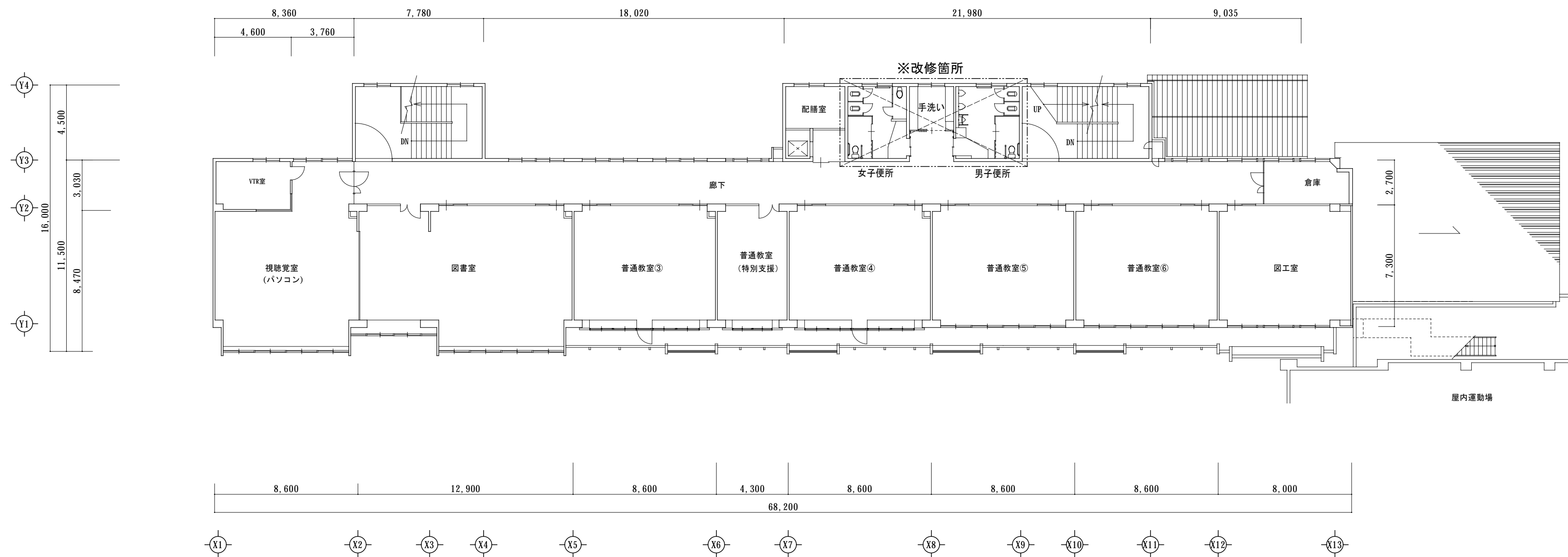
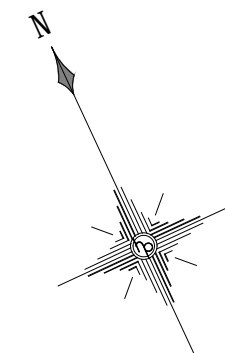
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	仮設計画 2 階平面図		
縮 尺	1/200	番 号	50 枚の内 A-13 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



1 階平面図 1/200

【現況図】

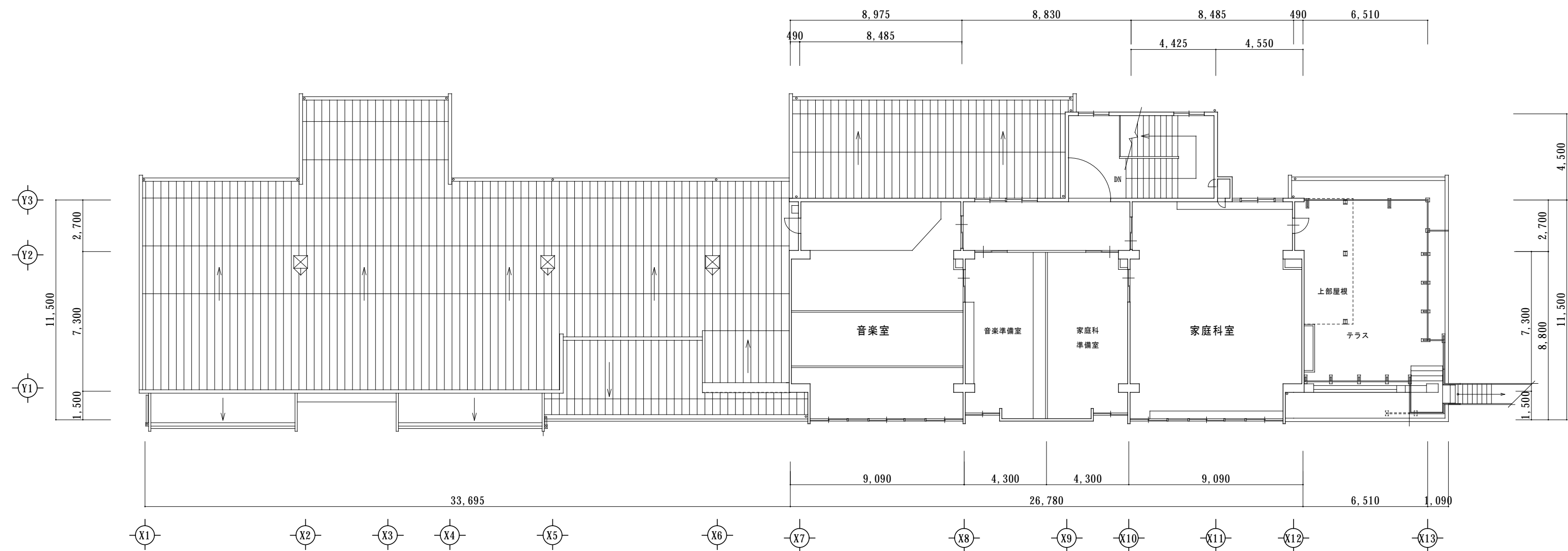
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況) 1 階平面図		
縮 尺	1/200	番 号	50 枚の内 A-15 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



2 階 平 面 図 1/200

【現況図】

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	(現況) 2階平面図			
縮 尺	1/200	番 号	50 枚の内 A-16 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			
高 山 市				

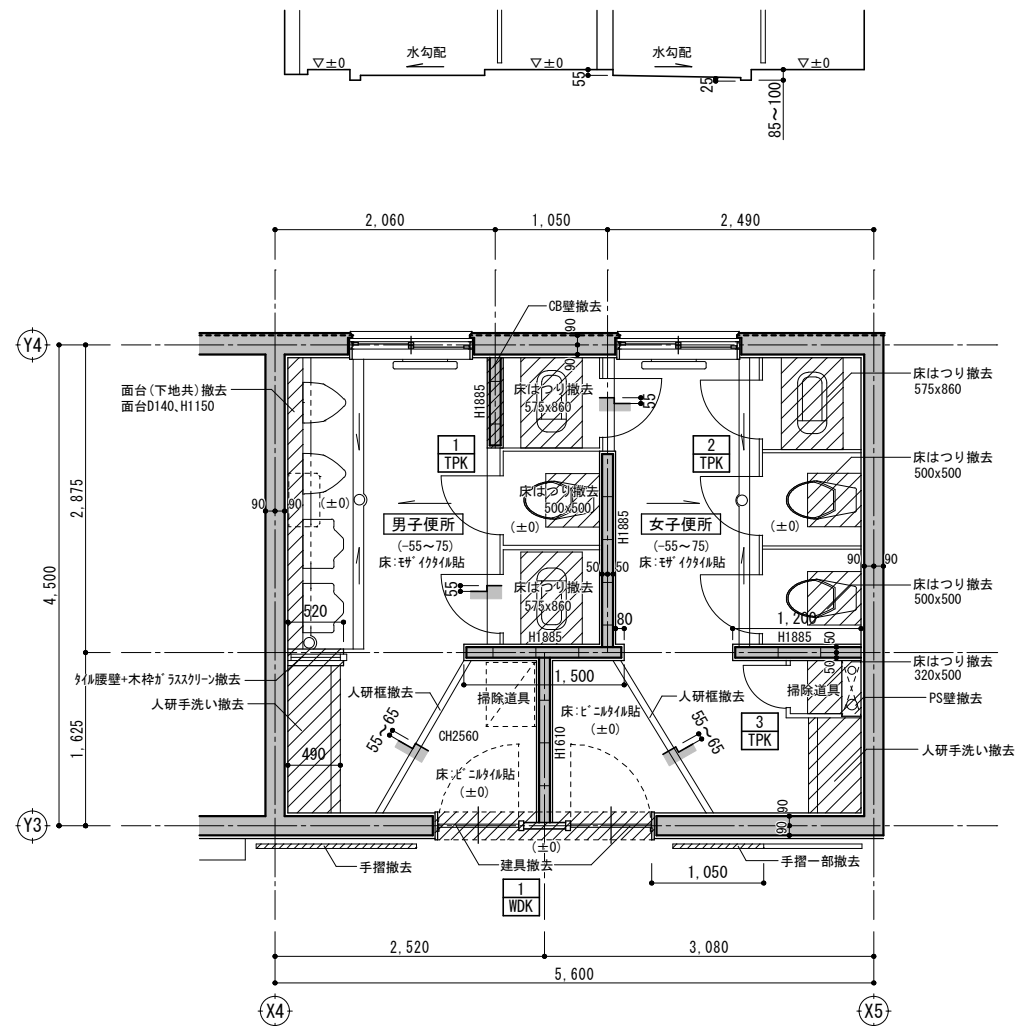


3階平面図 1/200

※改修対象外

【現況図】

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	(現況) 3階平面図			
縮 尺	1/200	番 号	50 枚の内 A-17 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			
高 山 市				

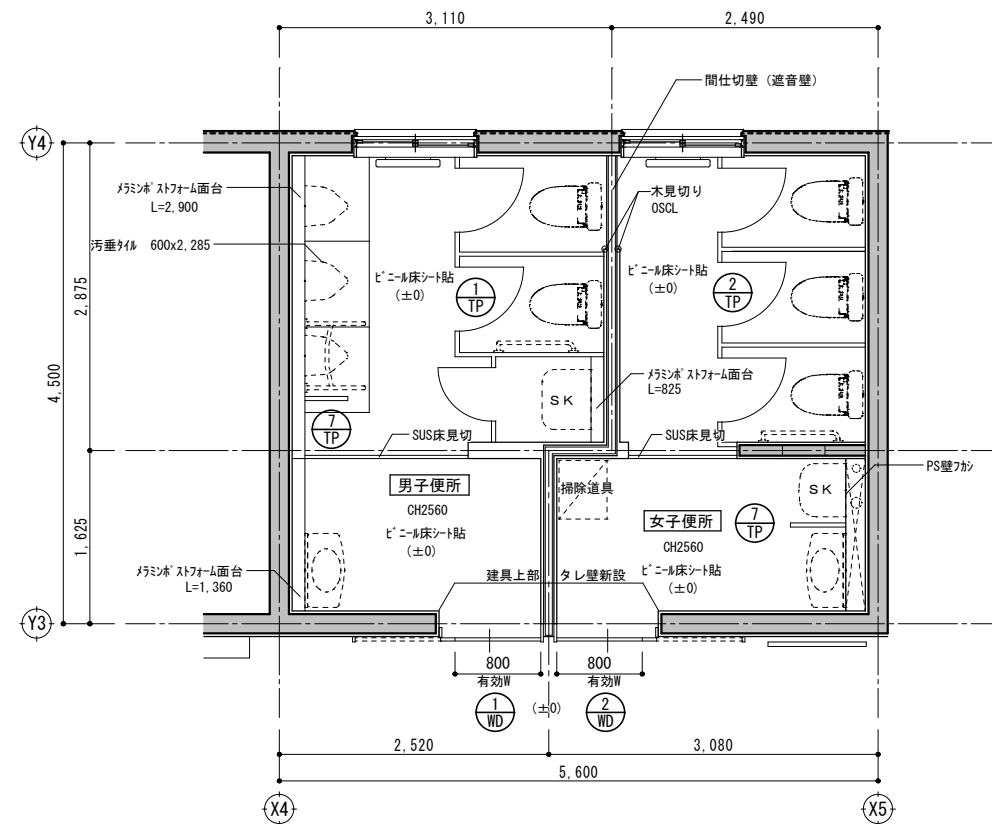
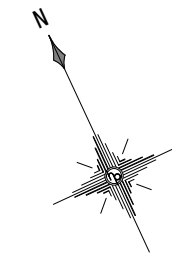


1 階平面詳細図 1/50

() 内は通路 F L を±0とした床仕上面までの高さを示す。

- 床仕上撤去 (床用タイル・音摺)
- 土間コンクリート、壁等撤去

【現況図】

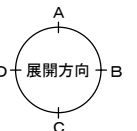


1 階平面詳細図 1/50

() 内は通路 F L を±0とした床仕上面までの高さを示す。

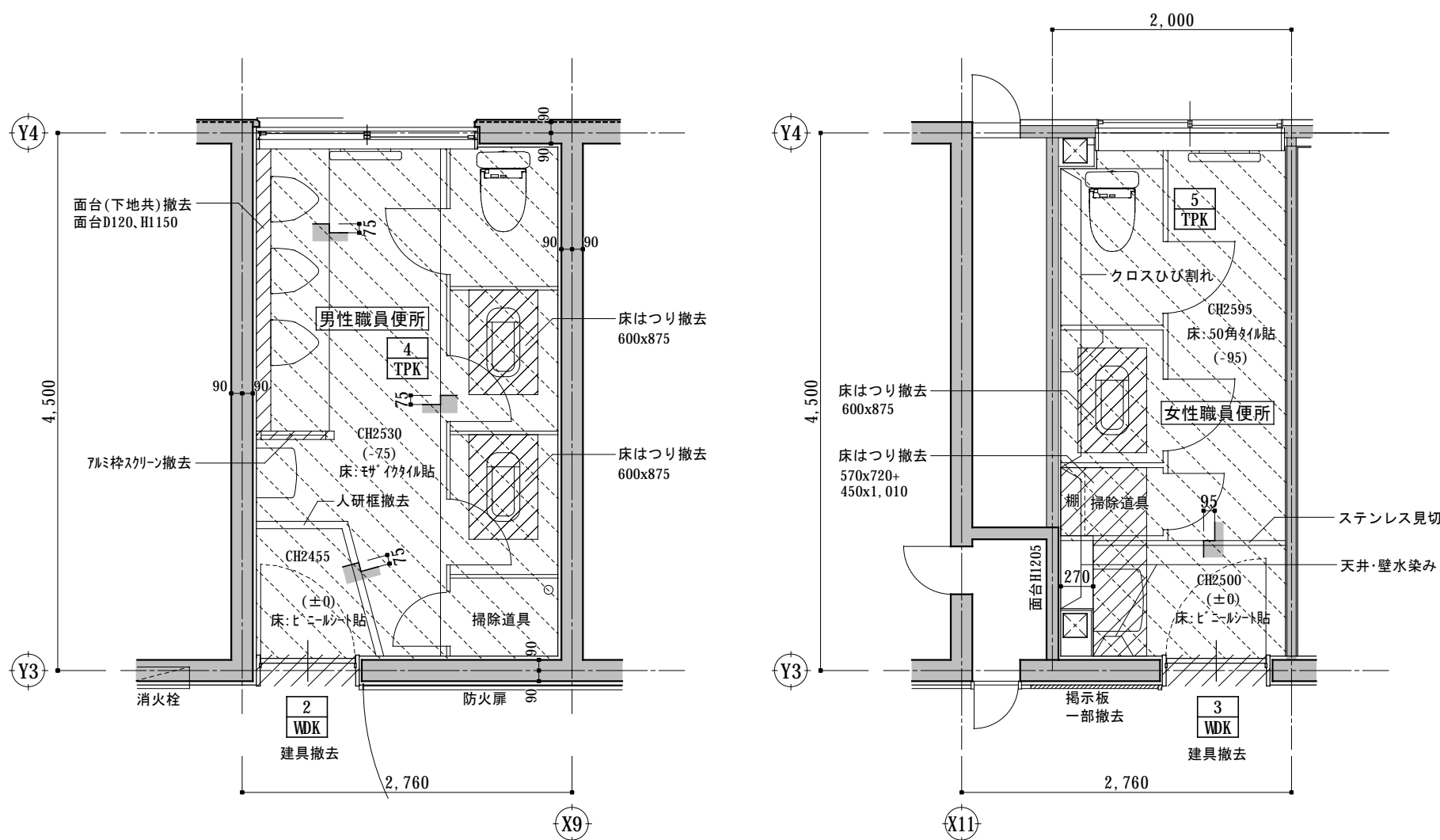
- 間仕切壁新設

【改修図】



1F-1

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 1 階平面詳細図- 1 (児童便所)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-18 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

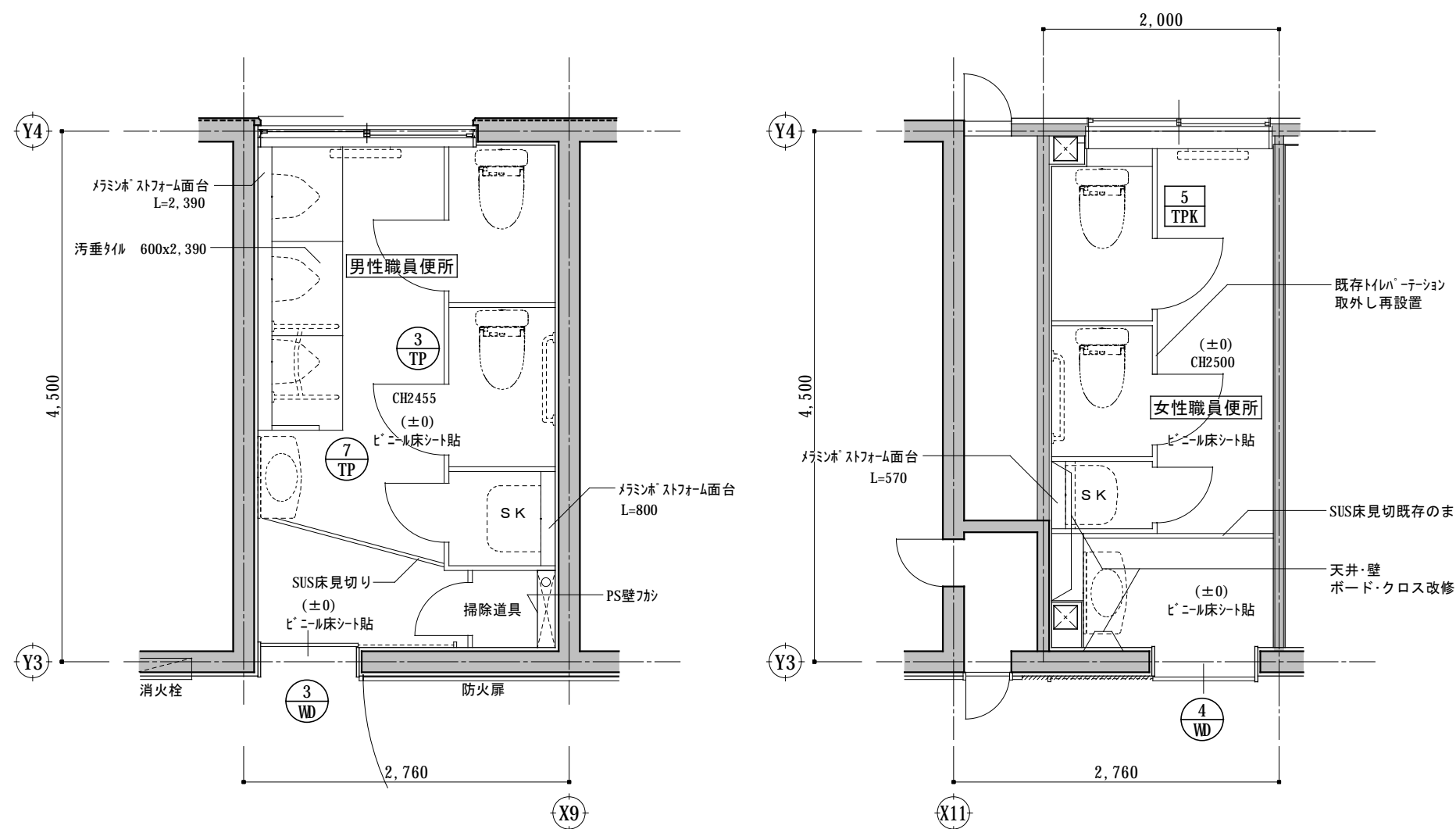


1 階平面詳細図 1/50

() 内は通路F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。

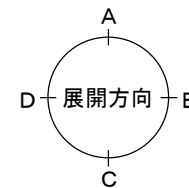
- 床仕上撤去 (床用タイル・沓摺)
- 土間コンクリート、壁等撤去

【現況図】



1 階平面詳細図 1/50

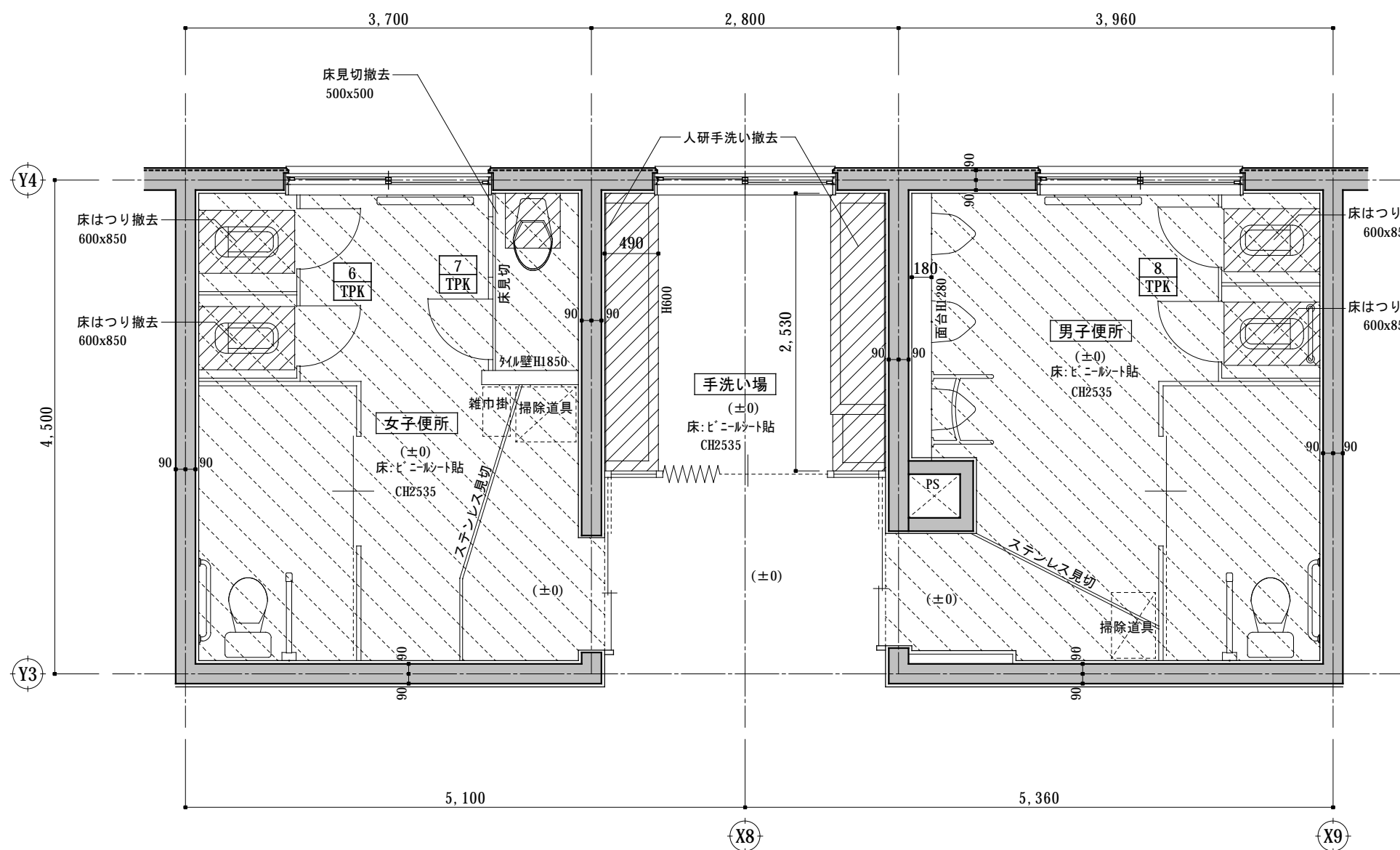
() 内は通路F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。



【改修図】

1F-2

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	(現況・改修) 1 階平面詳細図-2 (職員便所)			
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-19 号	
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀 樹			
高 山 市				

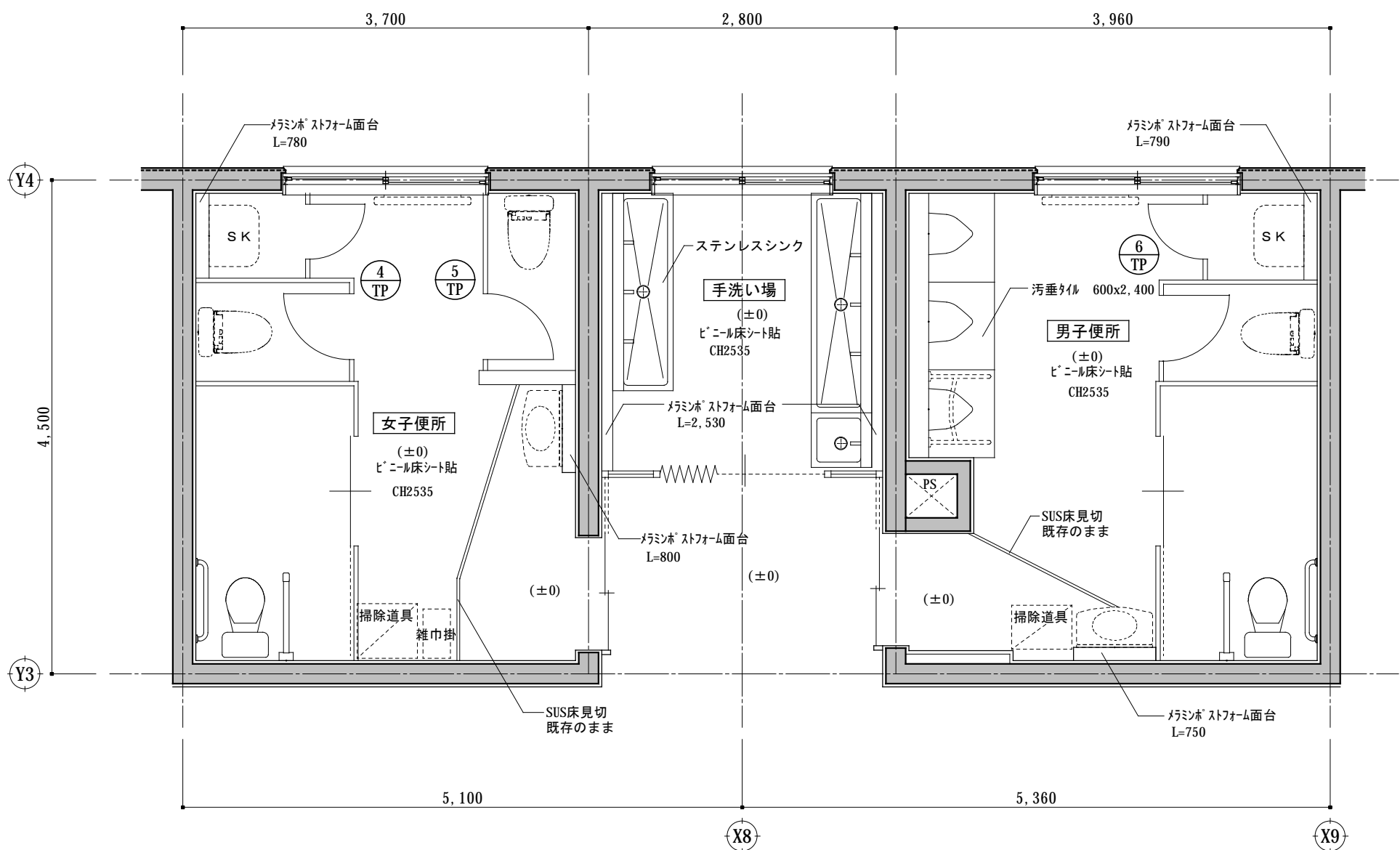


2階平面詳細図 1/50

() 内は通路F Lを±0とした床仕上面までの高さを示す。

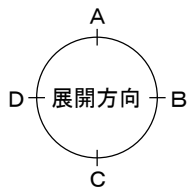
- 床仕上撤去 (床用タイル・沓摺)
- 土間コンクリート、壁等撤去

【現況図】



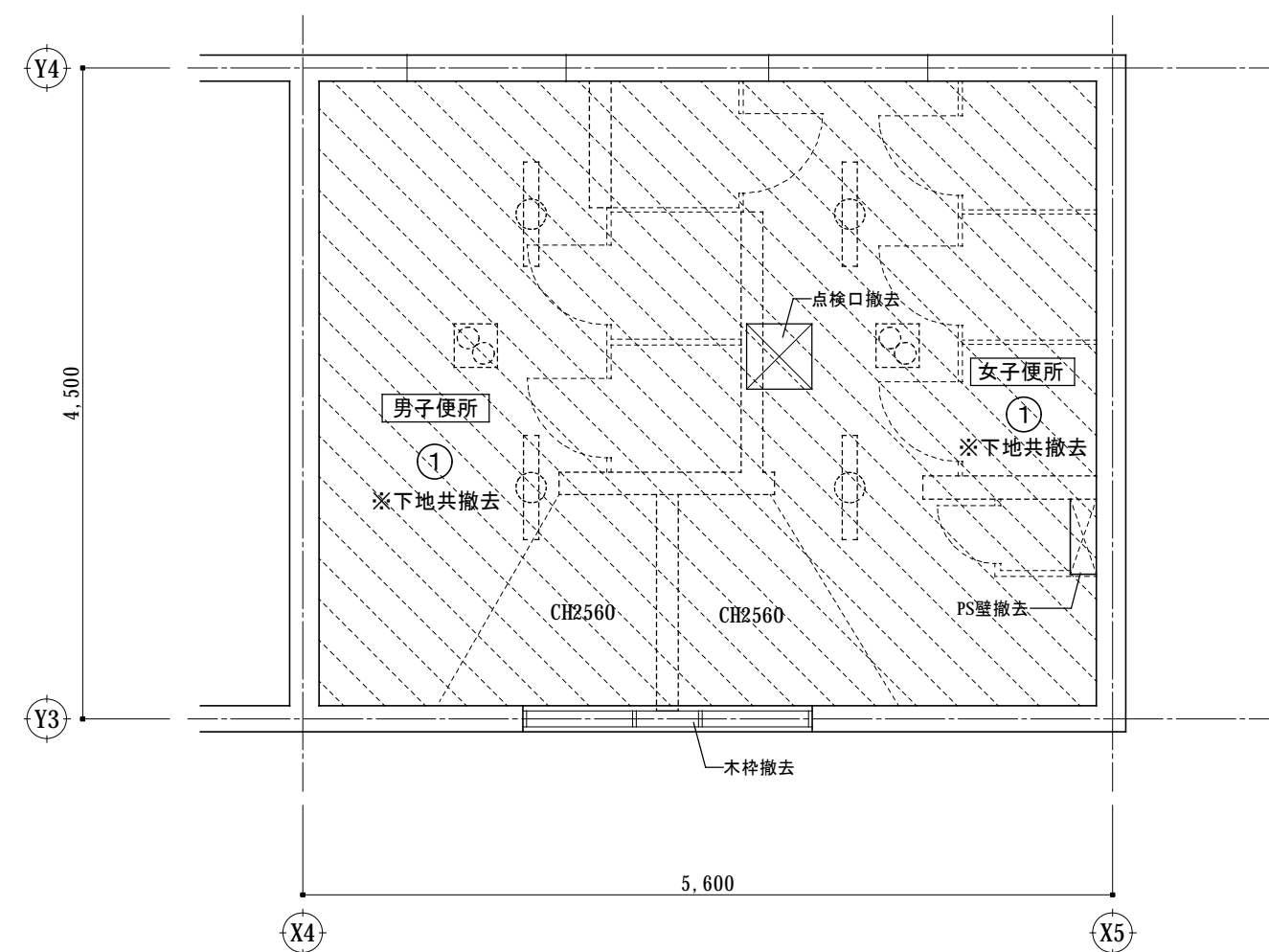
2階平面詳細図 1/50

() 内は通路F Lを±0とした床仕上面までの高さを示す。



2F

工 事 名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 2階平面詳細図(児童便所、手洗い)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-20 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



1 階天井伏図 1/50

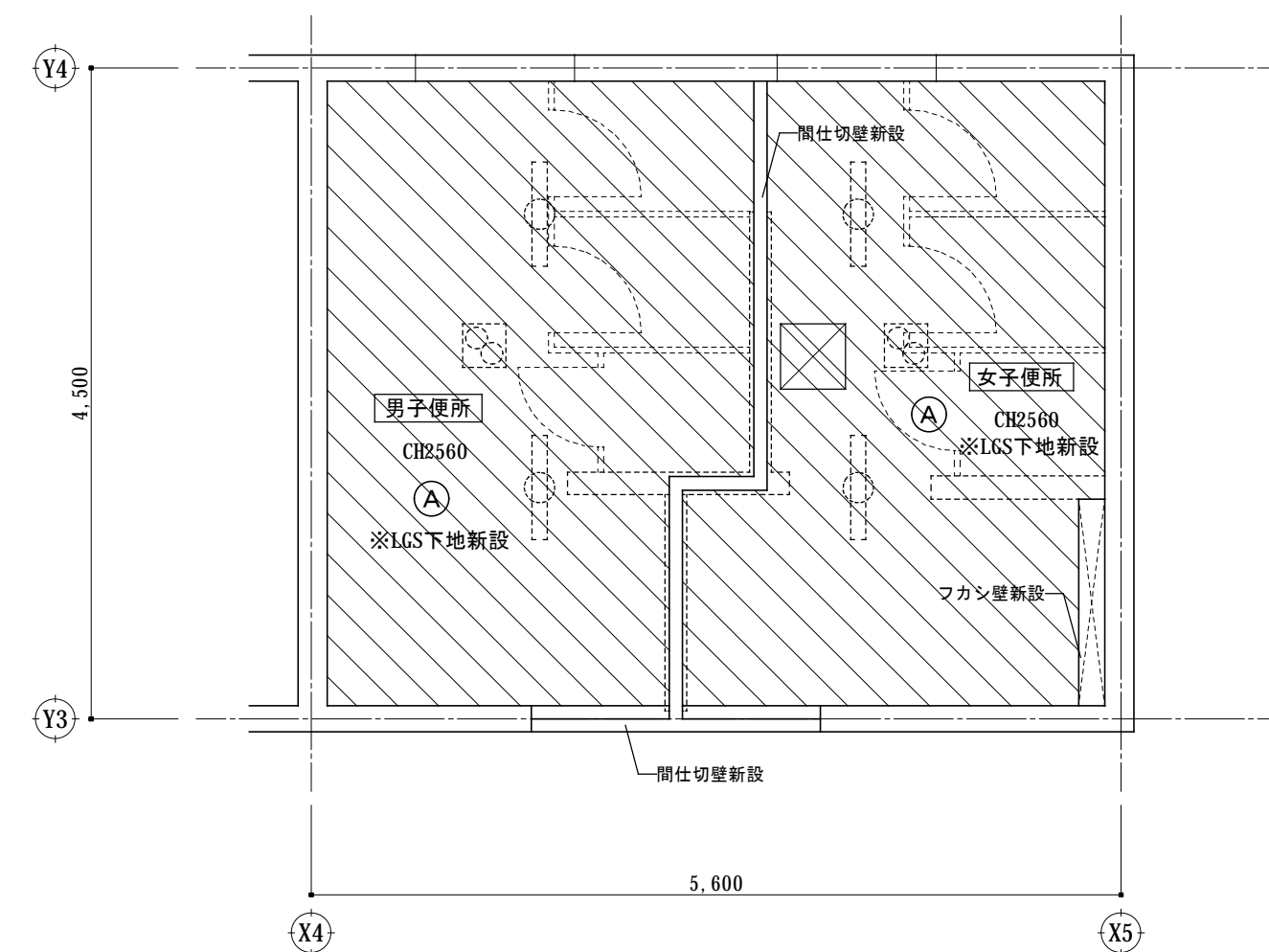
天井撤去範囲（下地共撤去）

■天井仕上げ凡例

記号	仕 上	下 地
1	GB-Rt9.0 VP	木
2	GB-Rt9.5 ビニールクロス貼	木
3	GB-Dt9.5	木
4	GB-Dt9.5(和室用)	木

天井点検口 450角

【現況図】



1 階天井伏図 1/50

天井復旧範囲

■天井仕上げ凡例

記号	仕 上	下 地
A	GB-Rt9.5 EP	LGS
B	GB-Dt9.5(和室用)	既存のまま

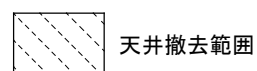
天井点検口 450角

【改修図】

1F-1

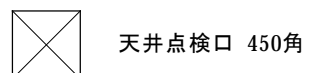
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	(現況・改修) 1階天井伏図-1 (児童便所)			
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-21 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			
高 山 市				

1 階天井伏図 1/50



■天井仕上げ凡例

記号	仕 上	下 地
1	GB-Rt9.0 VP	木
2	GB-Rt9.5 ビニールクロス貼	木
3	GB-Dt9.5	木
4	GB-Dt9.5 (和室用)	木



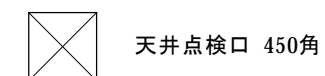
【現況図】

1 階天井伏図 1/50



■天井仕上げ凡例

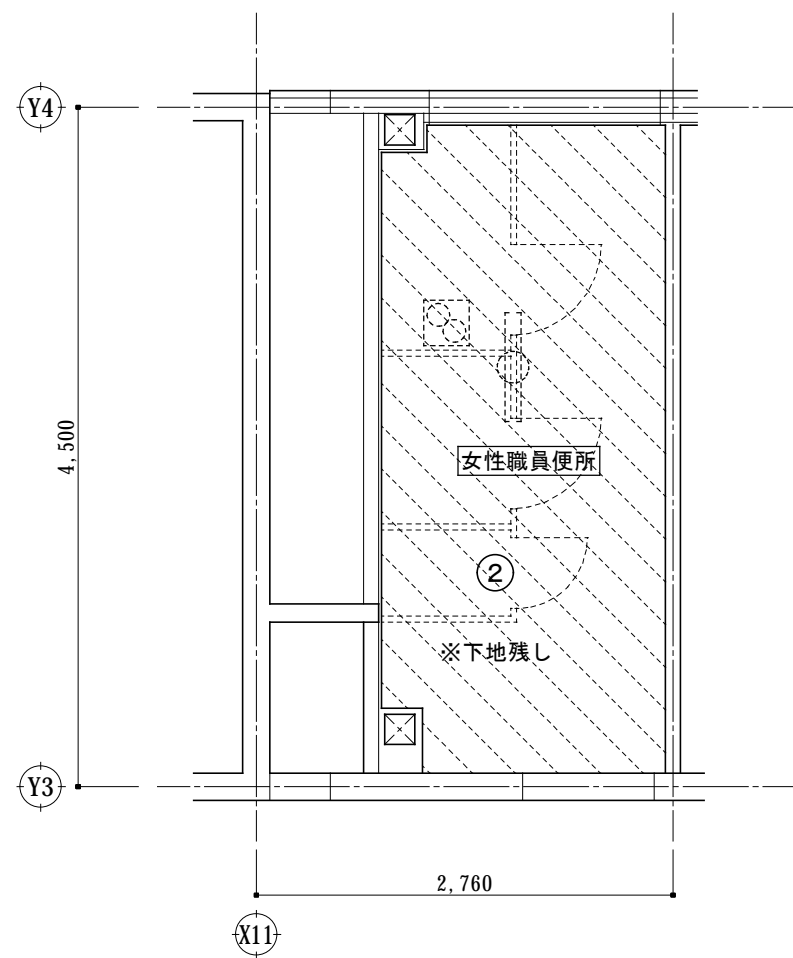
記号	仕 上	下 地
A	GB-Rt9.5 EP	LGS
B	GB-Dt9.5 (和室用)	既存のまま



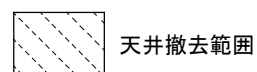
【改修図】

1F-2

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	(現況・改修) 1階天井伏図-2 (男性職員便所)			
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-22 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			
高 山 市				

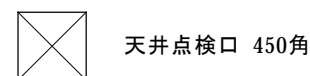


1階天井伏図 1/50

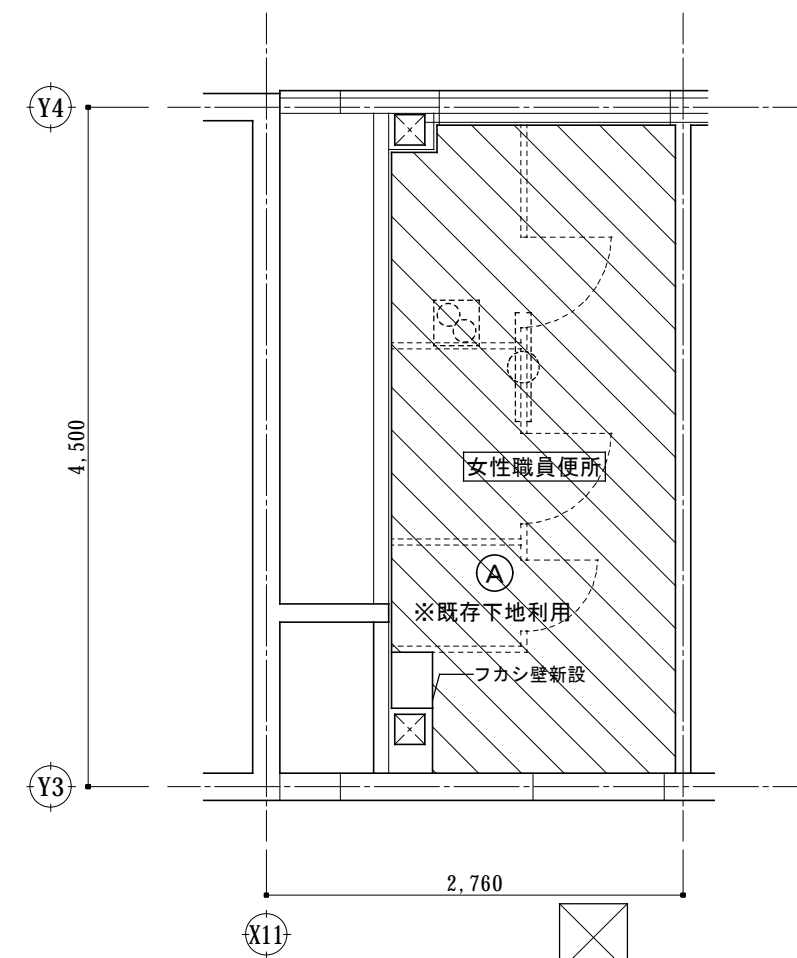


■天井仕上げ凡例

記号	仕 上	下 地
1	GB-Rt9.0 VP	木
2	GB-Rt9.5 ビニールクロス貼	木
3	GB-Dt9.5	木
4	GB-Dt9.5(和室用)	木



【現況図】

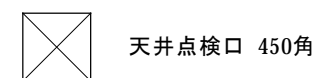


1階天井伏図 1/50

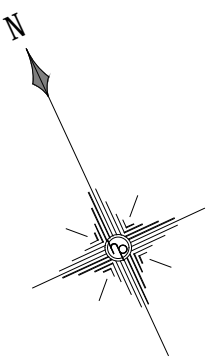


■天井仕上げ凡例

記号	仕 上	下 地
A	GB-Rt9.5 EP	既存のまま
B	GB-Dt9.5(和室用)	既存のまま

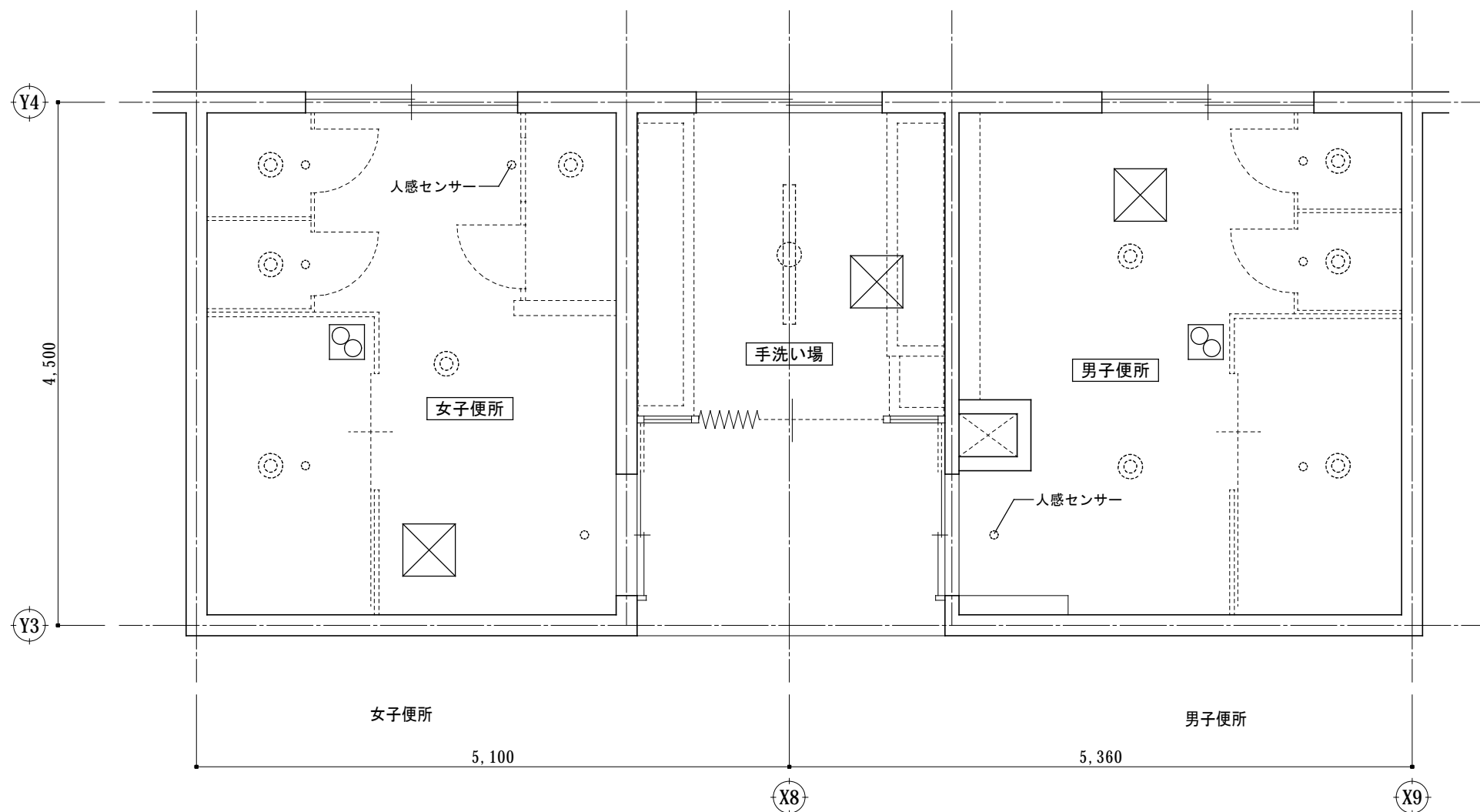


【改修図】

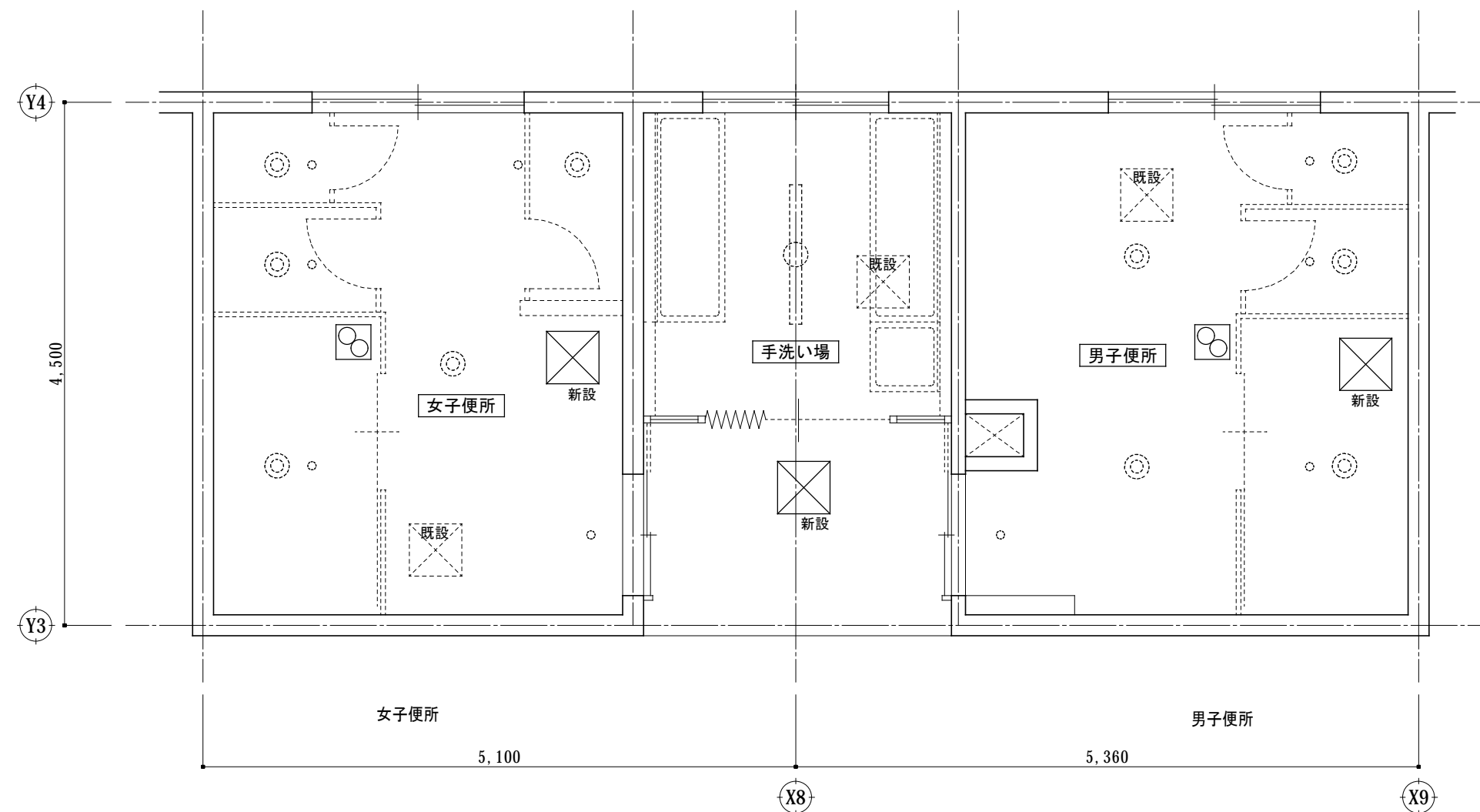


1F-3

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 1階天井伏図-3 (女性職員便所)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-23 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



2階天井伏図 1/50



2階天井伏図 1/50

※天井改修なし

天井点検口 450角

【現況図】

【改修図】

2F

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	(現況・改修) 2階天井伏図(児童便所、手洗い)			
縮 尺	1/50	番 号	50	枚の内 A-24 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			
高 山 市				

符号・名称	WDK-1木製ランマ付片開き戸	WDK-2木製片引き戸	WDK-3木製片引き戸				
防火仕様	— 番号：	— 番号：	— 番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	1F 男子便所、女子便所1ヶ所	1F 男性職員便所1ヶ所	1F 女性職員便所1ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿図				▽FL	▽FL	▽FL	▽FL
仕上・見込	ポリエステル化粧合板 / 扉40	ポリエステル化粧合板 / 扉40	ポリエステル化粧合板 / 扉40				
ガラス	FL3	F4	F4				
金物	握り玉、ドアフィッパ、丁番 付属金物一式	握り玉、ドアフィッパ、ガウリ 付属金物一式	握り玉、ドアフィッパ、ガウリ 付属金物一式				
備考							

符号・名称	TPK-1木製トイレパーティション	TPK-2木製トイレパーティション	TPK-3木製トイレパーティション	TPK-4木製トイレパーティション	TPK-5トイレパーティション	TPK-6木製トイレパーティション	TPK-7木製トイレパーティション
防火仕様	- 番号：	- 番号：	- 番号：	- 番号：	- 番号：	- 番号：	- 番号：
室名・数量	1F 男子便所、女子便所1ヶ所	1F 女子便所1ヶ所	1F 女子便所 掃除道具入れ1ヶ所	1F 男性職員便所1ヶ所	1F 女性職員便所1ヶ所	2F 男子便所1ヶ所	2F 女子便所1ヶ所
姿図							
仕上・見込	合板 OP / 30	合板 OP / 30	合板 OP / 30	合板 OP / 30	ポリエステル化粧合板 / 40	合板 OP / 30	合板 OP / 30
ガラス	-	-	-	-	-	-	-
金物	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式	丁番、ラッチ 頭つなぎ、付属金物一式	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式
備考							

符号・名称	TPK-8木製トイレパーティション						
防火仕様	- 番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	2F 男子便所1ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿図		▽FL	▽FL	▽FL	▽FL	▽FL	▽FL
仕上・見込	合板 OP / 30						
ガラス	-						
金物	丁番、表示付きラッチ 頭つなぎ、付属金物一式						
備考							

符号・名称					
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿図	▽FL	▽FL	▽FL	▽FL	▽FL
仕上・見込					
ガラス					
金物					
備考					

【凡例】
FL：フロートガラス F：型板ガラス
TL：強化ガラス PW：網入り磨き板ガラス
TF：型板強化ガラス FW：網入り型板ガラス
FT：耐熱強化ガラス LE：LowEガラス

※ガラスの種類に関しては、発注前に最終確認を行なうこと。

【現況図】

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況) 建具表		
縮 尺	1/100	番 号	50 枚の内 A-25 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

符号・名称	WD-1木製片引き戸	WD-2木製片引き戸	WD-3木製片引き戸	WD-4木製片引き戸			
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	1F 男子便所1ヶ所	1F 女子便所1ヶ所	1F 男子職員便所1ヶ所	1F 女子職員便所1ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿図							
仕上・見込	ポリエステル化粧合板 / 扉40	ポリエステル化粧合板 / 扉40	ポリエステル化粧合板 / 扉40	ポリエステル化粧合板 / 扉40			
ガラス	F4	F4	F4	F4			
金物	引手、ストップ、振れ止め、ｶﾞﾗｼﾊﾝｶﾞｰ金物一式	引手、ストップ、振れ止め、ｶﾞﾗｼﾊﾝｶﾞｰ金物一式	引手、ストップ、振れ止め、ｶﾞﾗｼﾊﾝｶﾞｰ金物一式	引手、ストップ、振れ止め、ｶﾞﾗｼﾊﾝｶﾞｰ金物一式			
備考	外付け	外付け	外付け	外付け			

符号・名称	TP-1 木製トイレパーティション	TP-2 木製トイレパーティション	TP-3 木製トイレパーティション	TP-4 木製トイレパーティション	TP-5 木製トイレパーティション	TP-6 木製トイレパーティション	TP-7 トイレパーティション
防火仕様	- 番号：-	- 番号：-	- 番号：-	- 番号：-	- 番号：-	- 番号：-	- 番号：-
室名・数量	1F 男子便所 1 ヶ所	1F 女子便所 1 ヶ所	1F 男子職員便所 1 ヶ所	2F 男子便所 1 ヶ所	2F 男子便所 1 ヶ所	2F 女子便所 1 ヶ所	1F 男子便所、女子便所、男性職員便所 3 ヶ所
姿図							
仕上・見込	ポリエステル化粧合板 / 40	ポリエステル化粧合板 / 40	ポリエステル化粧合板 / 40	ポリエステル化粧合板 / 40	ポリエステル化粧合板 / 40	ポリエステル化粧合板 / 40	ポリエステル化粧合板 / 40
ガラス	-	-	-	-	-	-	-
金物	アルミエッジ、グレビティヒンジ、表示付きラッチ 戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ、SUS巾木、付属金物一式	アルミエッジ、グレビティヒンジ、表示付きラッチ 戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ、SUS巾木、付属金物一式	アルミエッジ、グレビティヒンジ、表示付きラッチ 戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ、SUS巾木、付属金物一式	アルミエッジ、グレビティヒンジ、表示付きラッチ 戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ、SUS巾木、付属金物一式	アルミエッジ、グレビティヒンジ、表示付きラッチ 戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ、SUS巾木、付属金物一式	アルミエッジ、グレビティヒンジ、表示付きラッチ 戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ、SUS巾木、付属金物一式	- 付属金物一式
備考	常時開放 (SK常時閉鎖)	常時開放	常時閉鎖	常時開放 (SK常時閉鎖)	常時開放	常時開放 (SK常時閉鎖)	

符号・名称	TPK-5トイレパーティション						
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	1F 女性職員便所1ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿図							
仕上・見込	ポリエステル化粧合板 / 40						
ガラス	-						
金物	丁番、表示付きラッチ頭つなぎ、付属金物一式						
備考							

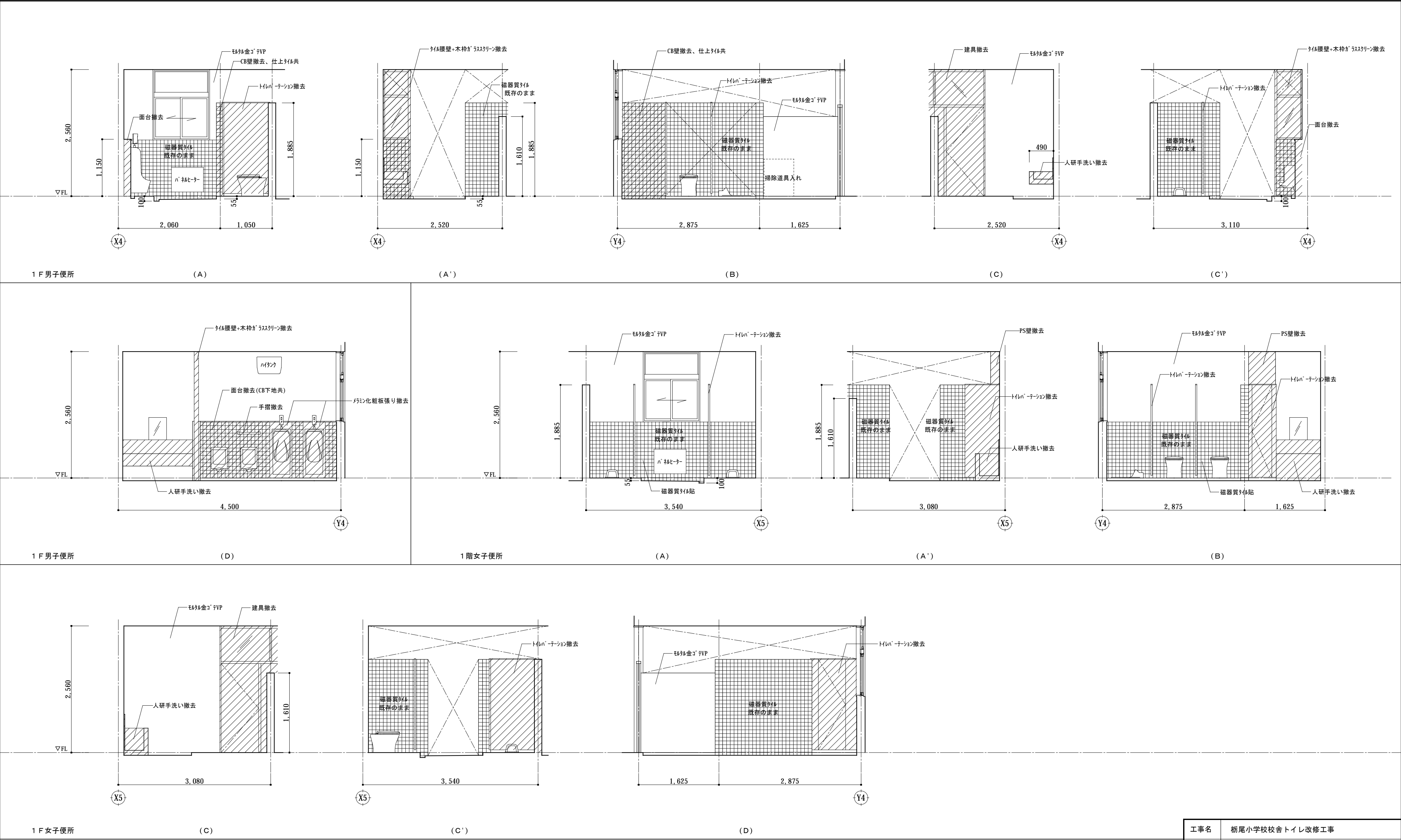
符号・名称					
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：
室名・数量	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所
姿図					
仕上・見込					
ガラス					
金物					
備考					


【凡例】
FL：ﾌﾗﾏﾞﾞﾙ F：型板ｶﾞﾗｽ
TL：強化ｶﾞﾗｽ PW：網入り磨き板ｶﾞﾗｽ
TF：型板強化ｶﾞﾗｽ FW：網入り型板ｶﾞﾗｽ
FT：耐熱強化ｶﾞﾗｽ LE：LowEｶﾞﾗｽ

※ガラスの種類に関しては、発注前に最終確認を行なうこと。

【改修図】

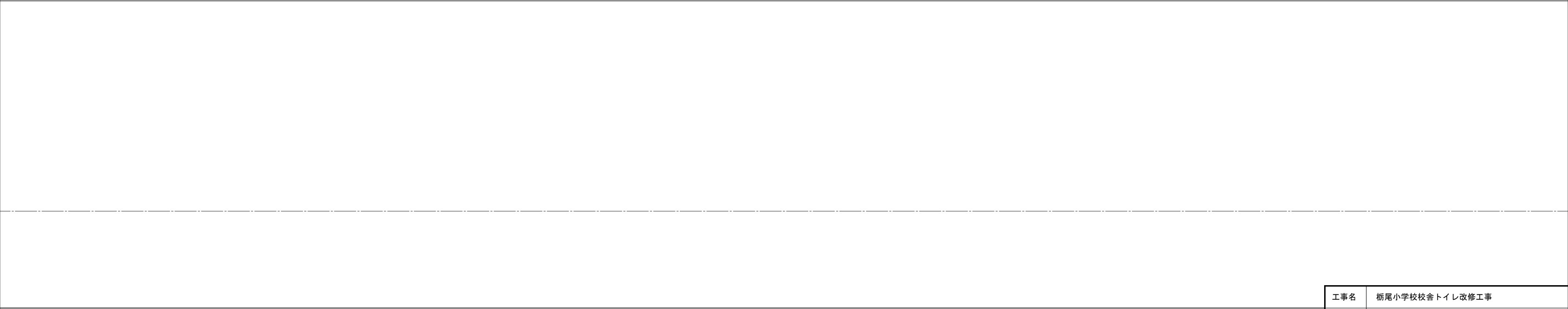
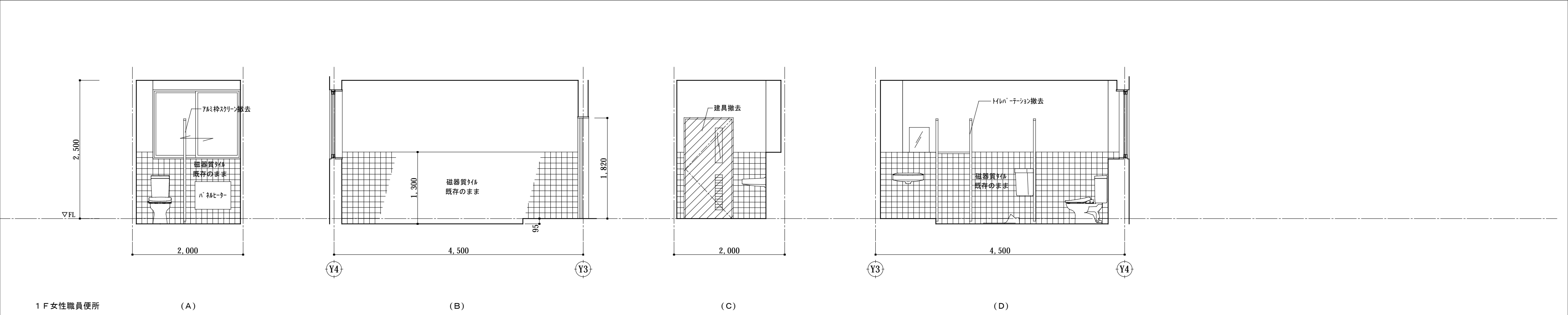
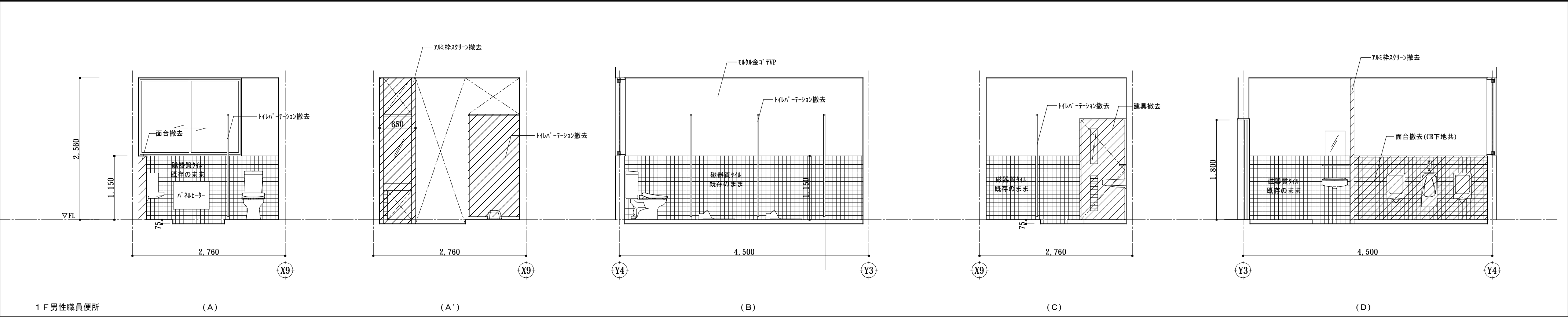
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図名	(改修) 建具表		
縮尺	1/100	番号	50 枚の内 A-26 号
設計年月日	令和 8年 3月		
設計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
	高山市		




 解体範囲を示す

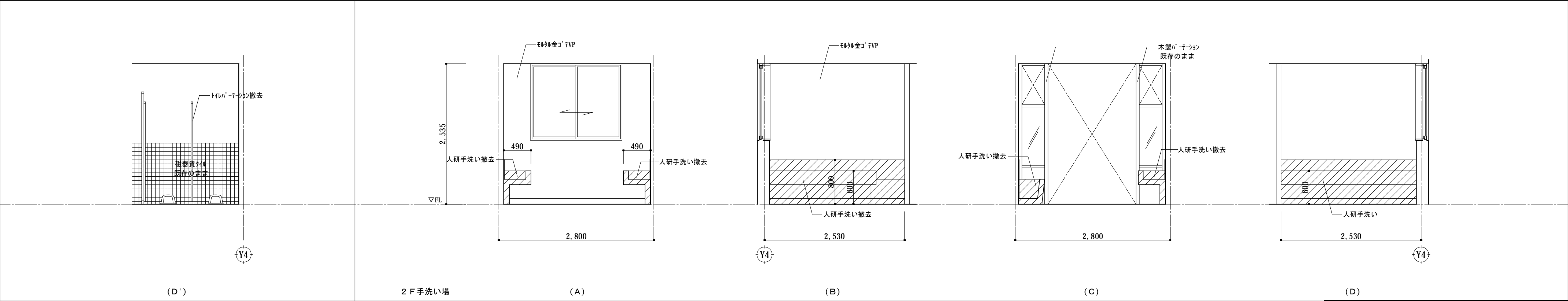
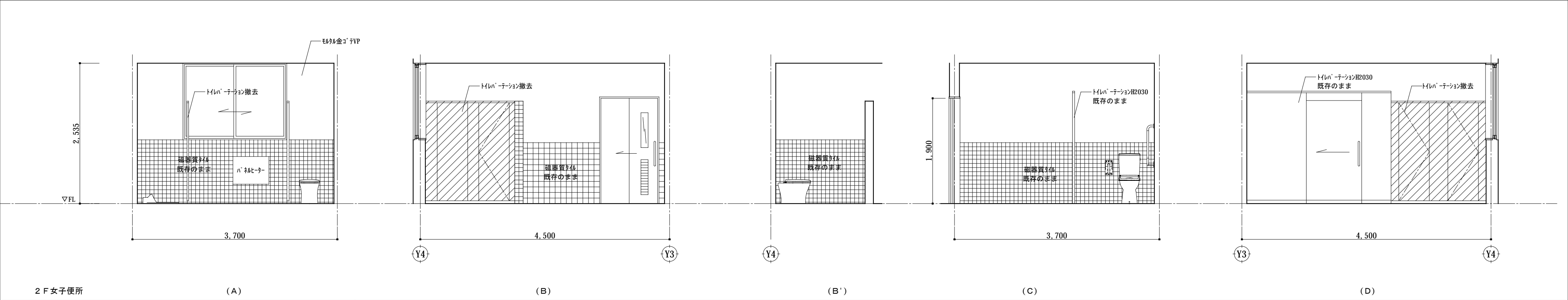
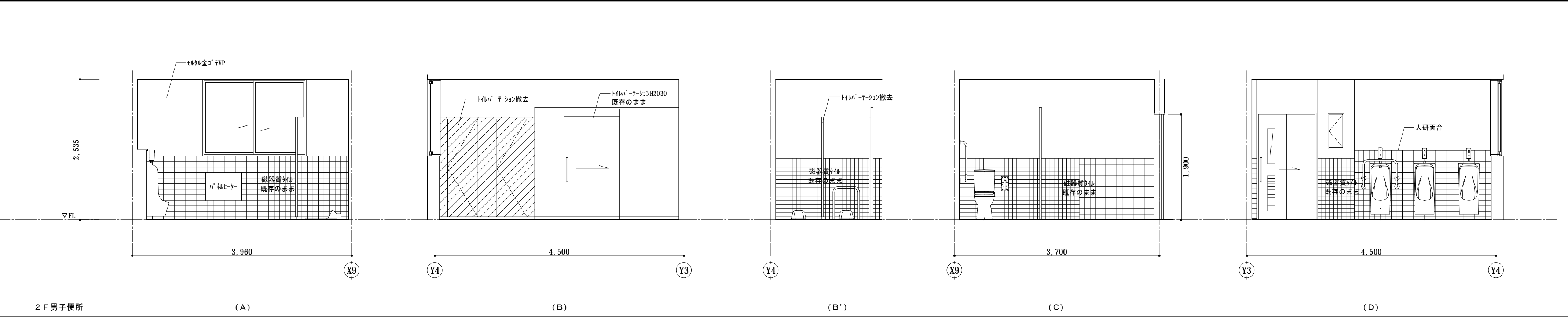
【現況図】

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況) 展開図ー１(１階児童便所)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-27 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



<div><div></div><div>解体範囲を示す</div></div>	図 名	(現況) 展開図ー2 (職員便所)		
	縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-28 号
	設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
	設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
	高 山 市			

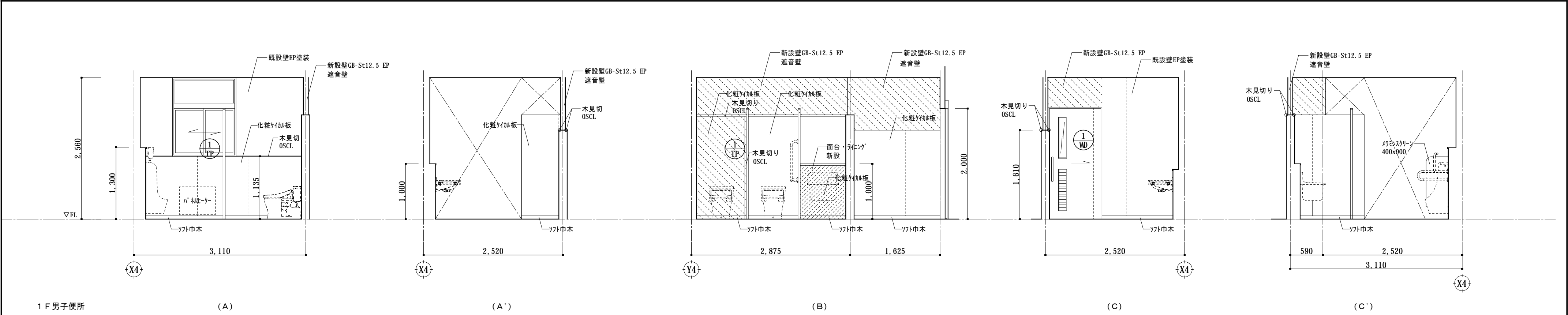
 解体範囲を示す



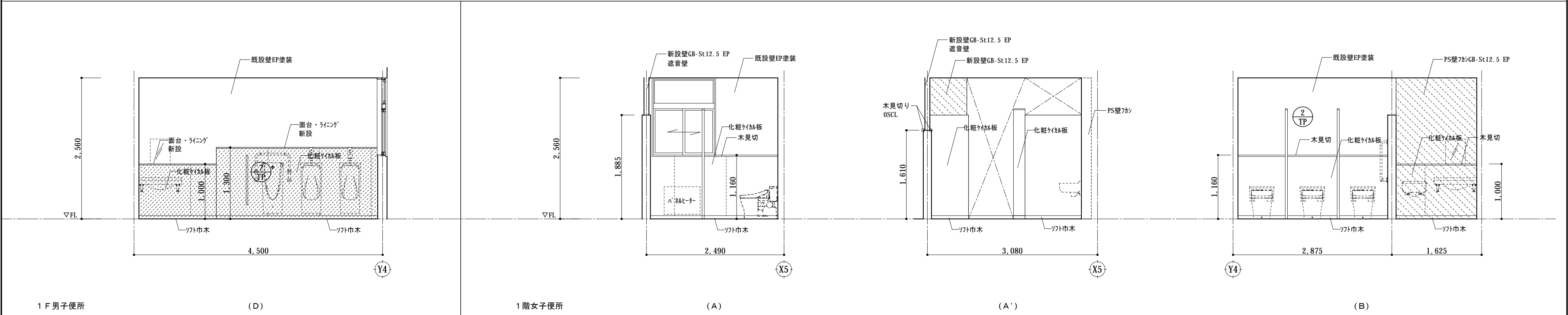
解体範囲を示す

【現況図】

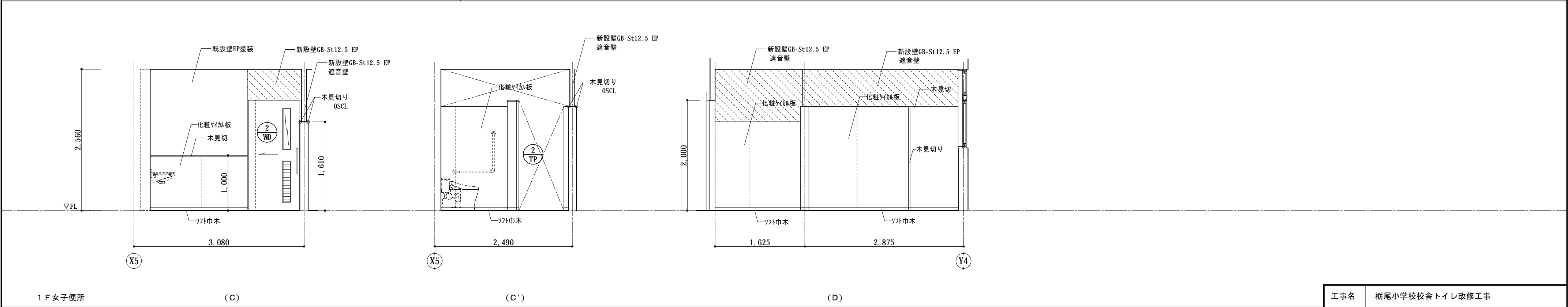
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況) 展開図ー3 (2階児童便所)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-29 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



1 F男子便所 (A) (A') (B) (C) (C')



1 F女子便所 (D) (A) (A') (B)



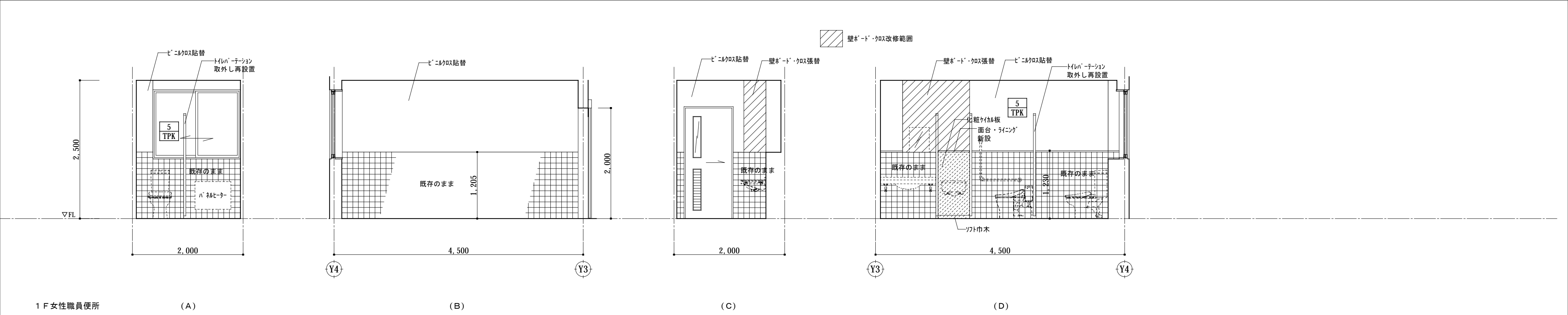
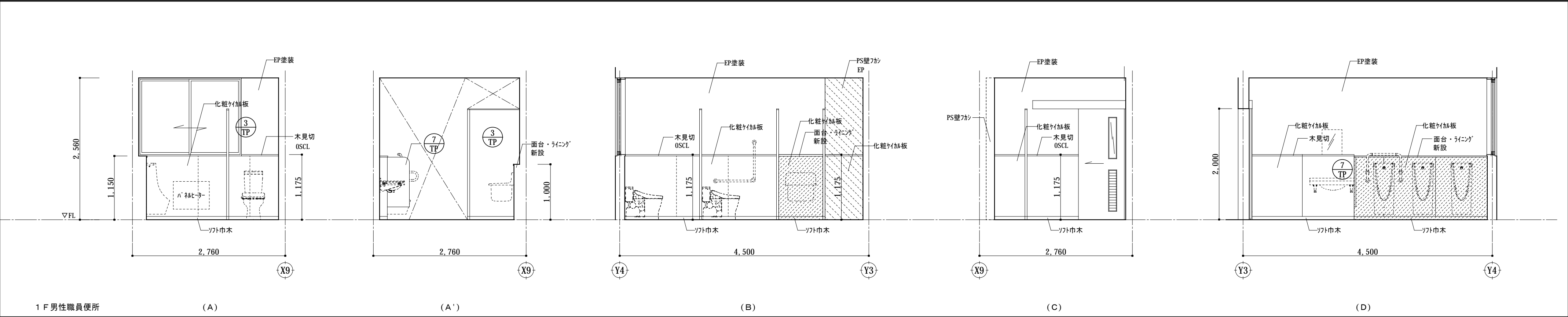
1 F女子便所 (C) (C') (D)

LGs下地 GB-St12.5 化粧ケイカル板t=6

LGs下地 GB-St12.5 化粧ケイカル板t=6、上部EP GW24kg t=50充填（遮音壁）

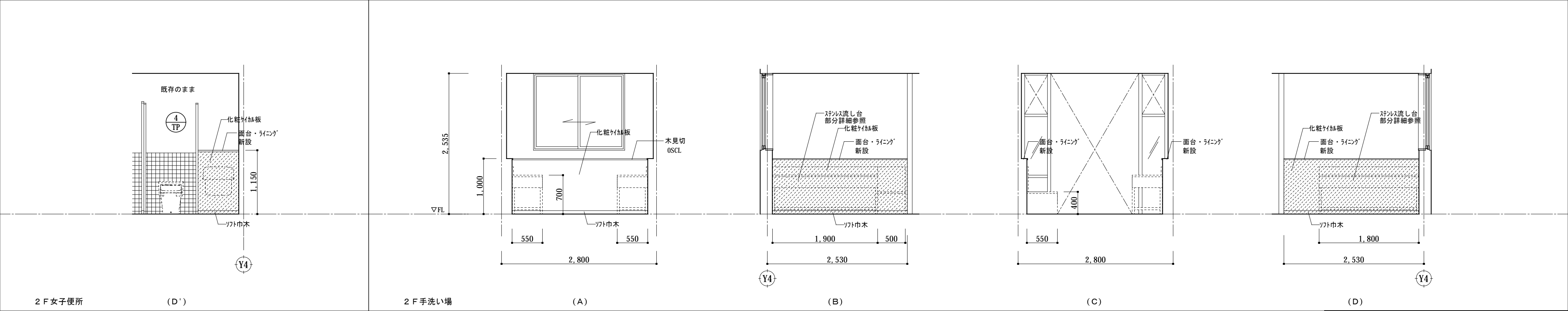
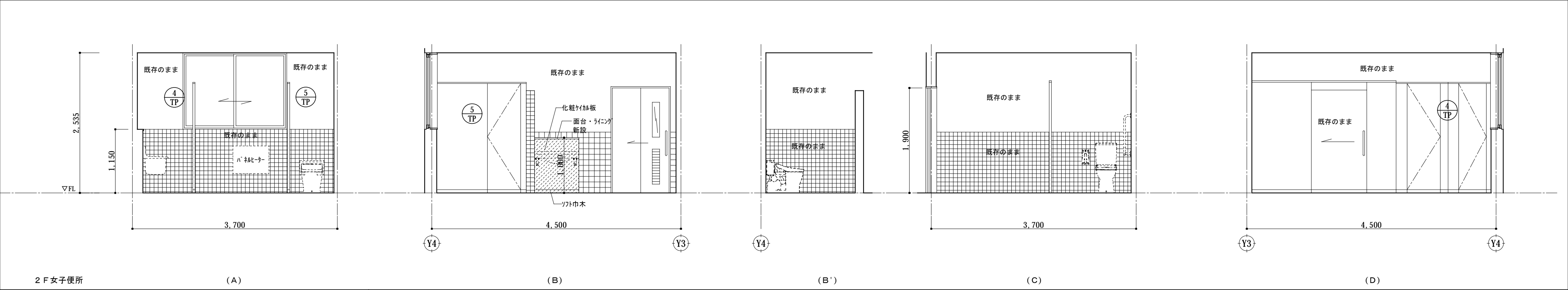
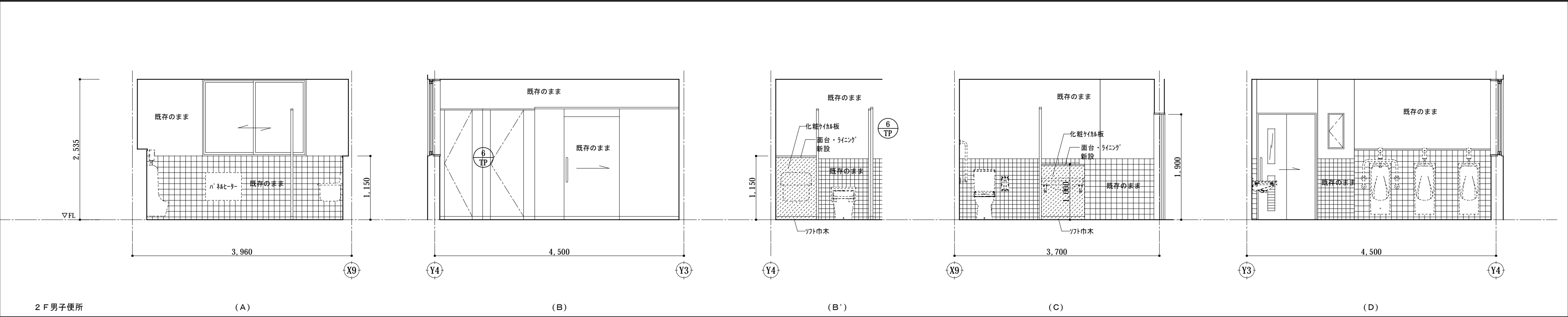
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(改修) 展開図ー１(１階児童便所)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-30 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

【改修図】



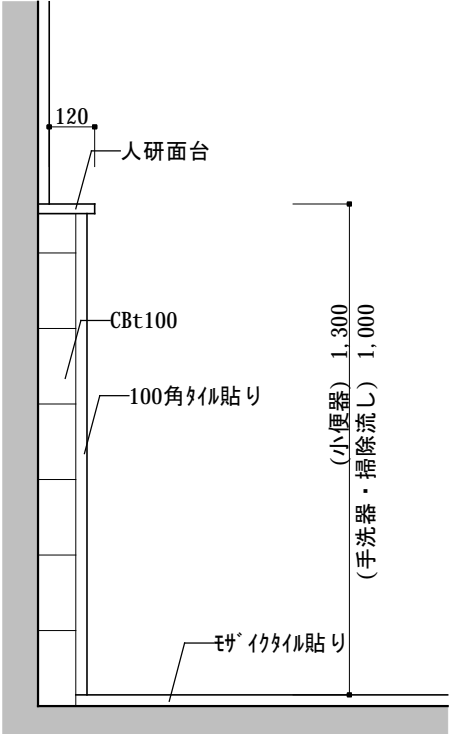
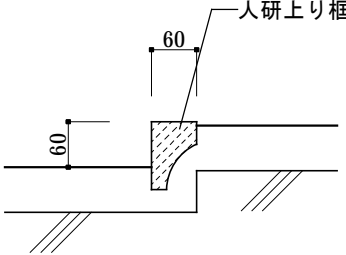
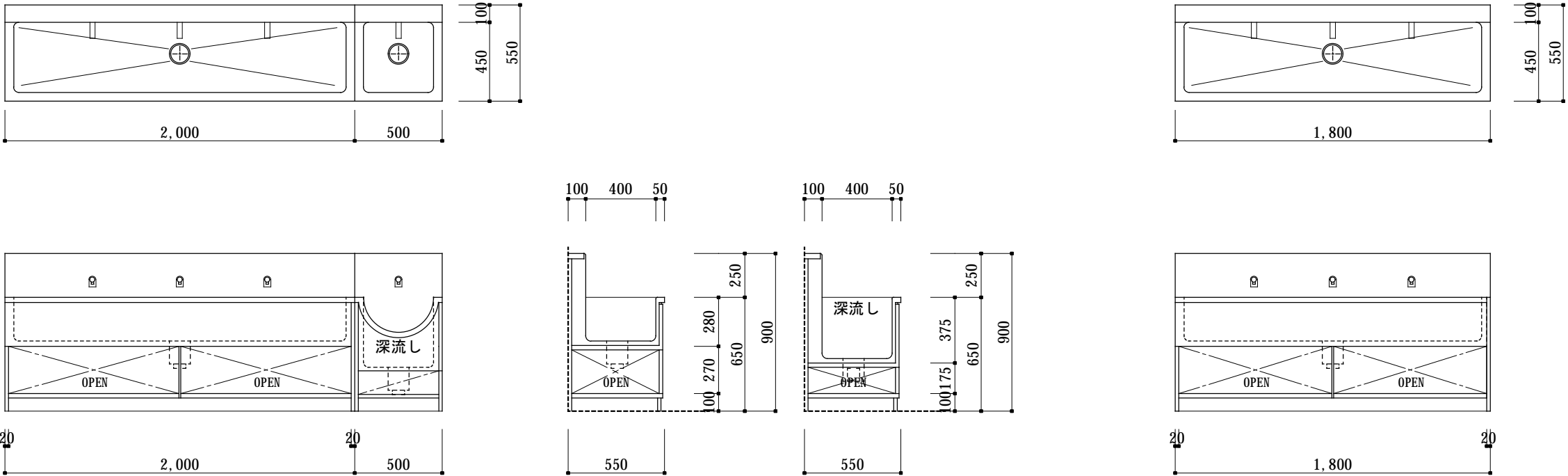
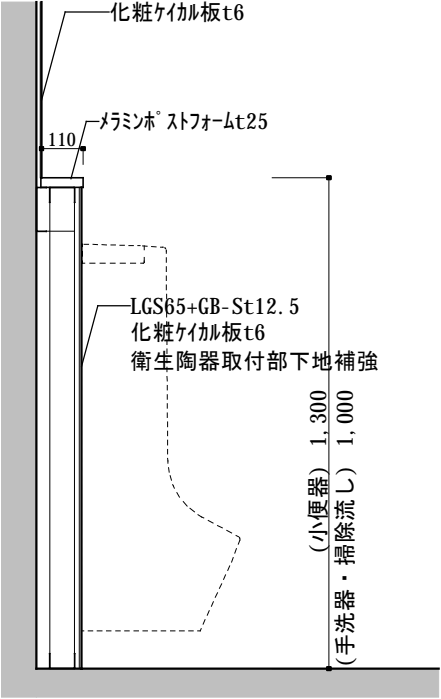
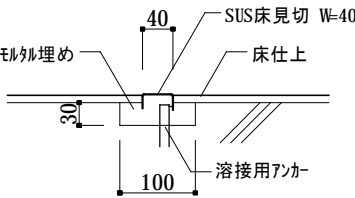
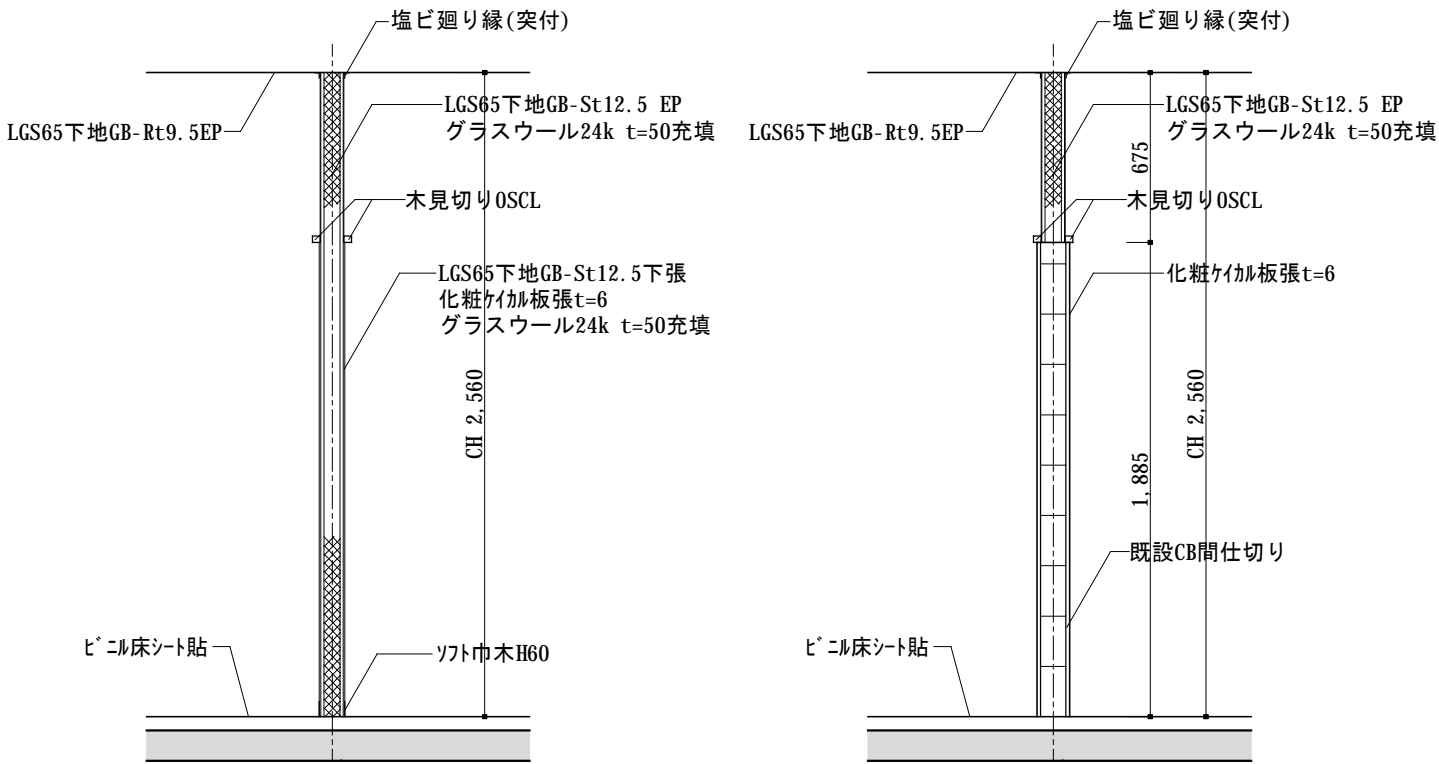
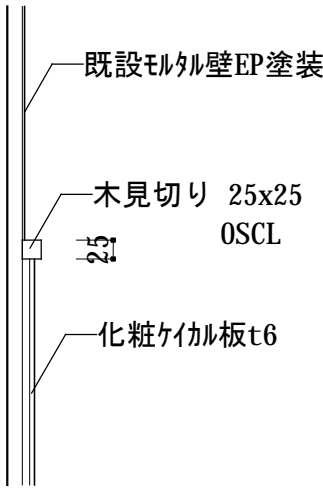
<div><div></div>LGS下地 GB-St12.5 化粧ケイカル板t=6</div> <div><div></div>LGS下地 GB-St12.5 化粧ケイカル板t=6、上部EP</div>	【改修図】			
	高山市			
	設計			
	令和 8年 3月			
	縮尺			
図名				

【改修図】



<div><div></div><div>LGS下地 GB-St12.5 化粧ケイカル板t=6</div></div>	【改修図】			
	高 山 市			
	工事名 栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
	図 名 (改修) 展開図ー3 (2階児童便所)			
	縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 A-32 号
	設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			

【改修図】

<p>面台詳細図 S=1: 20（既存撤去）</p> 	<p>上り框詳細図 S=1: 10（既存撤去）</p> 	<p>ステンレス流し台（2階手洗い場） S=1: 30 各1箇所</p> <p>ステンレス水槽 バックガード 排水トラップ付 深流し R200加工 バックガード 排水トラップ付 下部 スコ付 板厚 t=1.0</p> 																									
<p>面台詳細図 S=1: 20（新設）</p> 	<p>床見切詳細図 S=1: 10</p> 	<p>遮音壁詳細図 S=1: 30</p> 	<p>壁見切詳細図 S=1: 10</p>  <p>【改修図】</p> <table border="1"><tr><td>工事名</td><td colspan="3">栃尾小学校校舎トイレ改修工事</td></tr><tr><td>図 名</td><td colspan="3">(改修) 部分詳細図</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>—</td><td>番 号</td><td>50 枚の内 A-33 号</td></tr><tr><td>設 計 年 月 日</td><td colspan="3">令和 8年 3月</td></tr><tr><td>設 計</td><td colspan="3">株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹</td></tr><tr><td colspan="4">高 山 市</td></tr></table>	工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			図 名	(改修) 部分詳細図			縮 尺	—	番 号	50 枚の内 A-33 号	設 計 年 月 日	令和 8年 3月			設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			高 山 市			
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事																										
図 名	(改修) 部分詳細図																										
縮 尺	—	番 号	50 枚の内 A-33 号																								
設 計 年 月 日	令和 8年 3月																										
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹																										
高 山 市																											

仕様書

電気設備工事仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

2. 工事場所

岐阜県 高山市 奥飛騨温泉郷 栃尾 地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
校舎	煉	RC	3	.	7項 () 改修
	煉				項 ()
	煉				項 ()
	煉				項 ()
	煉				項 ()

4. 工事項目

(○ 印内に番号記入のもの及び 印のみ適用する)

建物名称 工事項目	校舎					屋外 その他
○ 高圧受変電設備						
○ 自家発電設備						
○ 幹線設備	○					
○ 動力設備						
○ 電灯設備						
○ 照明設備	○					
○ コンセント設備	○					
○ 放送、電気時計設備						
・ 館内放送 設備						
・ 設備						
・ 電気時計設備						
○ 電話設備						
・ 電話用配線設備						
・ LAN用配線設備						
○ 表示、警報設備						
・ トイレ呼出表示設備						
・ 警備保障会社用配管設備						
・ ITV設備						
○ インターホン設備						
○ テレビ共聴設備						
○ 防災設備						
・ 自動火災報知設備						
・ 自動閉鎖装置設備						
・ ガス漏れ警報設備						
・ 誘導灯設備						
・ 非常用照明設備						
・ 非常警報設備						
・ 漏電火災警報設備						
○ 避雷針設備						
○ 構内配電線路 (強電)						
○ 構内配電線路 (弱電)						
○ 太陽光発電設備						

5. 別途工事

○ 建築工事 ○ 機械設備工事

II. 工事仕様

1. 共通仕様 (○ 印のみ適用する)

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

○ 工事請負契約書

○ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

○ 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

○ 公共建築改修工事標準仕様書 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

・ 公共住宅建設工事共通仕様書 令和4年度版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)

○ 内線規程 2022年度版 (電気技術基準調査委員会編集)

○ 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様 (項目は番号に ○ 印記入のもの、選択式の特記事項は 印のみ適用する)

項目	特記事項
① 適用範囲 (1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書 (質疑応答を含む) に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書 (最新版) による。
② 適用範囲 (2)	設計図書等々に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書 (添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書
③ 法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内

共通事項

④ 提出書類

⑤ 下請負契約

⑥ 事故報告

⑦ 質疑

⑧ 設計変更

⑨ 軽微な変更等

⑩ 立会検査

⑪ 使用材料

⑫ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物

⑬ 再資源化施設への搬出

⑭ 再生資材の利用

⑮ はつり

⑯ 耐震施工

17 残土処分

規基準、指針、指導等に準拠する。

受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。

高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。

本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市契約条例」 (平成30年4月1日施行) に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店 (建設業法 (昭和24年法律第100号) に規定する主たる営業所含む。) を有する者の中から選定するよう努めること。下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。

本工事の設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなければならない。

建築主の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細な工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない

下記の項目については、監督員の立会検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。

○各種製品検査 ○各種仕上検査 ○工事中間検査及び竣工検査

○本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。

○上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。

○ホルムアルデヒド及び及び揮発性有機化合物の基準を定める。

ホルムアルデヒド	100μg/m³ (0.08ppm) 以下
トルエン	260μg/m³ (0.07ppm) 以下
キシレン	870μg/m³ (0.20ppm) 以下
スチレン	220μg/m³ (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3,800μg/m³ (0.88ppm) 以下
パラジクロロベンゼン	240μg/m (0.04ppm) 以下

○受注者は上記の基準以下であることを別途建築工事を行う検査にて確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準値以上だった場合は、受注者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要し棄物の適正処理に関する条例「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。

混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。

工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。

○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○木屑 ・繊維屑 ・プラスチック屑

○石膏ボード ○鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ガラス・陶磁器屑

下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規格	使用場所
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針 (日本道路協会)	構内アスファルト
再生クラッシャーラン		アスファルト舗装下

共通事項

⑮ はつり

⑯ 耐震施工

17 残土処分

⑮ 配線器具

⑮ フラッシュプレート

20 別途工事

⑮ 工事方法

⑮ 照明器具の吊ボルト

⑮ 工事保証

⑮ 経年検査

⑮ 施工調査

⑮ 工事中手前協議

⑮ ディーゼルエンジン車面の適正燃料の使用について

⑮ 改修工事注記事項

配線器具は、下記を標準とする。

○大角形連用型 ○ワイドハンドル型 ・

プレートは、下記を標準とする。

・ 樹脂製 (洋風モダン) ○ 新金属製

・ 電力会社外線工事負担金 ・ 電話機器納入、取付

・ 光ケーブル (CATV) 引込工事

・ 警備保障配線工事及び機器納入、取付

○ 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。

○ 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。

○ 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF-S22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合は屋内:E-25、屋外:φ-22とする)

○ 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線 (1.2m/mビニル被覆鉄線) を挿入する。

○ 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗り)

○ 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。

○ 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。

○ F P板 (スタイロフォーム等) 打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。(外壁部のみ)

○ ジョイントボックス等、配線器具をINSTALLしない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。

○ 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート (樹脂製、エッチング文字) を設ける。

○ 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。

(イ)建築基準法 告示 第3183号に準拠

(ロ) (財) 日本建築センター (BCJ) 防災評定品の使用

(イ)吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編)」によりものとする。

改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする。

(ロ)その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。

(ハ)特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。

建築竣工引渡し後、原則として5年以内 (特に指定のある工種を除く) において、工事不良の発生じたと認められる損害等については、受注者の費用負担にて迅速丁寧に改修しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は10年間とする。

建築竣工引渡し後1年が経過した時点において監督員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の発生じたと認められる損害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。

○ 事前調査 (○ 本工事 ・ 別途)

○ 調査項目 (○ 既存資料調査 ○ 既設配線ルート)

○ 調査範囲 (・ 図示 ○ 工事範囲)

○ 調査方法 (○ 図示 ○ 目視)

1) 本工事の受注者は、契約後1〜2週間以内に設計書内容について、監督員と工事中手前協議を行うこと。

2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。

3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。

4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答 (その他) 欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押押し、写しを現場代理人 (主任技術者) が受け取ること。

1) ディーゼルエンジンを動力とする車面にはJIS規格の軽油を使用すること。

2) ディーゼルエンジンを動力とする車面の燃料検査があった場合には協力すること。

○ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。

○ 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。

○ 図記明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取り外し→再取付等に伴う既設電気設備機器の○ 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。

共通事項

⑮ 撤去工事注記事項

⑮ 工事中の既設設備

⑮ 週休二日制工事の実施

⑮ その他

① 電気方式

② 配線方法

③ 分電盤

② 電灯設備

③ 照明器具の吊ボルト

4 床付コンセント

5 照度測定

⑥ 設計照度

○ 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。

○ 図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。

○ 上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。

○ 既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事に於いて天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。

○ 既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事に於いて天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。

○ 上記に於いて廃止となる配線は端末処理の上、「未使用」表記を行うものとする。

○ 上記配管配線撤去は隠蔽部における注記事項であり、露出配管及び露出配線は本工事にて全て撤去とする。

○ 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事とする。

既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事とする。

○ 本工事は、完全週休二日制工事 (現場閉所) とする。詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休二日制工事実施要領」に従うこと。

○ 別途機器への接続は、本工事とする。

○ 姿図の寸法、形状は参考とする。

・ 動力 三相3線式 200V

・ " 三相4線式 V

○ 電灯 三相3線式 200/100V

・ " 単相2線式 200V

・ " 単相2線式 100V

○ 鋼製電線管 ○ 合成樹脂可とう電線管 (PF)

・ 硬質ビニル電線管 (VE) ・ 金属ダクト

・ ケーブルラック ○ 線び配線

○ ケーブル配線 ・

ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。

○ 単相2線式 200V

○ 単相2線式 100V

○ 鋼製電線管 ○ 合成樹脂可とう電線管 (PF)

・ 硬質ビニル電線管 (VE) ・ 金属ダクト

・ ケーブルラック ○ 線び配線

○ ケーブル配線 ・

(イ)吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編)」によりものとする。

(ロ)その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。

(ハ)特殊な照明器具は、上記による他、係員の指示による。

(ニ)照明器具を木、その他可燃物に取付ける場合は、遮熱を考慮する。

・ ワンタッチ飛び出し型 ・ インナー型

・ ハイテンション型 ・ フリーアクセスフロア適合品

照度測定を行い測定結果を係員に提出。最低照度は図面参考とする。

照度基準は日本工業規格照度基準JIS Z 9110-11 (学校) に基づき、基準以上の照度とする。

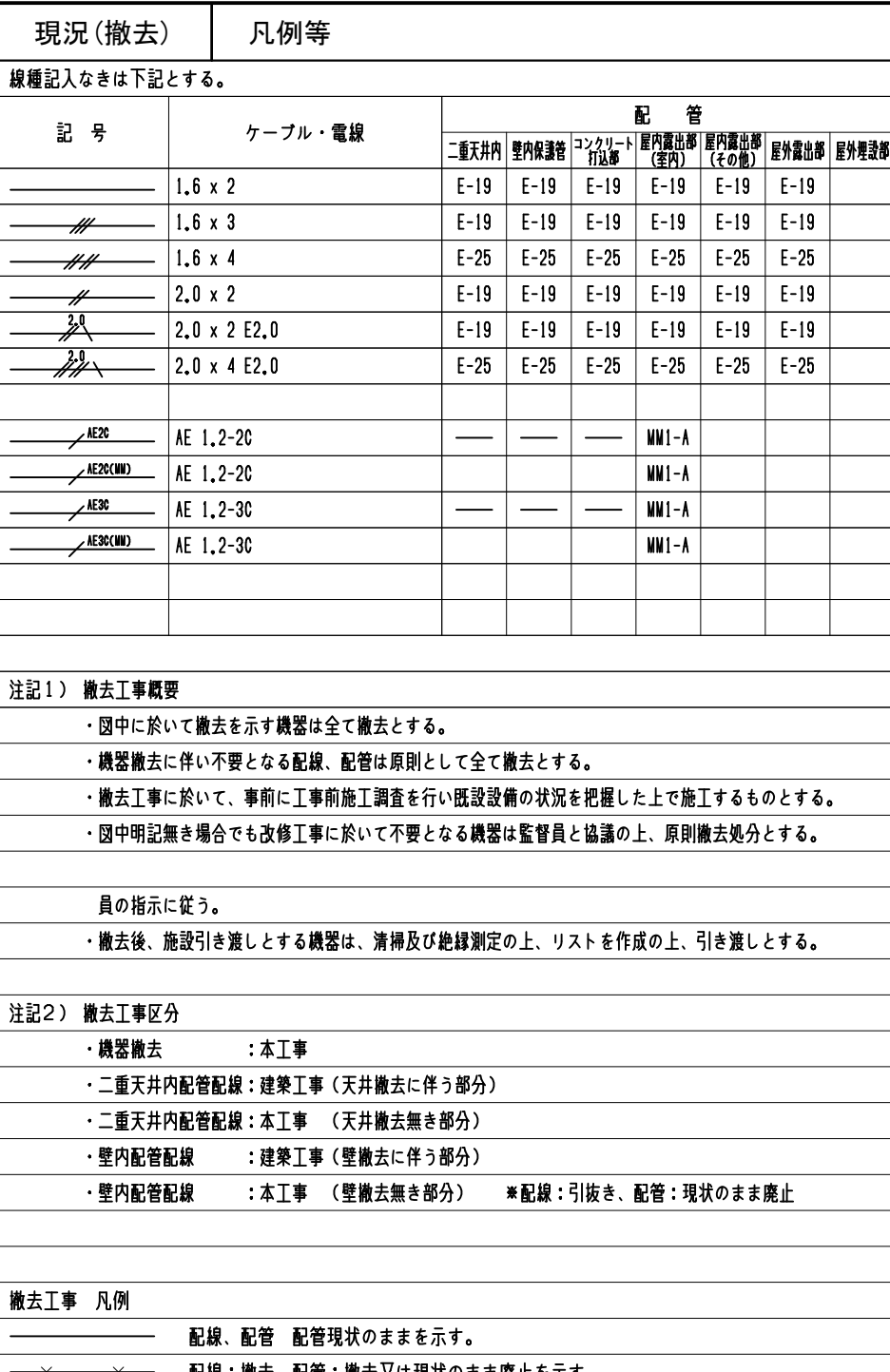
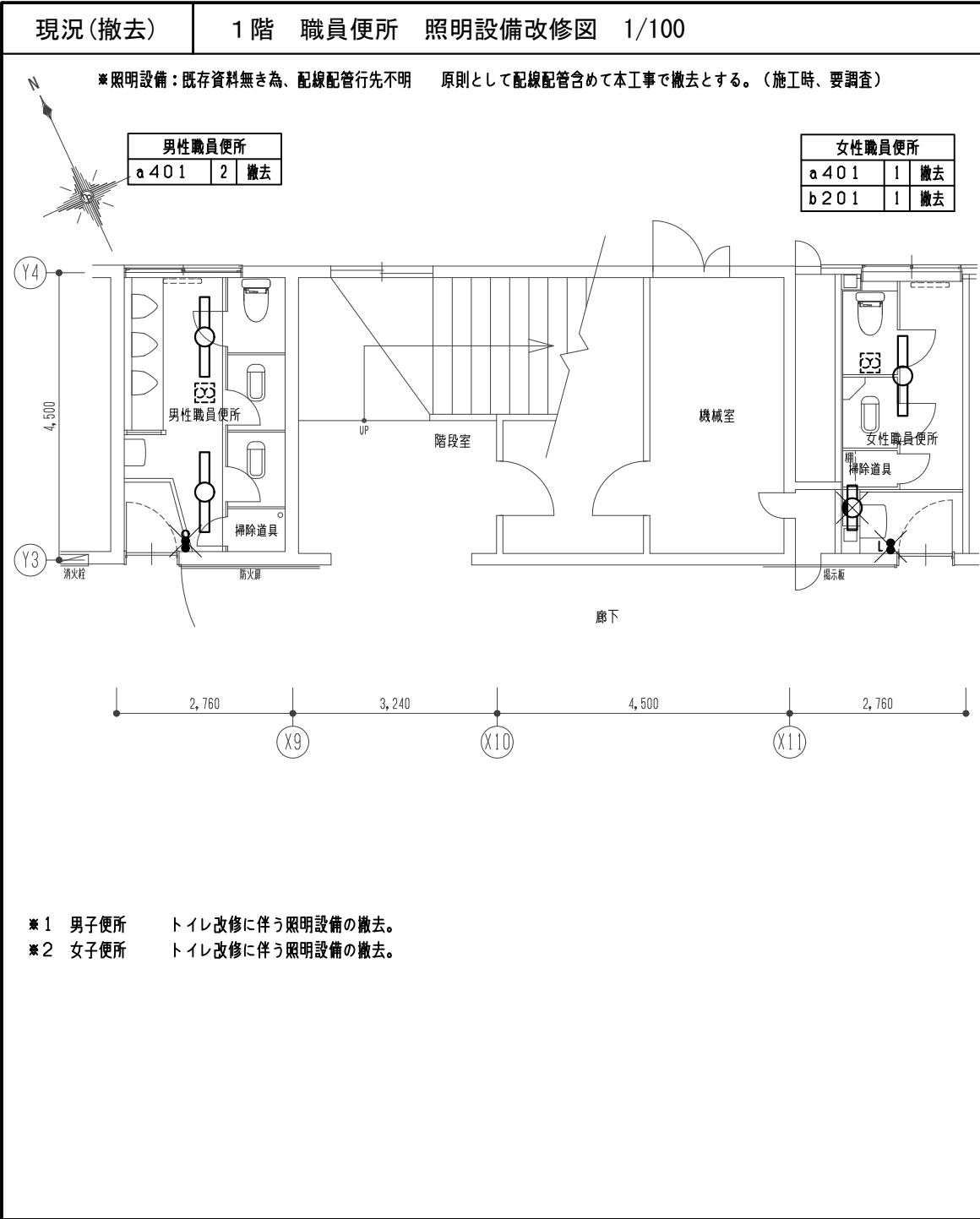
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図名	電気設備工事仕様書		
縮尺	N-S	番号	50枚の内 E01号
設計年月日	令和8年 3月		
設計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高山市			

改修後

盤類結線図

名 称 ・ 仕 様		結 線 図	分 岐 回 路										備考及びその他取付機器							
			回路番号	電圧 (V)	分 岐 開 閉 器				リモコンリレー 1P20A/2P20A	負 荷 名 称	負荷容量 (KW,V A)									
					MCCB	ELCB	P	AF			AT	電灯		コンセント	空調機	その他				
分電盤名称	1L-1-1		Ⓐ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 ウォシュレット		320							
			Ⓑ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 ウォシュレット		320							
キャビネット形式	露出・埋込両用型		Ⓒ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
	鋼板製 焼付塗装		Ⓓ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
	市販品 鍵付		Ⓔ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 電気暖房機		1500							
電気方式	相線		Ⓕ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 電気暖房機		1000							
	電圧		Ⓖ	100	○	2P1E	30	20			予備									
負荷容量			Ⓗ	100	○	2P1E	30	20			予備									
主幹器具	種類																			
	定格電流																			
備考			分電盤取付高：盤上面＝天井面																	
W：350、H：320、D：95			MODEL) HWD3N4-80																	
キー付平面ハンドル			＊分岐開閉器は全てELCBに組替												計		3780			
分電盤名称	1L-2-1		Ⓐ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 ウォシュレット		320							
			Ⓑ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 ウォシュレット		320							
キャビネット形式	露出・埋込両用型		Ⓒ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
	鋼板製 焼付塗装		Ⓓ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
	市販品 鍵付		Ⓔ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
電気方式	相線		Ⓕ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 電気暖房機		1500							
	電圧		Ⓖ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 電気暖房機		1500							
負荷容量			Ⓗ	100	○	2P1E	30	20			予備									
主幹器具	種類																			
	定格電流																			
備考			分電盤取付高：盤上面＝天井面																	
W：350、H：320、D：95			MODEL) HWD3N4-80																	
キー付平面ハンドル			＊分岐開閉器は全てELCBに組替												計		4600			
分電盤名称	2L-1-1		Ⓐ	100	○	2P1E	30	20			男子便所 ウォシュレット		320							
			Ⓑ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
キャビネット形式	露出・埋込両用型		Ⓒ	100	○	2P1E	30	20			女子便所 ウォシュレット		320							
	鋼板製 焼付塗装		Ⓓ	100	○	2P1E	30	20			予備									
	市販品 鍵付		Ⓔ	100-200		2P E	30				開閉器スペース									
電気方式	相線		Ⓕ	100-200		2P E	30				開閉器スペース									
	電圧																			
負荷容量																				
主幹器具	種類																			
	定格電流																			
備考			分電盤取付高：盤上面＝天井面																	
W：350、H：320、D：95			MODEL) HWD3N4-42																	
キー付平面ハンドル			＊分岐開閉器は全てELCBに組替												計		960			
		</																		

[illegible]



現況(撤去)		2階 便所 照明設備改修図 1/100		改修		2階 便所 照明設備改修図 1/100		改修		凡例等																																																																																																																																																																																																																			
		<p>※1 男子便所 照明改修(LEＤ化)に伴う照明器具の撤去。(点滅:熱線センサ自動スイッチ化済)</p> <p>※2 女子便所 照明改修(LEＤ化)に伴う照明器具の撤去。(点滅:熱線センサ自動スイッチ化済)</p> <p>※3 手洗い場 照明改修(LEＤ化)に伴う照明器具の撤去。</p>		<p>線種記入なきは下記とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="6">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部(室内)</th><th>屋内露出部(その他)</th><th>屋外露出部</th></tr><tr><td>—</td><td>1.6 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>1.6 x 3</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>1.6 x 4</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>2.0 x 2</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>2.0 x 2 E2.0</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td>E-19</td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>2.0 x 4 E2.0</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td>E-25</td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>AE 1.2-2C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>AE 1.2-2C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>AE 1.2-3C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>AE 1.2-3C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr></table> <p>注記1) 撤去工事概要</p> <ul style="list-style-type: none">・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。 <p>注記2) 撤去工事区分</p> <ul style="list-style-type: none">・機器撤去 : 本工事・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) ※配線:引抜き、配管:現状のまま廃止 <p>撤去工事 凡例</p> <ul style="list-style-type: none">— 配線、配管 配管現状のままを示す。× × 配線:撤去、配管:撤去又は現状のまま廃止を示す。⊗ ⊗ 配線:撤去、配管:再利用を示す。□ 機器 現状のままを示す。⊠ 撤去 機器を示す。⊠ 取外し(再利用) 機器を示す。		記 号	ケーブル・電線	配 管						二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部	—	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		—	1.6 x 3	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		—	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		—	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		—	2.0 x 2 E2.0	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19		—	2.0 x 4 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25		—	AE 1.2-2C	—	—	—	MM1-A			—	AE 1.2-2C	—	—	—	MM1-A			—	AE 1.2-3C	—	—	—	MM1-A			—	AE 1.2-3C	—	—	—	MM1-A			<p>※1 男子便所 照明改修(LEＤ化)に伴う照明器具の新設。(点滅:熱線センサ自動スイッチ化済)</p> <p>※2 女子便所 照明改修(LEＤ化)に伴う照明器具の新設。(点滅:熱線センサ自動スイッチ化済)</p> <p>※3 手洗い場 照明改修(LEＤ化)に伴う照明器具の新設。</p>		<p>線種記入なきは下記とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="6">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部(室内)</th><th>屋内露出部(その他)</th><th>屋外露出部</th></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-3C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-3C x 2</td><td>—</td><td>PF-S28</td><td>PF-S28</td><td>MM1-A</td><td>E-31</td><td>E-31</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 2.0-2C</td><td>—</td><td>PF-S16</td><td>PF-S16</td><td>MM1-A</td><td>E-19</td><td>E-19</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-3C (10:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 1.6-2C x 2 (10:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td>—</td><td>EW-EEF 2.0-3C (10:E)</td><td>—</td><td>PF-S22</td><td>PF-S22</td><td>MM1-A</td><td>E-25</td><td>E-25</td></tr><tr><td>—</td><td>AE 1.2-2C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>AE 1.2-3C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>MM1-A</td><td></td><td></td></tr></table> <p>注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内:1種金属製線び(MM1-A)、その他:金属製電線管(任管)とする。</p> <p>注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</p> <p>注記3) コンクリート壁体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</p> <p>注記4) 露出配管(金属製電線管)は指定色塗装とする。</p> <p>注記5) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</p> <p>改修工事 凡例</p> <ul style="list-style-type: none">— 今回工事 配線、配管を示す。---<キ>--- 既設 配線、配管を示す。□ 今回工事 機器を示す。⊠ 既設 機器を示す。□ キ 取外し既設機器 再取付を示す。□ キ接続 既設配線に接続を示す。⊠ キ接続 既設品に新設配線接続を示す。 <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none">● J ジョイントボックス OB102×54 (プランクカバー共)□ NP(K) ノズルプレート (角型)□ CP(K) カバープレート (角型)□ CP(K) カバープレート (丸型)□ CP(K)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製□ NP 防雨入線カバー⊠ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)⊠ EH-1 電気暖房機 納入・取付 :機械設備工事 1φ100V 1,500kW⊠ EH-2 電気暖房機 納入・取付 :機械設備工事 1φ100V 1,000kW⊠ EH-1 電気暖房機 既設品再取付:機械設備工事 1φ100V 1,500kW⊠ 換気扇 納入・取付 :機械設備工事⊠ ダクト換気扇 納入・取付:機械設備工事 <p>● RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818</p> <p>● RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129</p> <p>● RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 圓欠運転 MODEL) WTK2933K</p> <p>● 2-SL 同上(自、切、手)切替スイッチ 2回路型 P:ガードプレート 取付高:FL+1800 MODEL) WTC6822W</p> <p>① 埋込コンセント (2P15A×1)</p> <p>① 2 埋込コンセント (2P15A×2)</p> <p>① EET 埋込コンセント (2P15A×1) E断・ET付</p> <p>① ZEET 埋込コンセント (2P15A×2) E断・ET付</p> <p>Ⓝ キ トイレ呼出押釦(引き紐付) ※既設取外し品再取付</p> <p>⊙ キ 表示灯 ※既設取外し品再取付</p> <p>Ⓜ キ 復帰釦 ※既設取外し品再取付</p> <p>★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MM1-A)で保護を示す(今回工事)</p> <p>▲ 既設コンクリート壁(ブロック壁)貫通箇所を示す</p> <p>⊠ 新設天井点検口(建築工事)</p>		記 号	ケーブル・電線	配 管						二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部	—	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19	—	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25	—	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25	—	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25	—	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31	—	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19	—	EW-EEF 1.6-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25	—	EW-EEF 1.6-2C x 2 (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25	—	EW-EEF 2.0-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25	—	AE 1.2-2C	—	—	—	MM1-A			—	AE 1.2-3C	—	—	—	MM1-A			<p>※1 階段室 電灯分電盤2L-1-1の新設。 新設幹線を既設電灯分電盤2L-1主開閉器一次側へ接続の上、新設2L-1-1まで施工。</p> <p>※2 男子便所 ウォシュレット用コンセント及び配線配管の新設(1箇所)。</p> <p>※3 女子便所 ウォシュレット用コンセント及び配線配管の新設(2箇所)。</p> <p>※4 手洗い場 新設無し。</p>		<p>線路内訳表(幹線)</p> <table><tr><th>番号</th><th>ケーブル・電線</th><th>配 管</th><th>相 電 圧</th><th>用 途</th><th>送り元(接続箇所)</th></tr><tr><td>2L-1-1</td><td>EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq</td><td>— — PF-S36 MM1-B</td><td>1φ3W 200/100V</td><td>2L-1-1</td><td>2L-1(主開閉器一次側へ接続)</td></tr></table>		番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元(接続箇所)	2L-1-1	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq	— — PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1-1	2L-1(主開閉器一次側へ接続)
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																																																																																																																											
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部																																																																																																																																																																																																																						
—	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																																																																																																							
—	1.6 x 3	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																																																																																																							
—	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																							
—	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																																																																																																							
—	2.0 x 2 E2.0	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19																																																																																																																																																																																																																							
—	2.0 x 4 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																							
—	AE 1.2-2C	—	—	—	MM1-A																																																																																																																																																																																																																								
—	AE 1.2-2C	—	—	—	MM1-A																																																																																																																																																																																																																								
—	AE 1.2-3C	—	—	—	MM1-A																																																																																																																																																																																																																								
—	AE 1.2-3C	—	—	—	MM1-A																																																																																																																																																																																																																								
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																																																																																																																											
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 1.6-2C x 2 (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-EEF 2.0-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25																																																																																																																																																																																																																						
—	AE 1.2-2C	—	—	—	MM1-A																																																																																																																																																																																																																								
—	AE 1.2-3C	—	—	—	MM1-A																																																																																																																																																																																																																								
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元(接続箇所)																																																																																																																																																																																																																								
2L-1-1	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq	— — PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1-1	2L-1(主開閉器一次側へ接続)																																																																																																																																																																																																																								
現況(撤去)		2階 便所 コンセント設備改修図 1/100		改修		2階 便所 コンセント設備改修図 1/100		改修		凡例等																																																																																																																																																																																																																			
<p>※コンセント設備:既存資料無き為、配線配管行先不明 原則として配線配管含めて本工事で撤去とする。(施工時、要調査)</p>		<p>※1 男子便所 撤去無し。</p> <p>※2 女子便所 便座ヒーター用コンセント及び配線配管の撤去。</p> <p>※3 手洗い場 撤去無し。</p>		<p>線種記入なきは下記とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="6">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部(室内)</th><th>屋内露出部(その他)</th><th>屋外露出部</th></tr><tr><td>—</td><td>EW-CE 8sq-3C</td><td>—</td><td>—</td><td>PF-S36</td><td>MM1-B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>EW-1E 5.5sq</td><td>—</td><td>—</td><td>PF-S36</td><td>MM1-B</td><td></td><td></td></tr></table> <p>注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内:1種金属製線び(MM1-A)、その他:金属製電線管(任管)とする。</p> <p>注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</p> <p>注記3) コンクリート壁体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</p> <p>注記4) 露出配管(金属製電線管)は指定色塗装とする。</p> <p>注記5) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</p> <p>改修工事 凡例</p> <ul style="list-style-type: none">— 今回工事 配線、配管を示す。---<キ>--- 既設 配線、配管を示す。□ 今回工事 機器を示す。⊠ 既設 機器を示す。□ キ 取外し既設機器 再取付を示す。□ キ接続 既設配線に接続を示す。⊠ キ接続 既設品に新設配線接続を示す。 <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none">● J ジョイントボックス OB102×54 (プランクカバー共)□ NP(K) ノズルプレート (角型)□ CP(K) カバープレート (角型)□ CP(K) カバープレート (丸型)□ CP(K)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製□ NP 防雨入線カバー⊠ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)⊠ EH-1 電気暖房機 納入・取付 :機械設備工事 1φ100V 1,500kW⊠ EH-2 電気暖房機 納入・取付 :機械設備工事 1φ100V 1,000kW⊠ EH-1 電気暖房機 既設品再取付:機械設備工事 1φ100V 1,500kW⊠ 換気扇 納入・取付 :機械設備工事⊠ ダクト換気扇 納入・取付:機械設備工事 <p>● RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818</p> <p>● RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129</p> <p>● RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 圓欠運転 MODEL) WTK2933K</p> <p>● 2-SL 同上(自、切、手)切替スイッチ 2回路型 P:ガードプレート 取付高:FL+1800 MODEL) WTC6822W</p> <p>① 埋込コンセント (2P15A×1)</p> <p>① 2 埋込コンセント (2P15A×2)</p> <p>① EET 埋込コンセント (2P15A×1) E断・ET付</p> <p>① ZEET 埋込コンセント (2P15A×2) E断・ET付</p> <p>Ⓝ キ トイレ呼出押釦(引き紐付) ※既設取外し品再取付</p> <p>⊙ キ 表示灯 ※既設取外し品再取付</p> <p>Ⓜ キ 復帰釦 ※既設取外し品再取付</p> <p>★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MM1-A)で保護を示す(今回工事)</p> <p>▲ 既設コンクリート壁(ブロック壁)貫通箇所を示す</p> <p>⊠ 新設天井点検口(建築工事)</p>		記 号	ケーブル・電線	配 管						二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部	—	EW-CE 8sq-3C	—	—	PF-S36	MM1-B			—	EW-1E 5.5sq	—	—	PF-S36	MM1-B			<p>※1 階段室 電灯分電盤2L-1-1の新設。 新設幹線を既設電灯分電盤2L-1主開閉器一次側へ接続の上、新設2L-1-1まで施工。</p> <p>※2 男子便所 ウォシュレット用コンセント及び配線配管の新設(1箇所)。</p> <p>※3 女子便所 ウォシュレット用コンセント及び配線配管の新設(2箇所)。</p> <p>※4 手洗い場 新設無し。</p>		<p>線路内訳表(幹線)</p> <table><tr><th>番号</th><th>ケーブル・電線</th><th>配 管</th><th>相 電 圧</th><th>用 途</th><th>送り元(接続箇所)</th></tr><tr><td>2L-1-1</td><td>EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq</td><td>— — PF-S36 MM1-B</td><td>1φ3W 200/100V</td><td>2L-1-1</td><td>2L-1(主開閉器一次側へ接続)</td></tr></table>		番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元(接続箇所)	2L-1-1	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq	— — PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1-1	2L-1(主開閉器一次側へ接続)																																																																																																																																																																										
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																																																																																																																											
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-CE 8sq-3C	—	—	PF-S36	MM1-B																																																																																																																																																																																																																								
—	EW-1E 5.5sq	—	—	PF-S36	MM1-B																																																																																																																																																																																																																								
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元(接続箇所)																																																																																																																																																																																																																								
2L-1-1	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq	— — PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1-1	2L-1(主開閉器一次側へ接続)																																																																																																																																																																																																																								
現況(撤去)		2階 便所 コンセント設備改修図 1/100		改修		2階 便所 コンセント設備改修図 1/100		改修		凡例等																																																																																																																																																																																																																			
<p>※コンセント設備:既存資料無き為、配線配管行先不明 原則として配線配管含めて本工事で撤去とする。(施工時、要調査)</p>		<p>※1 男子便所 撤去無し。</p> <p>※2 女子便所 便座ヒーター用コンセント及び配線配管の撤去。</p> <p>※3 手洗い場 撤去無し。</p>		<p>線種記入なきは下記とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="6">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><th>壁内保護管</th><th>コンクリート打込部</th><th>屋内露出部(室内)</th><th>屋内露出部(その他)</th><th>屋外露出部</th></tr><tr><td>—</td><td>EW-CE 8sq-3C</td><td>—</td><td>—</td><td>PF-S36</td><td>MM1-B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>—</td><td>EW-1E 5.5sq</td><td>—</td><td>—</td><td>PF-S36</td><td>MM1-B</td><td></td><td></td></tr></table> <p>注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内:1種金属製線び(MM1-A)、その他:金属製電線管(任管)とする。</p> <p>注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。</p> <p>注記3) コンクリート壁体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。</p> <p>注記4) 露出配管(金属製電線管)は指定色塗装とする。</p> <p>注記5) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。</p> <p>改修工事 凡例</p> <ul style="list-style-type: none">— 今回工事 配線、配管を示す。---<キ>--- 既設 配線、配管を示す。□ 今回工事 機器を示す。⊠ 既設 機器を示す。□ キ 取外し既設機器 再取付を示す。□ キ接続 既設配線に接続を示す。⊠ キ接続 既設品に新設配線接続を示す。 <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none">● J ジョイントボックス OB102×54 (プランクカバー共)□ NP(K) ノズルプレート (角型)□ CP(K) カバープレート (角型)□ CP(K) カバープレート (丸型)□ CP(K)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製□ NP 防雨入線カバー⊠ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)⊠ EH-1 電気暖房機 納入・取付 :機械設備工事 1φ100V 1,500kW⊠ EH-2 電気暖房機 納入・取付 :機械設備工事 1φ100V 1,000kW⊠ EH-1 電気暖房機 既設品再取付:機械設備工事 1φ100V 1,500kW⊠ 換気扇 納入・取付 :機械設備工事⊠ ダクト換気扇 納入・取付:機械設備工事 <p>● RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818</p> <p>● RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129</p> <p>● RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 圓欠運転 MODEL) WTK2933K</p> <p>● 2-SL 同上(自、切、手)切替スイッチ 2回路型 P:ガードプレート 取付高:FL+1800 MODEL) WTC6822W</p> <p>① 埋込コンセント (2P15A×1)</p> <p>① 2 埋込コンセント (2P15A×2)</p> <p>① EET 埋込コンセント (2P15A×1) E断・ET付</p> <p>① ZEET 埋込コンセント (2P15A×2) E断・ET付</p> <p>Ⓝ キ トイレ呼出押釦(引き紐付) ※既設取外し品再取付</p> <p>⊙ キ 表示灯 ※既設取外し品再取付</p> <p>Ⓜ キ 復帰釦 ※既設取外し品再取付</p> <p>★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MM1-A)で保護を示す(今回工事)</p> <p>▲ 既設コンクリート壁(ブロック壁)貫通箇所を示す</p> <p>⊠ 新設天井点検口(建築工事)</p>		記 号	ケーブル・電線	配 管						二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部	—	EW-CE 8sq-3C	—	—	PF-S36	MM1-B			—	EW-1E 5.5sq	—	—	PF-S36	MM1-B			<p>※1 階段室 電灯分電盤2L-1-1の新設。 新設幹線を既設電灯分電盤2L-1主開閉器一次側へ接続の上、新設2L-1-1まで施工。</p> <p>※2 男子便所 ウォシュレット用コンセント及び配線配管の新設(1箇所)。</p> <p>※3 女子便所 ウォシュレット用コンセント及び配線配管の新設(2箇所)。</p> <p>※4 手洗い場 新設無し。</p>		<p>線路内訳表(幹線)</p> <table><tr><th>番号</th><th>ケーブル・電線</th><th>配 管</th><th>相 電 圧</th><th>用 途</th><th>送り元(接続箇所)</th></tr><tr><td>2L-1-1</td><td>EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq</td><td>— — PF-S36 MM1-B</td><td>1φ3W 200/100V</td><td>2L-1-1</td><td>2L-1(主開閉器一次側へ接続)</td></tr></table>		番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元(接続箇所)	2L-1-1	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq	— — PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1-1	2L-1(主開閉器一次側へ接続)																																																																																																																																																																										
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																																																																																																																											
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部																																																																																																																																																																																																																						
—	EW-CE 8sq-3C	—	—	PF-S36	MM1-B																																																																																																																																																																																																																								
—	EW-1E 5.5sq	—	—	PF-S36	MM1-B																																																																																																																																																																																																																								
番号	ケーブル・電線	配 管	相 電 圧	用 途	送り元(接続箇所)																																																																																																																																																																																																																								
2L-1-1	EW-CE 8sq-3C EW-1E 5.5sq	— — PF-S36 MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1-1	2L-1(主開閉器一次側へ接続)																																																																																																																																																																																																																								
現況(撤去)		2階 便所 コンセント設備改修図 1/100		改修		2階 便所 コンセント設備改修図 1/100		改修		凡例等																																																																																																																																																																																																																			
<p>※コンセント設備:既存資料無き為、配線配管行先不明 原則として配線配管含めて本工事で撤去とする。(施工時、要調査)</p>		<p>※1 男子便所 撤去無し。</p> <p>※2 女子便所 便座ヒーター用コンセント及び配線配管の撤去。</p> <p>※3 手洗い場 撤去無し。</p>		<p>線種記入なきは下記とする。</p> <table><tr><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">ケーブル・電線</th><th colspan="6">配 管</th></tr><tr><th>二重天井内</th><</tr></table>		記 号	ケーブル・電線	配 管						二重天井内																																																																																																																																																																																																															
記 号	ケーブル・電線	配 管																																																																																																																																																																																																																											
		二重天井内																																																																																																																																																																																																																											

A.工事概要

1 工事名称

栃尾小学校校舎トイレ改修工事

2 主要用途

小学校

3 工事種別

・新築

・増築

・改築

・大規模改修

◎トイレ改修

4 工事場所

岐阜県高山市奥飛騨温泉郷栃尾 地内

5 都市計画法等

都市計画区域

◎都市計画区域内（

・市街化区域

・市街化調整区域

・その他

）

用途地域

・都市計画区域外

◎都市計画公園

・第一種低層住居専用地域

・第二種低層住居専用地域

・第一種中高層住居専用地域

・第二種中高層住居専用地域

・第一種住居地域

・第二種住居地域

・準住居地域

・近隣商業地域

・商業地域

・準工業地域

・工業地域

・工業専用地域

防火地域

◎用途地域の指定のない区域

防火地域

・防火地域

・準防火地域

◎指定なし

その他の指定

・建築基準法第22条指定区域内

・建築基準法第22条指定区域外

6 工事建物の概要

区 分	管理教室棟				備 考
構 造	鉄筋コンクリート造				
階 数	地上3階				
床面積	1920.29 m2				
建築面積	m2				
消防法施行令別表第一	(7)項				

7 工事種目

◎ 印の付いたものが対象工事

建物別及び屋外	工 事 種 別					
工事種別	管理教室棟					屋 外
・ 空気調和設備						
・ 換気設備	新設一式					
・ 排煙設備						
・ 自動制御設備						
・ 衛生器具設備	新設一式					
・ 給水設備	新設一式					
・ 排水通気設備	新設一式					
・ 給湯設備						
・ 消火設備						
・ ガス設備						
・ 厨房器具設備						
・ さく井工事						
・ 浄化槽設備						
・ 昇降機設備						
・ その他設備						
・						
・						
・						
・						
・						
・						

8 別途工事

・建築工事

一式

・電気設備工事

一式

・昇降機設備工事

一式

・電話工事

一式

・搬送設備工事

一式

・解体工事

一式

B.工事仕様書

1 一般仕様

1）新設工事共通仕様書（A. 7 工事種目において新設・増設一式とあるもの）

（1）特記仕様、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

2）改修工事共通仕様書（A. 7 工事種目において改修・撤去一式とあるもの）

（1）特記仕様書、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

3）設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（1）～（5）の順番とおりとする。

（1）質問回答書

（2）現場説明書

（3）特記仕様

（4）図面

（5）標準仕様書及び標準図

2 特記仕様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものを適用する。

3）受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。

上記事実が発生した場合は、契約書第27条（臨機の措置）の規定による。

妨害又は不当要求に対する通報義務

1）受注者は契約の履行に当たって、暴力団関係者等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することがある。

2）受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長を請求することができる。

3 不当介入における通報義務

章

項 目

特 記 事 項

①書類の書式等

本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「工事施工にかかる提出書類について（依頼）」に基づき作成する。

②工事実績情報の登録

工事請負金額500万円以上(消費税込)の工事について、工事実績情報を登録することとする。（登録先（財）日本建設情報総合センター）

③概成工期

総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。

④電気保安技術者

◎ 配置する。 ・ 配置しない。

⑤事故報告

工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通知するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

⑥機材等

1. 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。

ただし、仮設工事材料、リサイクル製品及び特に指定したものは新品に限らない。

これらの機器、機材は監督員の承諾を受け施工する。

2. 主要材料については、契約後、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。

3. 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。

⑦機材の品質・性能証明

使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。

⑧機器姿図

姿図の形状及び寸法は、概略を示す。

⑨再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出

建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了時に同計画書の実施報告書を監督員に提出するものとする。

⑩電気工事士

・ 最大電力500kw以上の場合、第一種電気工事士のより施工を行う。

◎ 最大電力500kw未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。

⑪技能士

1）技能士の適用は、次の職種による。

◎ 配管（建築配管作業） ◎ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・ 建築板金（ダクト板金作業）

・ 冷凍空調和機器施工（冷凍空調和機器施工作業） ・ 空気圧縮装置組立て（空気圧縮装置組立て作業） ・ 塗装

・ さく井（ ・ パーカッション式さく井工事作業 ・ ローター式さく井工事作業 ） ・ 鉄工（ ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業）

2）本工事は前項で指定する職種別に1名以上の一級技能士又は単一等級の資格を有する技能士が作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	機械設備工事特記仕様書-1			
縮 尺	N/S	番 号	50 枚の内	M-01号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社	斐太プランニング		
	一級建築士	第266975号 門 秀樹		
高 山 市				

1 一般共通事項	<div><div>③9はつり</div><div>40天井仕上区分</div><div>④1他工事との工事区分</div><div>④2電線類</div><div>④3施工条件</div><div>④4騒音・振動の防止</div><div>④5排出ガス対策 建設機械の使用</div><div>④6鋼材等</div><div>④7事故再発防止策</div></div>	<p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。 穴開けを行う際は、超音波探査等の機器で鉄筋、電線管等の探査を行う。 ()書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。</p> <p>図面に特記なき場合は、別表-1「他工事との取合い区分表」による。ただし、これにより難い場合は監督員と協議する。</p> <p>電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 電線類は、EMケーブルを使用する。(機器、盤類を除いてもよい。)</p> <p>設計図書に施工時間が定められていない場合で、官公庁の休日又は夜間に工事の施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面によって監督員に通知する。(事前に工程表等により提出されている場合は不要とする。)</p> <p>本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された低騒音型・低振動型建設機械を使用する。ただしこれにより難い場合は、監督員と協議する。</p> <p>本工事においては、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。ただしこれにより難い場合監督員と協議する。</p> <p>屋外で使用する鋼材等は、(・溶融亜鉛めっき仕上げ ①ステンレス鋼材)とする。</p> <p>(1) 安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合は、作業する高さに関わらず墜落制止用器具を使用すること 2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合は、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。</p> <p>(2) 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、4時間以上の時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集の活用により 工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1.安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2.当該工事内容等の周知徹底 3.工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4.当該工事における災害対策訓練 5.その他、安全・訓練等として必要な事項</p>	<div><div>①ダクト</div><div>2風量測定口</div><div>③ダンパー</div><div>4シールする 排気ダクトの系統</div><div>⑤チャンバー</div><div>⑥保温</div></div> <div><div>①小便器大便器</div><div>②自動水栓の電源供給</div><div>③紙巻器</div><div>④水石けん入れ</div><div>⑤水栓</div><div>⑥掃除流し</div><div>7和風大便器耐火カバー</div></div> <div><div>①配管材料</div><div>2引き込み納付金</div><div>③量水器</div><div>④量水器樹</div><div>5水栓柱</div><div>⑥管の地中埋設深さ</div><div>⑦凍結深度</div><div>⑧埋設仕様</div><div>⑨試験</div></div> <div><div>①配管材料</div><div>②洗面器等の排水管</div><div>③試験</div><div>4放流納付金</div><div>⑤樹蓋</div></div>	<p>① 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) (① 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) ・ アングルフランジ工法 ①スパイラルダクト</p> <p>・ 高圧1ダクト (適用範囲は図示による)</p> <p>・ 塩化ビニルダクト (適用範囲及び仕様は図示による)</p> <p>・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2. 2. 2. 2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <p>・ 厨房系統 ・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統</p> <p>① 空気調和設備の当該項目による。</p> <p>① 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ 25mm、範囲はOA, SAは全周、EAはｶﾞﾘ取付ﾁｬﾝﾊﾞｰ及びﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞから1m)</p> <p>・ 外気取入れ用のダクト (保温の厚さ 25mm、範囲は全周とし、ｶﾞﾘ取付ﾁｬﾝﾊﾞｰ)</p> <p>① 排気用ダクト (保温の厚さ 25mm、範囲はｶﾞﾘ取付ﾁｬﾝﾊﾞｰ及びﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞから1m)</p> <p>・ 多湿箇所のダクト (保温の厚さ 50mm、範囲は図示による)</p> <p>・ 厨房及び湯沸し室の排気ダクト (保温の厚さ 50mm (RW)、範囲はｶﾞﾘ取付ﾁｬﾝﾊﾞｰ及びﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞから1m)</p> <p>小便器は洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。</p> <p>① AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電</p> <p>ステンレス製とし ① 棚付きワンタッチ(スペア付)式 ・ ワンタッチ式 ・ ワンタッチ (スペアー付) 式</p> <p>・ 手洗器一体型 (衛生器具取付け) ・ 手洗器分離型 (・ 壁取付け ・ カウンター取付け)</p> <p>① 洗面器には水石けん入れは不要</p> <p>① 耐寒水栓 (吊コマ) ① 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 ・ カウンター取付形</p> <p>排水口は (・ 目皿及び鎖付き共栓 ① 目皿 ・ 鎖付き共栓) とする。</p> <p>和風大便器の防火区画貫通処理は標準図による。</p> <p>(1)一般配管 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ポリ粉体鋼管 (・ PA ① PB) ・ 塩ビライニング鋼管 (・ VA ・ VB)</p> <p>上記の選択で、ポリ粉体鋼管または塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房・浴室等のシンダー内配管は (・ PD ・ VD) とする。</p> <p>(2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管 (SUS316) (・ 建物内 ・ 屋外部分) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (・ H1VP ・ VP)</p> <p>① ポリエチレン管 (屋外埋設部分) ・ ポリ粉体鋼管 (PD) ・ 塩ビライニング鋼管 (VD)</p> <p>① ※ただし、第一水栓 (最寄り散水栓) まではポリ粉体鋼管 (PD) とする。</p> <p>(3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は(1)及び(2)による。</p> <p>・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要</p> <p>親メーター (① 貸与品 ・) 親メーターの形式 (① 現地表示式 ・ 遠隔表示式)</p> <p>子メーター (・ 買取り) 子メーターの形式 (・ 現地表示式 ・ 遠隔表示式)</p> <p>・ 水道事業者指定品 (・ 貸与品 ・ 買取り) ① 標準図MC形</p> <p>・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金製</p> <p>埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より (① 600mm ・ mm) 以上</p> <p>その他の部分では管の上端より (・ 300mm ・ mm) 以上</p> <p>① 変位を吸収できるようにスリークッションとする。 ※ 水道用高密度PE管による場合は不要</p> <p>屋外配管の凍結深度は 600mmとする。</p> <p>構成は標準断面による。鋼管GL-600以上 保護砂：0.1m3/m以上 塩ビ管GL-600以上 保護砂：0.16m3以上とする。</p> <p>上記、土間下地中埋設配管も同様とし、すべて防食加工された支持金物にて土間配筋に支持すること。その他の配管も同様とする。</p> <p>コンクリート内・ブロック内に施工される鋼管類 (外面被覆管を除く) は防食用ビニルテープ1/2重ね2回巻とする。</p> <p>各系統の配管終了後に水圧試験を行う。なお、給湯設備においても同様とする。</p> <p>(1)屋内 汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 耐火二層管</p> <p>・ コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS認定品 VP)</p> <p>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (① VP ・ VU)</p> <p>雑排水管・通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS認定品 VP)</p> <p>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ① 耐火二層管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (① VP ・ VU)</p> <p>ポンプアップ排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ コーティング鋼管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (・ VP ・ VU)</p> <p>衛生器具廻り ① ビニル管</p> <p>・ 鉛管</p> <p>(2)屋外 第1樹以降及び樹間 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (① VP ・ VU)</p> <p>・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU)</p> <p>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)</p> <p>・ コンクリート管 (・ 外圧管1種のB形 ・)</p> <p>リサイクルビニル管の適用範囲 (RF-VP)：屋内の無圧の排水配管用 (REP-VU)：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 (RS-VU)：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用</p> <p>(1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。</p> <p>(2)給湯室流し等の床上部分の配管は、硬質塩化ビニル管を使用してもよい。</p> <p>配管終了後に満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に行う試験は (① 通水試験 ・ 煙試験) とする。</p> <p>・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要</p> <p>屋外設置のマンホール類には樹脂製、<i>エッチ</i>文字で表示した雨水、污水等の用途名を入れること。</p>																													
	<div><div>①衛生器具設備</div><div>2給水設備</div><div>3排水・通気設備</div><div>4換気設備 便所</div></div>	<p>便所は湿式から乾式への改修を行う。 和風便器から洋風便器への取替を行う。なお経年劣化した洋風便器、小便器についても取替を行う。 手洗器の更新、新設を行い、手動式の単水栓から自動水栓への取替を行う。 掃除流しの更新、新設を行う。 各便所のブースにはL形手すりを1箇所設置し、小便器には小便器用手すりを1箇所設ける。</p> <p>給水は既設管切離し再接続による。</p> <p>汚水雑排水の各便所系統は屋内分流式を基本とし、既設管切離し再接続とする。 通気管は既設管切離し再接続とする。</p> <p>各便所は壁付換気扇による、第3種換気方式とする。 既設のアルミパネル部への接続とする。 電気暖房器は更新を行う。なお更新が済んでいるものについては取外し再取付を行う。</p>	<div><div>①工事種別 工事概要</div><div>1衛生器具設備</div><div>2給水設備</div><div>3排水・通気設備</div><div>4換気設備 便所</div></div>																														
				<table><tr><td>工事名</td><td colspan="4">栃尾小学校校舎トイレ改修工事</td></tr><tr><td>図名</td><td colspan="4">機械設備工事特記仕様書-3</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>N/S</td><td>番号</td><td>50枚の内</td><td>M-03号</td></tr><tr><td>設計年月日</td><td colspan="4">令和8年3月</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="4">株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹</td></tr><tr><td colspan="5">高山市</td></tr></table>	工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事				図名	機械設備工事特記仕様書-3				縮尺	N/S	番号	50枚の内	M-03号	設計年月日	令和8年3月				設計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹				高山市			
工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事																																
図名	機械設備工事特記仕様書-3																																
縮尺	N/S	番号	50枚の内	M-03号																													
設計年月日	令和8年3月																																
設計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹																																
高山市																																	

○追記事項

①建設機械

②軽微な変更等

③下請契約

④事故報告

⑤重点監督対象工事

⑥経年検査

⑦損害保険

⑧実施状況の提出について

⑨工事着手前協議について

⑩電子メールの利用

⑪ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

⑫工事書類の簡素化

⑬提出書類等

⑭施工中の安全確保

15別途工事

16休日

1）本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成16年9月24日国土交通省告示第1151号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。

2）本工事においては、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正 平成14年4月1日国総施第225号）」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない

本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」（平成30年4月1日施行）に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。

下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。

建築竣工引渡後1年が経過した時点において係員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる損害等についても、係員の指示に従い改修しなければならない。

なお、その費用については請負者の負担とする。

工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。

1）損害の補填条件

a.火災、落雷、爆発又は破裂

b.台風、旋風、暴風、暴風雨の風災

2）保険金

原則として請負金額とする。

3）保険の期間

保険の加入の時期は、原則として工事着工のととし、終期は工事完成後14日までとする。

4）協議

この取扱いにより難しい事項については、必要に応じて請負者は、監督職員と協議するものとする。

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、事前に計画書を提出し監督職員の確認を得た上で実施し、実施後に実施報告を提出することができる。

1）本工事の受注者は、契約後1～2週間に以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。

2）協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。

3）協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。

4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。

本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。

1）ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。

2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

1）実施にあたっては「工事書類簡素化要領」（技191号平成22年6月30日改正）に基づいて実施することができる。

高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。

1）「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技术基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

2）安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動（安全朝礼・ミーティング・KY活動 工事打合せ等）」及び「月例行事（安全バトロール・安全協議会・安全大会等）」の実施と記録を行う。

工事期間中に建築工事・電気設備工事等の別途工事を伴うため、各施工業者と綿密に調整を行うこと。


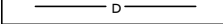
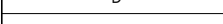

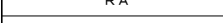
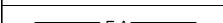

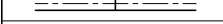





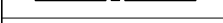
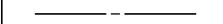

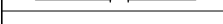
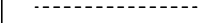

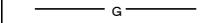
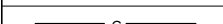


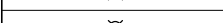


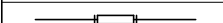
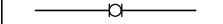
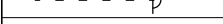
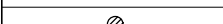


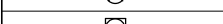






本工事は、完全週休2日制を原則とした、週休2日制工事（現場閉所）とする。

詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」に従う。

【凡 例】

図中に記載される記号は下記の参考による、なお備考欄は仕様等を示し詳細は特記による。

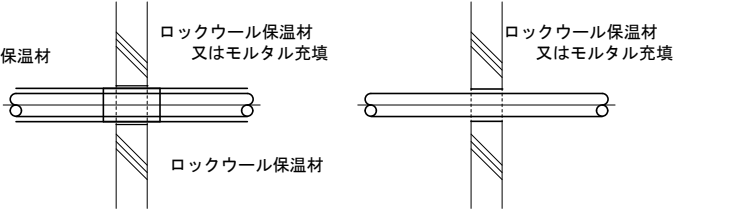
本工事に該当しないものはこの限りではない。

記 号	名 称	備 考
	冷媒用被服銅管	断熱材被覆銅管（被覆厚 液管10mm・ガス管20mm）
	ドレン配管	（屋内一般）：結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管
	ドレン配管（屋外露出）	（屋外露出）：配管用炭素銅鋼管・SGP白
	サブライダクト	
	レタダクト	
	外気取入ダクト	
	排気ダクト	
	角ダクト	垂鉛鉄板（JIS-G-3302）
	丸ダクト	スパイラルダクト（JIS-G-3302）
	パイプフード	ステンレス製 丸形フラット ガラリ・防虫網（給気）・(FD)付 指定色塗装
	ベンドキャップ	ステンレス製 ガラリ・防虫網（給気）・(FD)付 指定色塗装
	屋外形角フード	ステンレス製 角型スリム ガラリ・(FD)付 指定色塗装
	防火区画貫通部（床面）	配管防火区画床処理材による区画処理（認定番号 PS060FL-1043）
	防火区画貫通部（壁）	配管防火区画壁処理材による区画処理（認定番号 PS060WL-0774）
	給水管	（屋外埋設）：水道用高密度ポリエチレン管（PWA-001～005）
	給水管	（屋内一般・機械室）：水道用ポリライニング鋼管（JWWAK-116・PB）
	給水管	（屋内埋設部）：水道用ポリライニング鋼管（JWWAK-116・PD）
	排水管	（屋内一般・便所）：硬質ポリ塩化ビニル管（JIS-K-6741・VP）
	排水管	（屋外埋設）：硬質ポリ塩化ビニル管（JIS-K-6741・VP）
	通気管	（屋内一般・機械室・便所）：硬質ポリ塩化ビニル管（JIS-K-6741・VP）
	給湯管	一般配管用ステンレス鋼管（JIS-G-3448）
	ガス供給管	（屋外埋設）：ガス用ポリエチレン管
	ガス供給管	（屋内一般）：配管用炭素銅鋼管・SGP白
	ガス供給管	（屋内・屋外露出）：ポリエチレン被覆銅管
	混合水栓	
	単水栓	
	フラッシュバルブ	
	散水栓	B-1
	弁 類（給水用）	
	逆止弁（給水用）	加圧給水ポンプユニット附属品
	フレキシブル継手	ステンレス製ベローズ形
	防振継手	ゴム製 球形
	通気口	VC-S2 VC-B1 VA-2
	床上掃除口	COA（一般床用） CIR（シート露出防水用） CIQ（塗膜防水床用）
	床排水口	D
	床下掃除口	CO
	小口径塩ビ製汚水樹	
	小口径塩ビ製雨水樹	
	コンクリート製汚水樹	

【防火区画貫通部 施工要領図】

保温が必要な配管

保温が必要ない配管



※ 区画貫通処理については、建築基準法施行令112条20項による。

ダクト

平鋼（短管に溶接）

溶接

ダクト

1. 5mm以上の鉄板又は鉄鋼モルタル等で被覆した短管等を設ける

工 事 計 画 工 程 表

※建築工事特記仕様書を参照

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	機械設備工事特記仕様書-4			
縮 尺	N/S	番 号	50 枚の内	M-04号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 一級建築士	斐太プランニング	第266975号 門 秀樹	
高 山 市				

衛生機器一覧表

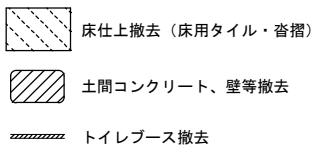
記 号	器 具 名 称	仕 様	参 考 型 番	数量	場 所	電源/消費電力	適判 対象
C－1	洋風便器	床置床排水大便器・排水芯可変・フラッシュタンク式 ウォシュレットPS PS2Aオート便器洗浄	CFS498BMT	10	1階男子便所	1φ100V 0.32kw	
		タッチスイッチ エコリモコン・擬音装置付 棚付二連紙巻器 付属品一式 寒冷地	TCF5534AU、YH702		1階女子便所		
C－2	洋風便器 【ウォシュレット取外再取付】	床置床排水大便器・排水芯可変・フラッシュタンク式	CFS498BMT	1	1階女性職員便所	1φ100V 0.32kw	
		棚付二連紙巻器 付属品一式	ウォシュレット【既設品】、YH702				
C－3	洋風便器【再取付】	床置床排水大便器・防露密結タンク・ウォシュレット・便ふた無し（2階）・付属品一式		3	1階男性職員便所		
					2階男子・女子便所		
U－1	小便器	壁掛け型 低リップ 自動洗浄・自己発電 節水形 付属品一式	UFS900WR	4	1階男子便所		
					1階男性職員便所		
U－2	小便器 【取外再取付】	壁掛け型 低リップ 自動洗浄 付属品一式	U500	2	1階男子便所		
L－1	手洗器	壁掛手洗器 台付自動水栓（T－1） 排水金具 付属品一式	L270C	6	1階男・女子便所		
					1階男・女性職員便所		
					2階男・女子便所		
M－1	化粧鏡	耐食鏡 450×600	YM4560F	6	各便所		
SK－1	掃除流し	バックハンガー 単水栓 壁給水 床排水 付属品一式	SK22A、T23AE20C、T375SGEP	4	1階男子便所		
					1階男性職員便所		
					2階男子便所		
SK－2	掃除流し	マルチシンク バックハンガー 単水栓 壁給排水 付属品一式	SK500、T23BEN13C、T6PMR	2	1階女子便所		
					1階女性職員便所		
TS－1	手すり	L型 前出寸法：120	T112CL10	4	1階男女便所		
					1階男女職員便所		
TS－2	手すり	小便器用	T112CU22	2	1階男子便所		
					1階男性職員便所		
T－1	単水栓	機能部一体 台付自動水栓 乾電池型 一般地・寒冷地供用	TEL24DPRA	6	各便所		
T－2	単水栓	機能部一体 壁付自動水栓 乾電池型 一般地・寒冷地供用	TEL20DSA	7	2階手洗い場		

【改修図】

工 事 名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事			
図 名	衛生設備機器一覧表			
縮 尺	N/S	番 号	50 枚の内	M-05 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月			
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹			
高 山 市				

1 階平面詳細図 1/50

()内は通路FLを±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900



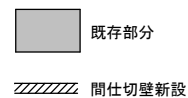
【撤去】 男子便所	
名 称	数量
洋風便器	1
和風便器	1
小便器(壁掛)小	2
小便器(壁掛)大【取外し】	2
単水栓	3
ハイタンク	1
鏡	1

【撤去】 女子便所	
名 称	数量
洋風便器	2
和風便器	2
単水栓	2
鏡	1

【現況図】

1 階平面詳細図 1/50

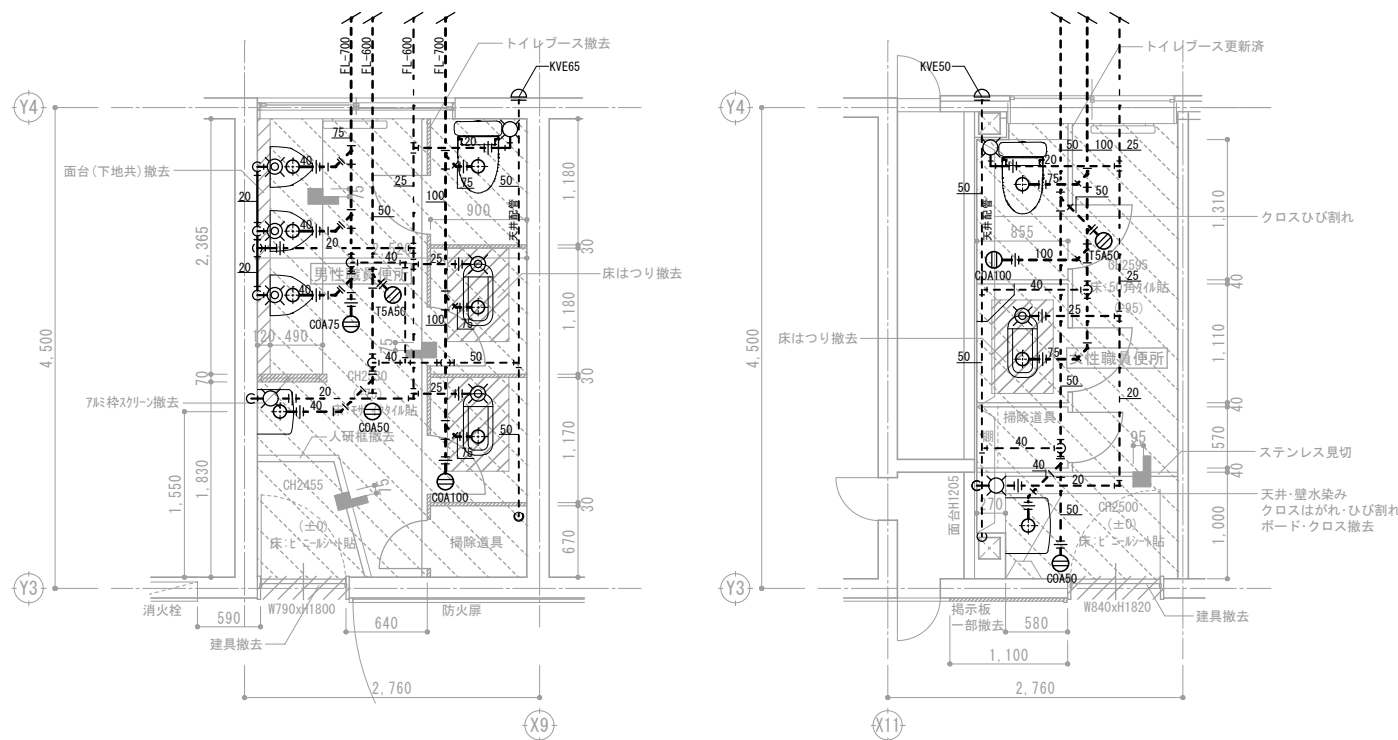
()内は通路FLを±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900



男子便所			女子便所		
名 称	記 号	数量	名 称	記 号	数量
洋風便器	C－1	2	洋風便器	C－1	3
小便器	U－1	1	洗面器	L－1	1
小便器【再取付】	U－2	2	単水栓	T－1	1
洗面器	L－1	1	化粧鏡	M－1	1
単水栓	T－1	1	掃除流し	SK－2	1
化粧鏡	M－1	1	手すり（L型）	TS－1	1
掃除流し	SK－1	1			
手すり（L型）	TS－1	1			
手すり（小便器用）	TS－2	1			

【改修図】

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 1階平面詳細図-1 (衛生設備)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 M-06 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太ブランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



1階平面詳細図 1/50

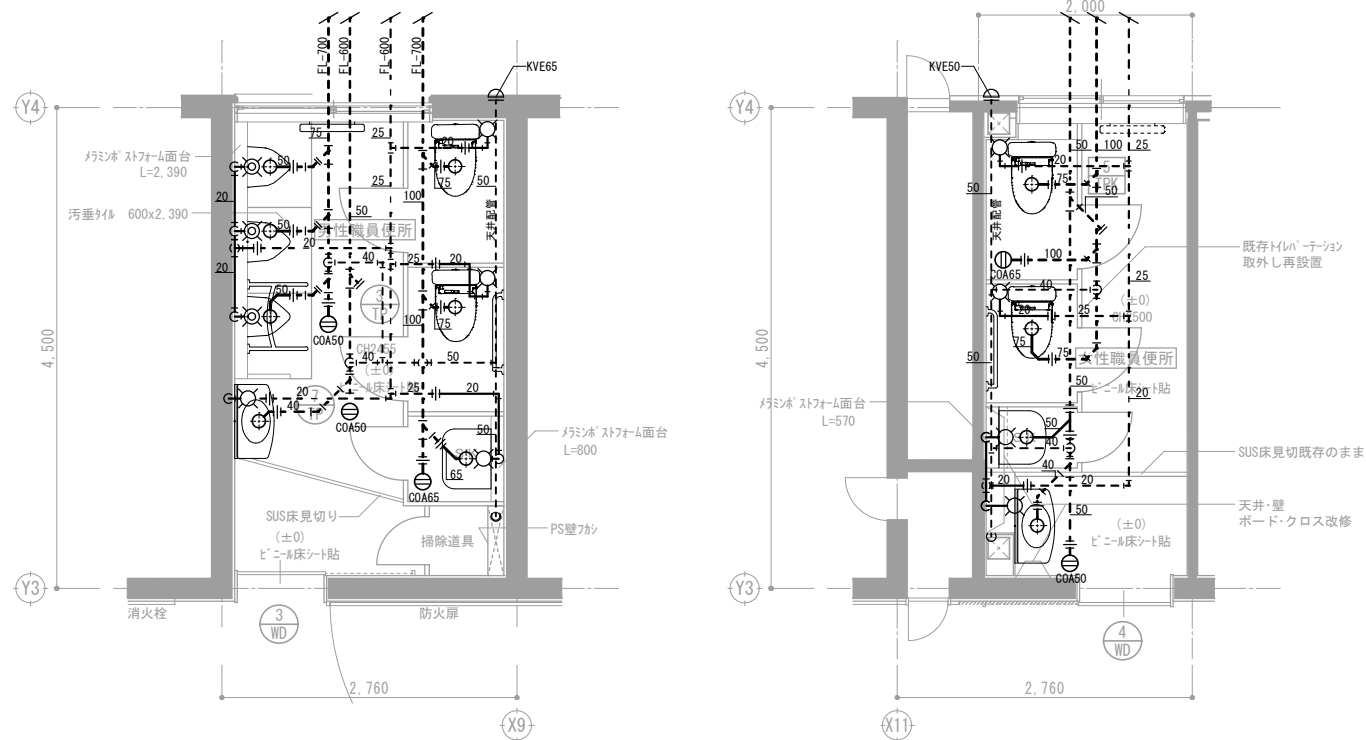
() 内は通路 F L を±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900

- 床仕上撤去 (床用タイル・沓摺)
- 土間コンクリート、壁等撤去
- トイレブース撤去

【撤去】 男子トイレ		
名 称	数 量	
洋風便器【取外し】	1	
和風便器	2	
小便器	3	
手洗器 (水栓共)	1	
鏡	1	

【撤去】 女子トイレ		
名 称	数 量	
洋風便器【ケサレットは取外し】	1	
和風便器	1	
手洗器 (水栓共)	1	
鏡	1	

【現況図】



1階平面詳細図 1/50

() 内は通路 F L を±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900

- 既存部分

男性職員便所		
名 称	記 号	数 量
洋風便器	C-1	1
洋風便器【再取付】	C-3	1
小便器	U-1	3
洗面器	L-1	1
単水栓	T-1	1
化粧鏡	M-1	1
掃除流し	SK-1	1
手すり (L型)	TS-1	1
手すり (小便器用)	TS-2	1

女性職員便所		
名 称	記 号	数 量
洋風便器	C-1	1
洋風便器【ケサレット再取付】	C-2	1
洗面器	L-2	1
単水栓	T-1	1
化粧鏡	M-1	1
掃除流し	SK-2	1
手すり (L型)	TS-1	1

【改修図】

【凡例・注記】		
既設 撤去	既設配管切断撤去後、プラグ止め箇所を示す。	
既設 新設(撤去)	既設配管切断撤去後、新設配管接続箇所を示す。(現況図では、実線：撤去配管)	
X - - X - -	既設機器、一部配管撤去においては適切に可能な水抜き措置を行うこと。	
注1) 既設天井配管は、建築解体範囲の及ばない施工上、影響ない部分については残置する。		
注2) 既設配管利用部分との切断工事は、撤去工事前に現地確認、調整の上で行うこと。		
注3) 既設配管・配線利用部分についてはその仕様、状態を再度確認すること。		

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 1階平面詳細図-2 (衛生設備)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 M-07 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

工事名	栃尾小学校校舎小学校トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 2階平面詳細図 (衛生設備)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 M-08 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

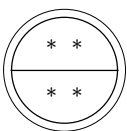
換 氣 機 器 — 覽 表

※ 特記なき風量は（給気/排気）・インルビ®-交換効率（冷房時/暖房時）を示す

[illegible]

※ 熱交換効率はJIS B8628に基づく値

< 各図共通 >

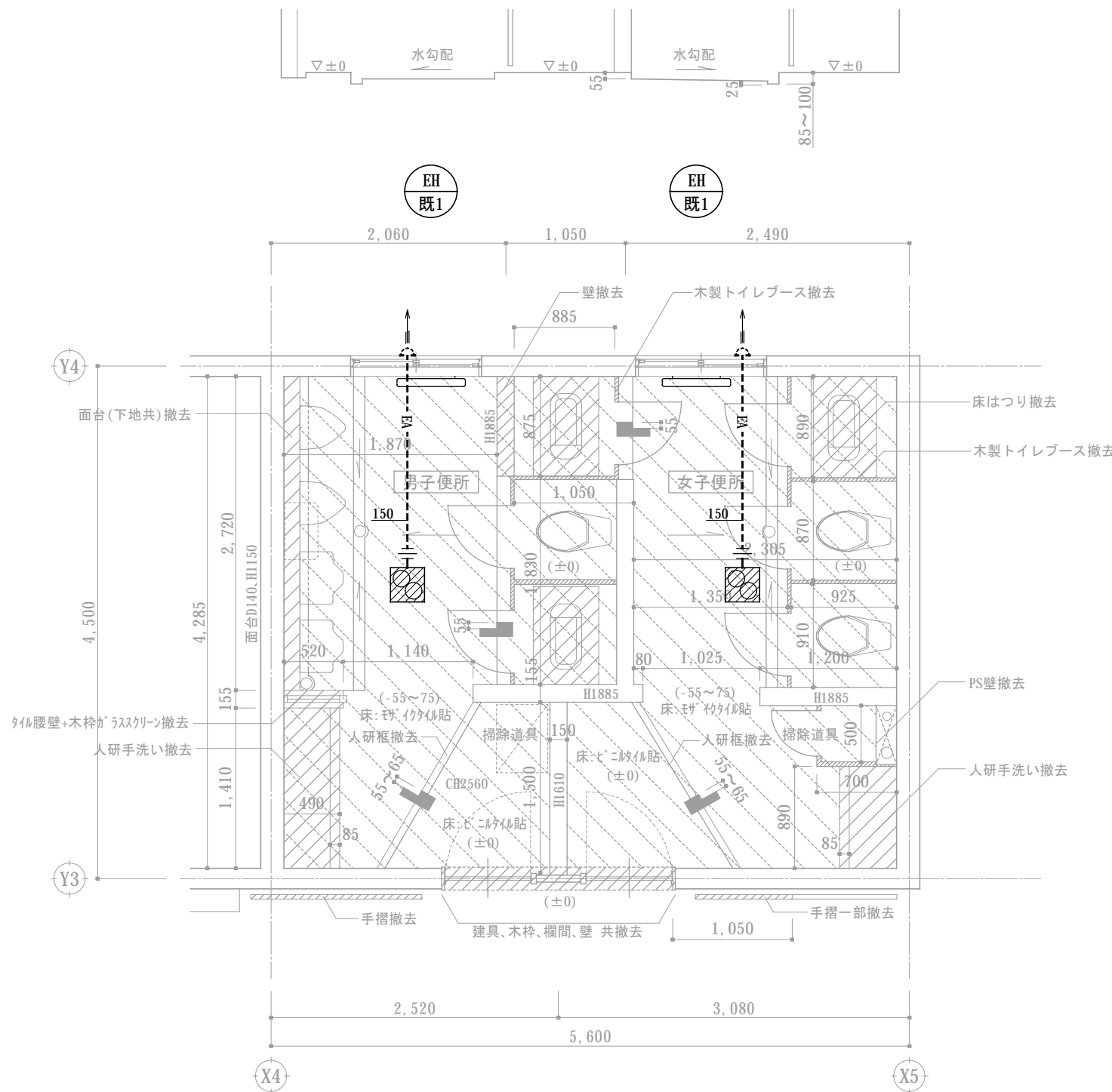
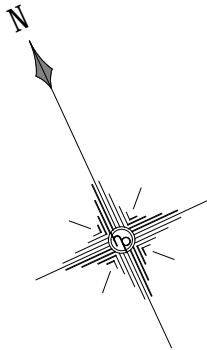


印は24時間換気の対象機器を示す。

※ 特記なき風量は（給気/排気）・インル比[®]-交換効率（冷房時/暖房時）を示す

[illegible]

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	換気設備機器一覧表		
縮 尺	N/S	番 号	50 枚の内 M-09 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



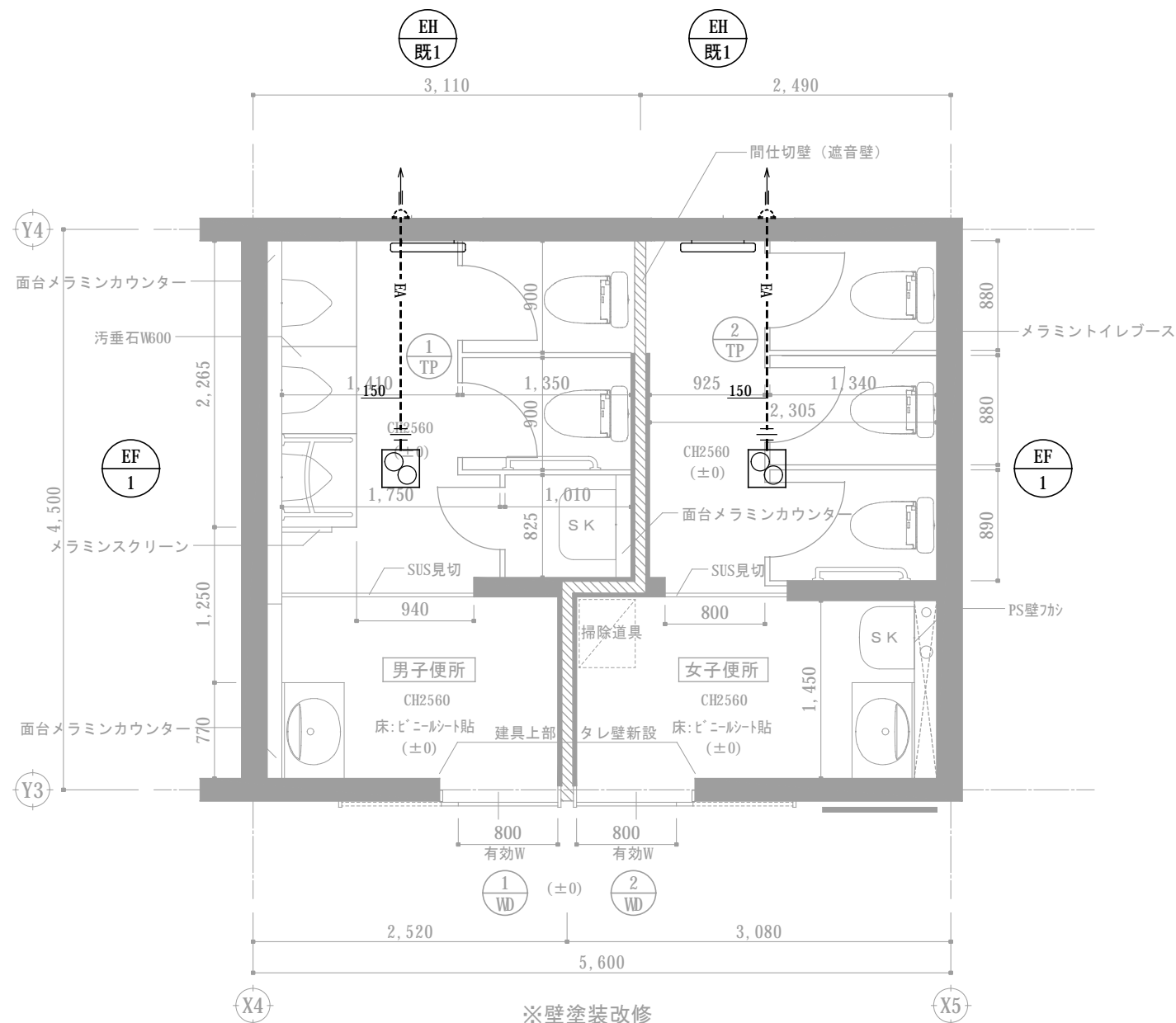
1 階平面詳細図 1/50

() 内は通路 F L を±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900

- 床仕上撤去（床用タイル・沓摺）
- 土間コンクリート、壁等撤去
- トイレブース撤去

【凡例・注記】	
既設 撤去	既設ダクト切断撤去後、閉止箇所を示す。
既設 新設(撤去)	既設ダクト切断撤去後、新設ダクト接続箇所を示す。（現況図では実線：撤去配管）
X ---X---	既設機器、一部配管撤去においては適切な処置を行うこと。
注 1）既設天井配管は、建築解体範囲の及ばない施工上、影響ない部分については残置する。	
注 2）既設ダクト利用部分との切断工事は、撤去工事前に現地確認、調整の上で行うこと。	
注 3）既設ダクト・配線利用部分についてはその仕様、状態を再度確認すること。	
注 4）既設利用品については取外し、整備清掃後、再取付とする。	

【現況図】



1 階平面詳細図 1/50

() 内は通路 F L を±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900

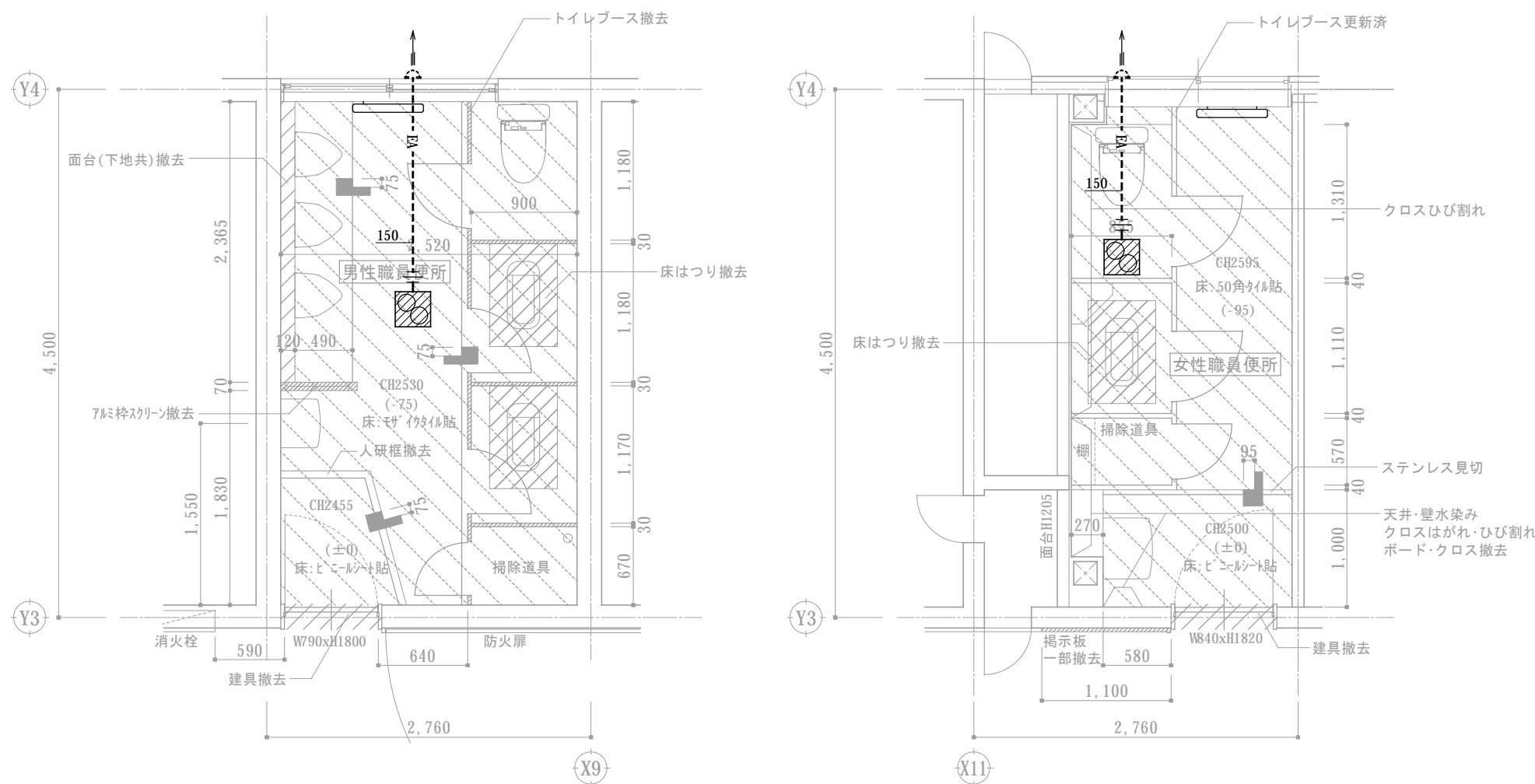
- 既存部分
- 間仕切壁新設

男子便所		
名 称	記 号	数 量
天井換気扇	E F-2	1
パネルヒーター【再取付】	E H-既1	1

女子便所		
名 称	記 号	数 量
天井換気扇	E F-2	1
パネルヒーター【再取付】	E H-既1	1

【改修図】

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 1 階平面詳細図- 1 (換気設備)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 M-10 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



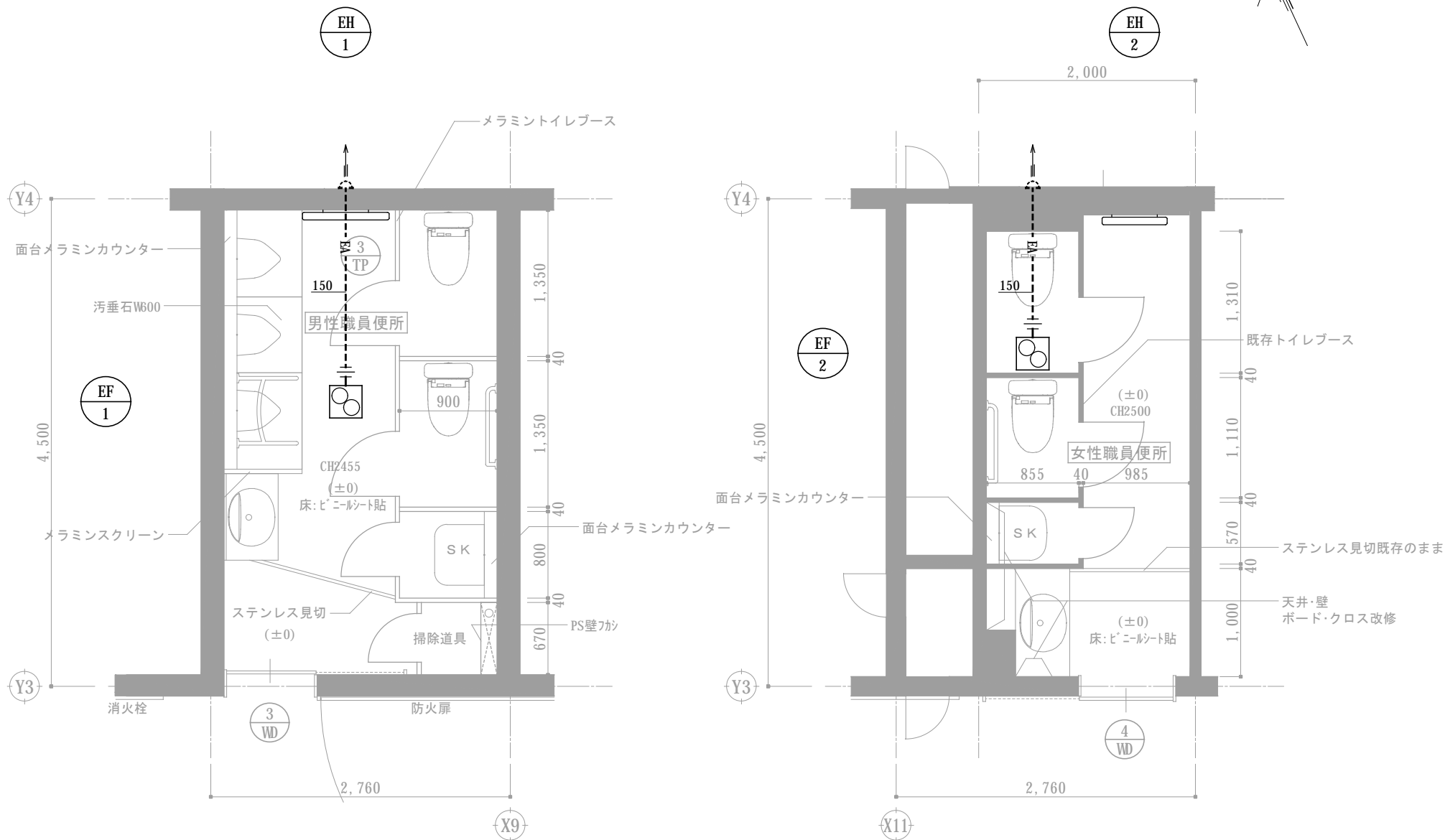
1階平面詳細図 1/50

() 内は通路F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900

- 床仕上撤去 (床用タイル・沓摺)
- 土間コンクリート、壁等撤去
- トイレブース撤去

【撤去】 男性職員便所			【撤去】 女性職員便所		
名 称	数 量		名 称	数 量	
天井換気扇	1		天井換気扇	1	
パネルヒーター	1		パネルヒーター	1	

【現況図】



1階平面詳細図 1/50

() 内は通路F.L.を±0とした床仕上面までの高さを示す。
1FL=GL+900

- 既存部分

男性職員便所			女性職員便所		
名 称	記 号	数 量	名 称	記 号	数 量
天井換気扇	E F - 3	1	天井換気扇	E F - 4	1
パネルヒーター	E H - 1	1	パネルヒーター	E H - 2	1

【改修図】

【凡例・注記】	
既設 撤去	既設ダクト切断撤去後、閉止箇所を示す。
既設 新設(撤去)	既設ダクト切断撤去後、新設ダクト接続箇所を示す。(現況図では実線：撤去配管)
X ---X---	既設機器、一部配管撤去においては適切な処置を行うこと。
注1) 既設天井配管は、建築解体範囲の及ばない施工上、影響ない部分については残置する。	
注2) 既設ダクト利用部分との切断工事は、撤去工事前に現地確認、調整の上で行うこと。	
注3) 既設ダクト・配線利用部分についてはその仕様、状態を再度確認すること。	
注4) 既設利用品については取外し、整備清掃後、再取付とする。	

工事名	栃尾小学校校舎トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 1階平面詳細図-2 (換気設備)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 M-11 号
設 計 年 月 日	令和 8年 3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

【現況図】

工事名	栃尾小学校校舎小学校トイレ改修工事		
図 名	(現況・改修) 2階平面詳細図(換気設備)		
縮 尺	1/50	番 号	50 枚の内 M12 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

【改修図】